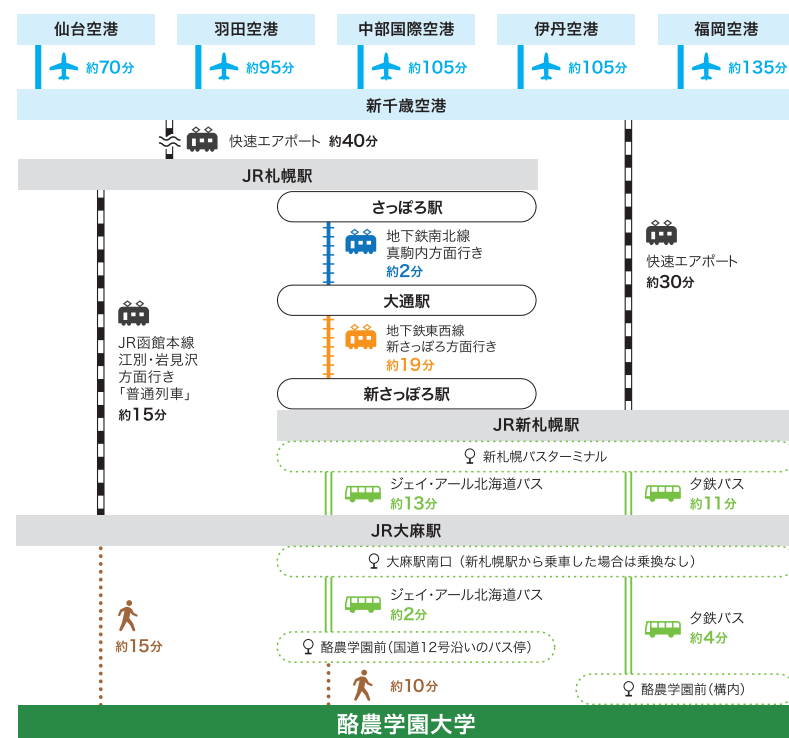


ACCESS



酪農学園大学への主な交通機関



生きるを学ぶ。学びが生きる。 酪農学園大学

- 農食環境学群
 - 循環農学類
 - 食と健康学類
- 環境共生学群
 - 環境共生学類
 - 農環境情報学類 **NEW**
- 獣医学群
 - 獣医学類
 - 獣医保健看護学類
- 大学院
 - 獣医学研究科
 - 酪農学研究科

<https://www.rakuno.ac.jp>

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582番地

入試広報センター **TEL** (011)388-4138 **0120-771-663**
FAX (011)386-1220

障がいのある方への支援について 受験や就学については、事前にご相談ください。

酪農学園大学では、健康増進法の第25条に受動喫煙防止が規定されたことを受け、教育・研究・医療機関としての法の精神に鑑みて、2011年4月1日から敷地内を全面禁煙としています。

この大学案内は2025年3月現在の情報を基に作成しております。



酪農学園大学は、2020年度公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価において、大学評価基準に適合していると認証されました。

酪農学園大学 大学案内2026

RAKUNO GAKUEN UNIVERSITY

GUIDEBOOK 2026



Life

生きろ学ぶ。
学べから生きろ。



「動物たちを幸せにしたい」
「安心して食べられるものをつくりたい」
「かけがえのない自然を大切にしたい」

人と動物と自然は互に関わり、
つながって生きている。
そんなさまざまな「LIFE」が
酪農学園大学にはあります。

好きなことを学ぼう。
やりたいことに挑戦しよう。
充実した環境のキャンパスには
ともに歩む先生や仲間がいる。
夢中になれる毎日がチカラになり
社会へ、未来へとつながっていく。

ここからあなたの LIFE を見つけよう。



Contents

- 03 のぞいて発見!
酪農学園大学 LIFE
- 05 農食環境学群 農環境情報学類
2026年4月開設予定(設置届出中)
- 09 酪 KNOW 学園大学
11 TOPICS
- 11 わたしが学ぶ Life!
- 17 キャンパスマップ
- 19 現場に強い実践力が身につく
専門施設
- 27 酪農学園大学の実学教育
- 33 教職課程
- 35 LIFE×WORK
社会で活躍する卒業生

農食環境学群

- 47 循環農学類
- 55 食と健康学類
- 63 環境共生学類

獣医学群

- 71 獣医学類
- 77 獣医保健看護学類

- 83 国際交流
- 84 大学院
- 85 地域・企業との連携
- 86 キャリアサポート
- 87 卒業生就職データ

- 89 Campus Life
- 91 施設紹介
- 93 クラブ・サークル紹介
- 95 My Rakuno Life
学生寮／一人暮らし
- 97 OPEN CAMPUS



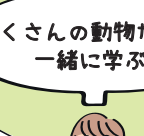
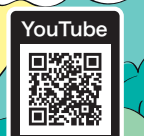
のぞいて発見！ 酪農学園大学 LIFE

キャンパスライフの主な舞台は、
北海道の広大なキャンパスと周辺の豊かな自然環境。
たくさんの出会いと体験が、あなたを待っています。
どんなことができるか探してみよう。

YouTubeで
動画もチェック！



未来のLIFE



北海道の
大自然全てが
フィールド

ヒグマとサケの寄生虫の
関係を調べる

未来のLIFE



キャンパス内の
樹木のカルテづくり

作物害虫や植物の病気の研究



未来のLIFE



微生物による
発酵メカニズムを解析

食料の流通の仕組み、
価格動向を研究

犬のモデルを使って
救命処置体験

大学ブランドの
チーズやバター作り



牛の繁殖について
治療やアドバイス

乳牛の乳しぼり、
餌やり、放牧



羊の毛を刈って
細部まで観察

遺伝情報を活用して
より能力の高い家畜を

大学で作られた
乳製品をマルシェで販売

オリジナルワイン用に
キャンパスでブドウ栽培

高温に強い
アスパラガスの
新品種開発

未来のLIFE

農食環境学群

農環境情報学類

2026年4月 開設予定
(設置届出中)

農環境学情報学類
特設サイト



研究室紹介

	研究室	教員	職名	テーマ
アグリデザイン領域	農畜産物市場論	相原 晴伴	教授	市場情報を活用して、農畜産物・食品の有利販売につなげる
	協同組合学	糸山 健介	教授	ICTを活用した協同組合の理解促進・普及を探究する
	農業政策学	井上 誠司	教授	地域調査による情報分析を通して、有効な農業政策について考察する
	英文学	金井 彩花	准教授	文学をととして社会・文化を読み解く
	農業科教育課程	志賀 聡	教授	地域の実態把握と情報分析から、実践的な指導法や教育課程を探究する
	酪農・畜産経営論	日向 貴久	教授	農業経営と消費者がwin-winで、持続可能な循環型酪農・畜産とは？
	農食法制度論	正木 卓	准教授	情報資源を活用して、多彩な農業が共存可能な法制度を探索
	農業経営学	吉岡 徹	教授	農業経営に関わる情報収集・分析を通して、経営環境に適した経営像を考える
地域データサイエンス領域	農業施設学	石川 志保	准教授	バイオマスと情報技術で、持続可能な畜産と地域エネルギーの循環を実現する
	環境空間情報学	小川 健太	准教授	衛星画像やドローンなど空からの情報を社会問題の解決に活用する
	国際経済学	小糸 健太郎	教授	食料・農業・地域経済の多様な情報を踏まえ、国際的で持続可能な解決策を探索
	データサイエンス	菅原 隆介	講師	身近な自然現象を抽象化し、数学的・情報科学的側面からアプローチし分析する
	統計学	毛利 泰大	講師	社会・農村に存在するデータに統計手法を適用し実態解明に迫る
	実践 GIS	吉村 暢彦	講師	地理情報システム (GIS) を用いて、地域の課題を発見し、効率化などの対応策を考える

在学生在が新学類について
聞いてみました



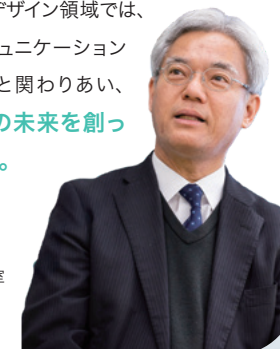
それぞれの領域についてどんなことを学ぶのか、
どんな学生に来て欲しいのかを教えてください。

西山 陽菜さん 循環農学類 2年 山口県／山口県立大津緑洋高等学校 出身

アグリデザイン領域では、経済学と情報学を学んで、それらの知識をもとに地域社会における農業や食料、農村の役割を学ぶことができます。だからこそ、**地域社会を活性化したいと考えている学生にはぴったり**だと思います。情報学と一口に言っても幅広いですが、アグリデザイン領域では、農家や農業関係機関の方とコミュニケーションをとることで情報を得ます。人と関わりあい、**「情報の力」を使って、地域の未来を創っていくことを目指しています。**

アグリ
デザイン
領域

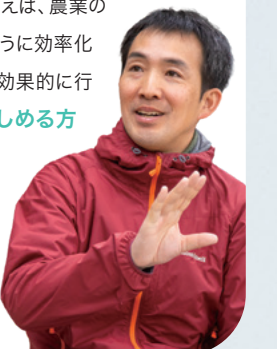
相原 晴伴 教授
農畜産物市場論研究室



地域データサイエンス領域では、環境や農業などの分野で、**ドローンや衛星といった様々なセンサーを用いてデータを取得し、それを地理情報システム (GIS) などで分析**することで、今まで見えなかった事実を見つけるなど、課題の解決の糸口を探る技術と知識を身につけることができます。例えば、農業の担い手が不足する地域で、農業をどのように効率化するか、広大な自然の管理をどのように効果的に行うかなどです。**変化を起こすことを楽しめる方**にはぜひ入っていただきたいですね。

地域データ
サイエンス
領域

吉村 暢彦 講師
実践 GIS 研究室



※内容は予定であり、変更となる場合があります。

地域が変わる。 日本が変わる。 世界が変わる。 北海道から、変えていく。

変革が求められる 地域社会

農業、環境、地域社会をめぐるのは、農業の担い手不足、環境の保全と開発の調整、人口減少や少子高齢化への対応など多くの社会課題があります。こうした課題を解決して、地域のより良い未来をつくっていくためには、さまざまな「挑戦」に取り組んでいかなければなりません。例えば、効率化・省力化の推進、地域資源・エネルギーの持続可能な利用、地域内・地域間のつながりの強化、商品や暮らしのユニークさの追求などです。

一方で、現代社会では、AI、ICT、デジタル技術など「情報化」が急速に進展し、社会環境に大きな変化をもたらしています。

こうした「情報化」の中で、社会課題を解決していくには、「情報の活用」が不可欠です。

農環境情報学類は「情報の活用」で地域の挑戦に貢献します。

北海道の一次産業を支えてきた 酪農学園大学

農畜産物と加工品の44%※を日本全国に輸送し、食料基地である北海道。酪農学園大学では、約90年前から資源を循環させて自然環境への負荷を考えた「循環農法」を取り入れ、北海道の農業の発展に貢献してきました。また、現在では広大なキャンパスに加え、フィールドワークの舞台は海外まで広がり、豊富な実習・実験・演習によって知識と実学を両立しながら実践的な学びを展開しています。

※北海道開発局「令和5年度 農畜産物及び加工食品の移出実態調査」

「情報の力」で地域の未来をつくる 人材を育てる新学類を設置

高齢化や働き手の減少、農業の生産性向上、環境への配慮、農産物の高付加価値化など新たな課題を解決し、人と自然の共生を基にした持続可能な地域社会を実現するには、農学（経済学含む）・環境学・情報学についての文理融合の学びが不可欠です。

そのため、循環農法を基盤とし、DXやAIといった最先端の技術を活用して未来の地域と農業の創造に貢献できる人材の養成を目指す「農環境情報学類」の開設を予定しております（設置届出中）。



「情報の力」で

地域の未来をつくる

「農」×「テクノロジー」を基礎から学ぶ

充実した農学の基盤教育

人のつながり、生命の循環、命の尊さを学ぶとともに、学生の自主性を促す教育プログラムを展開。共通教育（基盤教育・キャリア教育等）で培った力は、2年次以降の専門教育はもちろん、その先の人生にも必要となる「生きる力」につながります。

学びのキーワード
知見を広める 人間力を高める 命を体感する

学類の枠を超えた学び

農食環境学群の4学類は教育面でも深く連携しており、学生は自分の学類に限らず他学類の科目も履修できます。専門分野を超えた幅広い知識を身につけることで、学びを広げて自分の興味分野を大きく発展させることもできます。

特色ある専門科目とデータサイエンス

農学の視点で地域経済や環境を捉え、GIS・リモートセンシング等による情報解析や社会調査により収集したデータの分析・評価・活用の基本を学び、地域における実際の課題に取り組む演習などを通じて、課題解決の深い理解と実践力を修得します。

PICK UPカリキュラム①

農業資源経済学

経済学の基本理論を活用して農業問題を学びながら、問題解決に必要な理論と実践的な知識を身につける。



PICK UPカリキュラム②

アグリデザイン実習

食料・農業・農村分野におけるフィールドワークで、農業や農村の現状を直接観察しながら現場経験を積む。



PICK UPカリキュラム③

環境モニタリングとリモートセンシング

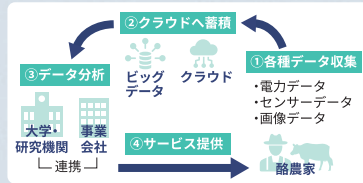
さまざまな社会問題、環境変動を定量的に捉えるために、GIS・リモートセンシング技術を用いて環境と生態系の変化を観察する。



PICK UPカリキュラム④

専門ゼミ「農業施設学」

家畜・ヒト・地球に優しい畜産経営システムや、これらに関わるデータ・情報を見える化するスマート統合システムの研究開発を行う。



実践力と社会実装力を身につける

アグリデザイン領域

情報を活用して地域と農業をデザインできる人材を養成

経済学・情報学の学習を通して、地域社会における農業・食料・農村の役割と振興の方策を学び、農業経営や地域農業の特徴を分析し、地域社会の振興方策を企画・提案できる力を身につけます。

地域データサイエンス領域

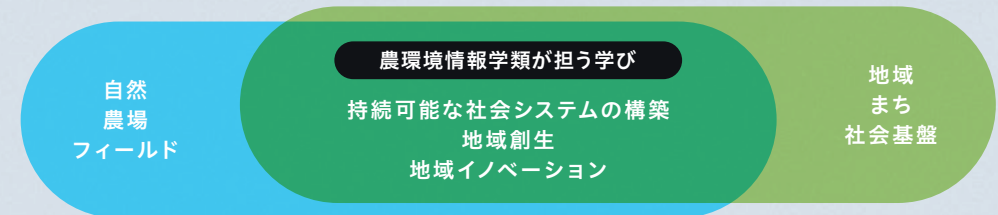
地域の問題を主体的に解決できるデータサイエンティストを養成

環境学・情報学の学習を通して、地域の情報を収集・分析するテクノロジーとその活用を学び、画像解析や数理的な手法で分析し、その結果と問題を可視化し、地域課題を解決する方策を企画・提案できる力を身につけます。

北海道は学びのフィールド“最前線”

北海道のフィールドで学び、課題解決能力を幅広く身につけます

- 多様な農業の動向と課題
 - 豊かな自然環境や人との共生の課題
 - 特色ある地域社会とその課題
- 課題解決能力**
- 専門的な能力:「情報」を活用した農・環境分野の専門的な知識・技能を修得できる。
 - 情報を活用する力:データの収集→分析→評価→活用を一貫して学ぶことができる。
 - 実践する力:現場を経験し、幅広い視野による深い理解と実践力を修得できる。



目指せる未来

スマート農業や農業機械等の農業関連企業、農業協同組合などに加え、ICT活用を主軸にした事業展開を行う企業への就職も想定しています。これらの企業で活躍できる人材育成を通じて未来の地域・農業を支える人材を輩出します。

想定される就職先

農業経営者（後継者を含む）、総合コンサルタント（環境保全、ICT事業等）、農業関連産業（肥料、農業、種苗、飼料、農業機械等）、食品産業（製造業、卸・小売業、外食・中食産業等）、中学・高校の教員（社会、農業、公民）、公務員（国、都道府県、市町村）、農協（地域農協、連合会）、起業、地域おこし協力隊 など

※教員免許状については、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

《みんな知ってる?》

略KNOW学園大学 11 TOPICS

北海道にあって、牛や馬がいる…それはこの大学のほんの一部！知られていないけどすごいこと、知られているけどやっぱりすごいこと。もっと知ってほしい酪農学園大学の魅力をギュギュっとご紹介！



実は札幌まで
15分



JR札幌駅から大学の最寄駅まで15分。利便性の高い環境に広大なキャンパスが立地しています。

チーズ、アイス、ソーセージ…
ぜんぶ学内で
作れちゃう！

ハムやソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやアイスクリームなどをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。



全学類合わせて
43種類以上
の資格が取れる！

実学だから強い！さまざまな分野の資格取得に対応しています。全学類合わせて約43種類以上の資格が取得可能です。



フィールドは
キャンパス内から
世界まで

フィールドワークの舞台はキャンパス内から海外まで。実習・実験・演習を多く取り入れ、北海道から世界のフィールドで実学教育を実践しています。



全国トップクラスの
愛玩動物
看護師合格率

第2回愛玩動物看護師国家試験の合格率(既卒者含む)は88.8%(全国平均68.6%)。全国平均を上回り、大学別でも上位の結果となりました。

私立大学、
1大学単独での取得は
アジア初
EAEVEの国際認証取得！

ヨーロッパ獣医学教育機関協会(EAEVE)の国際認証を取得。本学の獣医学教育が国際水準であることが認められた証で、私立大学および1大学単独での取得はアジア初となります。 ※2025年3月31日時点

日本の私大で
一番!?

広大なキャンパスは
東京ドーム約28個分！

本学キャンパスの総面積は約135ha。その広さは実に東京ドーム約28個分。この中に講義棟、農場、動物病院、研究施設などさまざまな施設があります。



学生たちが
A-5ランクの
お肉を育てる！

元野幌肉牛農場(肉畜生産ステーション)で学生たちが丹精込めて育てた黒毛和種がA-5ランクのお肉に認定されました。また、種雄牛に選抜された黒毛和種も。肉畜の飼育、生産、医療、出荷までを学ぶことができます。

年間約
42,500件以上！
日本一の診療件数



キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、犬や猫などの伴侶動物で約10,600件、牛などの生産動物が約31,900件を数えます。

※2023年度診療件数

実習で作る乳製品が
ふるさと納税
の返礼品に！

乳製品製造実験実習室で製造している乳製品(アイスクリーム、バター、チーズ)が、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されました。



就職率

97.6%

入学直後からの
サポートで
進路計画もしっかり！

講座やセミナーをはじめ多角的な支援体制を構築し、学生の個性や適性、志望を生かした進路を支援することで、高い就職実績を実現しています。

※2023年度実績

企業も農家も研究所も
先輩の活躍する
フィールド！

※コース名称は、2025年3月時点

酪農畜産を飼料面から支え、
家畜と人の生活向上に
貢献していきたい

同じテーマでも複数の視点からの 学びを得ることができる

幼い頃から食に興味があり、食に関わることがしたいと考えていました。一番好きな食材の羊肉をもっと普通に食卓に上る肉にしたいという思いがきっかけで、まずは生産について知ろうと思い探したのが、畜産を学べる大学です。飼養頭数や種類が非常に多く、家畜と触れ合いながら畜産の実践を学べる環境に惹かれて、酪農学園大学への進学を決めました。

循環農学類ではまず農業に関する科学的知識を広範に学び、その後自分が興味を持った分野についてより専門的に学ぶ領域へと進んでいきます。専門科目では学類の先生だけではなく、他学類の先生からの講義・実習や、外部講師による講義もあり、同じテーマでも複数の視点からの学びを得ることができます。

入学当初は家畜に対し、広い土地でのびのびと草を食べている姿が素敵だな、と思うだけでした。家畜の飼養についての講義で学びを深め、サークル活動で実際に飼養して経験を積むことで、新たな魅力を感じるようになりました。興味を惹かれたのが、購入した配合飼料を与えるばかりではなく、地域の草資源を生かした自給飼料で育てる放牧肥育です。現在は家畜米

養学研究室で放牧や羊・牛・山羊などの反芻動物の栄養について学び、羊の放牧を取り入れた放牧肥育のテーマで卒業論文に取り組んでいます。

本学は自分でやりたいことに向かって一生懸命になれば、うまくいかなくても頑張りを周りの人が見ていてくれて、困ったときには手を差し伸べてくれる環境です。その中で畜産だけではなく、作物・酪農・農業経済と幅広く学んだ経験が今後に生きると感じています。卒業後は、これからの酪農畜産を飼料面から支え、家畜と人の生活向上に貢献し、「羊肉をテーブルミートに」という思いも実現していきたいです。

学生だけで めん羊を飼養

中小家畜研究会という、めん羊を飼養するサークルに所属しています。年に数頭ではありますが羊肉を生産し、全てを学生で行っています。羊肉販売会に足を運んでくださった皆さまの楽しそうな表情や肉の感想から、みんなで大切に育てた羊は誰かの笑顔に変わることを知り、とても印象深かったです。

わたしと
酪農学園
大学

小川 和夏さん

農食環境学群
食と健康学類 食資源開発学コース
発酵科学研究室 4年
北海道／酪農学園大学附属
とわの森三愛高等学校 出身



衛生管理や食品加工の深い学びを生かして 消費者に安全安心な商品を届けたい

食に関わる微生物の研究を通じて 衛生管理への関心が深まった

高校時代に、学校農場で作物の生産から収穫を体験する授業をはじめ食について学ぶ機会が多くあり、大学で食の領域に関してさらに探求したいと考えていました。食と健康学類では、食品全般を扱い、それぞれの生産・製造工程を学べるだけでなく、健康・医療など、食に関する学びが幅広く、興味を持った分野についてさらに深掘りして学べることに魅力を感じ、酪農学園大学への進学を決めました。

食と健康学類の特徴は、実際に体験しながら学ぶことで理解を深められるところです。食品加工の学びでは動物と触れ合うところからはじまり、加工して食べるところまで一貫して体験できます。栄養の分野では食資材の特性などに関して分析・解析をして結果を出すところまで、本格的な実験を行います。座学だけではイメージが湧きにくいところも、実体験を通して具体化

でき、座学の内容もより着実に身につきます。

食について学ぶ中で、食品や人間にさまざまな影響を与える微生物に興味を持ちました。例えば味噌づくりで重要な酵母も微生物の一種であり、一方で、生ハムには生肉からつくる製造工程の中で、食中毒につながる微生物が多く付着しているなど、発酵食品と微生物は密接な関係にあります。研究室では生ハムの菌種同定を行っており、製造工程ごとに採取したものをさまざまな方法で解析し、安全な生ハムの提供に生かせるよう、菌叢の変化を調べてどの工程がどの菌種に対して有効なのかを明確にしています。

微生物の分野の学びは、衛生についての興味にもつながりました。食中毒を引き起こす微生物も多数存在しますが、日々の生活で我々が減多に食中毒にならないのは、衛生管理を行ってくれる方々がいるからです。それに憧れて、私も衛生管理の職に就きたいと考え、卒業後は衛生管理業務を主とする会社へ就職することが決ま

りました。大学で培った衛生分野の知識や食品加工の分野で学んだことを生かして、消費者に安全安心な商品をお届けできるよう頑張りたいと思います。

わたしと
酪農学園
大学

多様な食の学び

本学類で学べる食の領域はとても幅広いです。加工や研究はもちろん、食品の流通やマーケティング、ほかにもテーブルマナーや盛り付けの仕方なども学べます。食に関わるさまざまな業界で生かせるだけではなく、生活するうえでもためになる知識ばかりです。少しでも食について学びたいと思った方にはおすすめの環境だと思います。

山田 茉衣乃さん

農食環境学群
循環農学類 畜産学コース
家畜栄養学研究室 4年
北海道／北海道札幌月寒高等学校 出身

学べば学ぶほど、食べ物が持つからだへの影響力の大きさに気付かされている

北海道内にある管理栄養士養成校の中で、農産物や畜産物など食の原点に関わる実習が多い点に魅力を感じ、酪農学園大学への進学を決めました。

管理栄養士コースは、1学年40人と少人数なので、先生方やほかの学生との距離が近のが特長です。課題や実習で分からないところがあれば、友達同士でお互いに教え合ったり、国家試験に向けて精神的に追い込まれそうになった時も励まし合ったりするなど、友達と一緒に学びながら成長できる環境だと思います。1年次から学びの機会が豊富に用意されているのも大きな魅力です。生化学や人体の構造と機能などの基礎を学んだあとは、学年が上がるにつれて、栄養と健康を結び付けた専門的な内容が増えていきます。栄養学にはさまざまな分野が

り、疾病の治療を中心とした臨床栄養学、大量調理に関わる給食経営管理、地域の人々の健康を守る公衆栄養学、アスリートのためのスポーツ栄養学など、4年間で幅広い知識を得ることができます。現在は、臨床栄養学について特に興味があります。疫病やからだの状態に合わせた栄養を摂取することによって、病気の治癒を早める効果が期待できることや、からだの機能を正常に整える可能性があることなど、学べば学ぶほど、食べ物が持つからだへの影響力の大きさに気付かされています。私が所属している給食栄養管理研究室のゼミは、企業等と関わる活動が多いため、学内だけでなく、学外でも学ぶことができます。食品メーカーとのコラボによる新商品の開発や、レシピコンテストへの応募など、多くの人と関わることで学内では得られない経験を積むことができ、自分自身の成長を実感することができます。将来はスポーツ選手に関わる管理栄養士を目指しています。まずは管理栄養士としての経験を積みながら、

スポーツ栄養学についての知識も深め、最終的にはスポーツ栄養士の資格を取得したいです。アスリートの方だけでなく、多くの人々の健康をサポートする管理栄養士になることが目標です。

わたしと
酪農学園
大学

人とのかかりを広げる課外活動

所属しているよさこいサークルでは、YOSAKOIソーラン祭りが近づくたびに週4回のペースで練習をするので、自然とほかの学類の友達や先輩・後輩との絆が深まります。学業やサークル活動を両立させることで、人との繋がりが広がり、学生生活をより一層充実させることができました。

さまざまな出合いを成長に繋げて、人々の健康を支える管理栄養士を目指す



布施 彩花さん
農食環境学群
食と健康学類 管理栄養士コース
給食栄養管理研究室 4年
北海道／北海道旭川永嶺高等学校 出身

実際の仕事にも結びつく研究から集中して成果を出す重要性を実感

環境共生学類では、地域レベルから地球規模まで、さまざまなスケールでの環境保全を、科学的に解明していく学びが展開されています。自然環境の現況をフィールドワークや実験、研究などのさまざまな手法を用いて調査し、得られた結果から今後どうしていくかを深掘りすることが本学類の特徴です。高校時代に科学を活用した取り組みがしたいと考えていた私にとって非常に魅力的だったので、進学先として酪農学園大学を選びました。

所属している水質化学研究室では、美唄市の宮島沼の水質モニタリングを実施しており、周辺農地からの農業排水や水鳥の糞などが湖沼に与える影響をフィールド観測と分析・実験を通して解明し、水質改善に繋げています。実務経験のある先生のもとで、実際の業務と同じ水質調査方法を経験でき、より高度な技術が

身につけられる環境はとても貴重です。

現在、私が取り組んでいる「湖沼における栄養塩と植物プランクトンとの関係」の研究では、化学と生物両方の知識やフィールドでの経験が必要であり、さらに図鑑や文献を読み込み、顕微鏡での観察を繰り返して結果を見極めていきます。実験を進めるなかで、工程の途中で生じたひとつのミスが後の作業にも影響し、思うような結果が得られないことがあります。実務と同じ研究をしているからこそ、確実な結果を出すために、一つひとつの工程に集中して取り組むことの大切さを日々実感しているところです。

卒業後は、道内の海洋土木会社への就職が決まっています。本学で身につけた「集中して取り組む姿勢」を余すことなく発揮して、早く戦力になれるよう向上心を持って頑張っていきたいと考えています。これからも知見を広げていき、分野にとらわれないマルチな人材を目指したいです。



菊池 涼平さん
農食環境学群
環境共生学類 生命環境学コース
水質化学研究室 4年
北海道／北海道石狩翔陽高等学校 出身

わたしと
酪農学園
大学

興味を全開にして学べる環境

本学類では北海道各地を舞台にしたフィールドワークに加え、学内で牛のお世話をする酪農学園大学ならではの实習もあります。「生き物が好き」「自然が好き」な方にとって、興味を全開にして取り組める環境に恵まれていると思います。ぜひ本学で好きなことをとことん追究して楽しんでほしいです。

山城 真緒さん
獣医学群
獣医学類
動物生殖学ユニット 5年
宮城県／宮城県立泉館山高等学校 出身



体内の機構を学ぶことで点と点がつながり より深く理解することができる

友人たちと誠実に向き合い 対話を重ねたことで 大きく成長できた

実家が黒毛和牛の繁殖農家であり、物心ついた頃には牛が好きで、父親と一緒に牛の世話をしていました。そこでよく見ていたのが、牛を大事に育てる家族と、治療をしに来てくださる獣医師の姿です。また当時テレビで放送していた、獣の医師だった母を失った少女が、さまざまな人に出会い成長する姿を描いた『獣の奏者エリン』というアニメが大好きで、その影響もあり獣医師を目指し始めました。酪農も畜産も盛んな北海道で産業動物について学ぶために酪農学園大学を志望し、家族の協力もあって進学することができました。

獣医学類でいろいろと学ぶ中で、印象的だったのが生化学・生理学・繁殖学などの授業です。ただの暗記ではなく、ホルモンや浸透圧など体内の機構を学ぶことで点と点がつながり、より

深く理解することができます。自分の体内でもそのような機構が働いているのかと思うと興味深いです。特に「繁殖」という分野は、自分が目指す産業動物業界のこれからを考えたときにとっても重要だと感じており、専門的に学ぶために動物生殖学ユニットに入ることを決めました。

獣医学類には全国各地から120人を超える仲間が集まっていて、皆同じ将来を夢見る同志です。頻りに集まっては一緒にご飯を食べたり、テスト期間やゼミでは1日の半分以上を共に過ごしたりと、まるで家族のような関係です。友人と多くの時間を共にするため、うまくいかないことも、関係性に悩むこともたくさんあります。そんな中でも人と誠実に向き合い対話を重ねたこと、自分を認めてくれる友人と出会えたことで、自身の人間性が大きく成長できたことを実感していますし、これから迎える社会人としての心構えにもつながっています。

本学では二次診療施設である附属動物医療センターで最新の治療も学ぶことができ、獣医

師を目指すうえでは最高の環境だと思います。将来は大動物臨床獣医師(NOSAI就職)として和牛の診療に携わり、日本の畜産現場を支えていきたいです。

わたしと
酪農学園
大学

豊かな心が育まれる環境

酪農学園大学の敷地内で見ることができるリス・キツネ・シカ、時間によって色が変わる美しく広い空、季節に応じて姿を変える植物。自然がとても身近な場所で、気の置けない仲間たちと共に過ごす学生生活は、豊かな心を育んでくれる有意義な経験となるはずですよ。

多様な学びと実践的経験が 実務に直結する力になる

幼少の頃から、将来は動物に関わる仕事がしたいと考えていた中で、高校生の時に「動物看護師」という存在を知りました。酪農学園大学の獣医保健看護学類は実習が豊富で、実践を通して動物看護師としての専門的な知識や技術が身につけられると思い、進学先を選びました。

本学類では2年次から1年間、学類で飼われている犬の世話をを行う特別実習があります。犬の体調管理や投薬、散歩、シャンプーなど、犬を飼ったことのない学生でもお世話の仕方を基礎から学ぶことができます。爪切りやバリカン、耳掃除といった各犬が苦手としている処置に対して少しずつ慣らしていく「馴化」などの専門的な分野も、学生が主体となって計画を立てて実行していくので、お世話を通じて実践的なノウハウを身につけることができます。

私は現在、動物の行動学を中心に学んでいます。犬のしつけや行動治療をはじめ、「マテ」

「フセ」といったコマンドの教え方やトイレットリングのやり方、散歩の仕方など、さまざまなスキルを積極的に磨いています。所属している動物行動生態ユニットでは、犬のしつけに関する研究だけでなく、イルカの音声やカエルの音声に関する研究、ゾウの認知に関する研究など対象動物や研究テーマは多岐にわたり、自分の見識を広めることができる魅力的な環境だと思います。

大学病院での行動治療では、実際に飼い主様やその飼い犬と接する機会があります。診察時に配慮すべきポイントや観察方法を学べるだけでなく、診断結果などを飼い主様に理解してもらえよう適切に伝える作業も、実際の現場だからこそ得られる貴重な経験です。

将来は動物看護師として、動物はもちろん、飼い主様にも寄り添えるような看護がしたいと考えています。大学で学んだことを生かして、この先もたくさん経験を積んで、専門的な知識や技術をさらに磨いていきたいです。

わたしと
酪農学園
大学

本学主催のしつけ教室

学内で定期的に開催される「犬のしつけ教室」には、毎回多くの飼い主様が参加されます。飼い主様が抱える悩みをヒアリングし、個々の犬に合ったアドバイスを考えて、飼い主様と一緒に実践していきます。しつけ方法を一般の方に指導する経験が在学中にできるのは、ほかではなかなか得られない貴重な機会です。

動物にも飼い主様にも寄り添える 動物看護師になりたい



村里 夏菜さん
獣医学群
獣医保健看護学類
動物と人の関係学ユニット 4年
栃木県／白鷗大学足利高等学校 出身

キャンパスマップ

大自然の宝庫・野幌森林公園と接して広がる135万㎡もの広大なキャンパス。
たくさんの人や動物との出会いがあなたを待っています。
酪農学園大学ならではの規模と専門的な施設・設備を生かして、
好きなことを学び、やりたいことに挑戦しよう！

CHECK!

キャンパスのすぐ裏は
原始の北海道の面影が残る野生の王国

道立自然公園
野幌森林公園

私大トップクラスの敷地面積135万㎡

CHECK!

たまにリスが来る

学生サービスセンター
(キャリアセンター)

酪農学園本館
(入試広報センター)

CHECK!

フォトジェニックな並木道

CHECK!

総敷地面積は
TDLとTDSとUSJの敷地を足した広さと
同じくらいらしい

至江別

至札幌・大麻駅

2020年7月撮影



A
附属動物医療センター
» P.25



B
スキルスラボ棟
» P.26



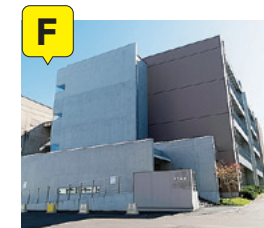
C
健身館 (格技・体育系部室)



D
健民館
(体育施設・トレーニングセンター)
» P.91



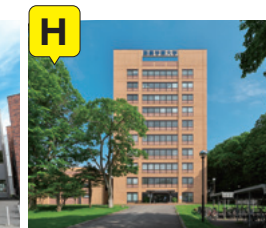
E
黒澤記念講堂
» P.92



F
B4号館
» P.24・92



G
C1号館



H
中央館 (学生ロビー・学生ホール)
» P.91



I
附属図書館
» P.91



J
希望寮 (男子寮)
» P.95



K
健音館 (音楽・演劇系部室)



L
緑音館 (音楽系部室)



M
清温寮 (女子寮)
» P.95



N
酪農学園ホール (酪農学園生協)
» P.92



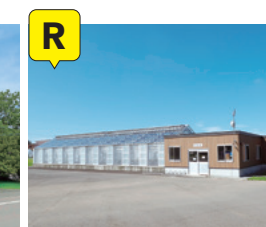
O
D1号館
» P.92



P
食品加工実習室
» P.23



Q
乳製品製造実験実習室
» P.23



R
作物生産ステーション
» P.22



S
酪農生産ステーション
» P.20



学外
肉畜生産ステーション
所在地：北海道江別市元野幌1107
» P.21

酪農学園大学の充実した学びの環境

現場に強い 実践力が身につく 専門施設



動画で
まとめてチェック

食品加工実習室 P.23



04

乳製品製造実験実習室 P.23



05

附属動物医療センター P.25



07

酪農学園フィールド教育研究センター



01

02



03

- 酪農生産ステーション P.20
- 肉畜生産ステーション P.21
- 作物生産ステーション P.22

B4号館 P.24



06

スキルスラボ棟 P.26



08

01

酪農学園フィールド教育研究センター

酪農生産ステーション

主な使用学類 循環農学類

キャンパス内にある牛舎で日々乳牛の飼育に取り組める

異なるシステムの牛舎があり、循環農法型により約170頭の乳牛を飼育しています。フリーストール牛舎は牛が自由に行動・採食できます。繋ぎ飼い牛舎は1頭1頭の牛をしっかりと管理しながら飼育することができます。さまざまな酪農形態を学ぶことが可能です。また、草地・飼料畑はキャンパス内に牧歌的な景観を見せています。

詳しくは
動画も
チェック



Data

【土地】	
牧草地	53.6ha
デントコーン	14.9ha
放牧地	1.4ha

【主な施設】

フリーストール牛舎	1,439.6㎡
繋ぎ飼い牛舎	550.8㎡
育成牛舎	432.0㎡
搾乳棟	754.2㎡
バンカーサイロ	1,062.5㎡
乳牛(ホルスタイン種、ジャージー種)	約170頭



1 草が血となり乳となります。牛の体の仕組みを学び、牛乳のすばらしさに気付く学生も多いです 2 サイレージ用トウモロコシ圃場の実規模収量調査 3 子牛や育成牛の管理を学生が行っています 4 学生が子牛にミルクを与えている様子 5 インテリジェント牛舎で搾乳を体験します 6 循環型酪農は、牛の管理だけでなく、飼料生産も含めて成り立っていることを学びます

02 酪農学園フィールド教育研究センター 肉畜生産ステーション

主な使用学類 循環農学類

肉畜の飼育・生産・医療・出荷までを学ぶ

約90頭の黒毛和種や日本短角種がいる肉牛の畜舎と、めん羊、豚、鶏など中小家畜の畜舎群の2カ所の農場があります。飼料設計から日々の世話まで学生が交代で行い、肉牛では低コスト飼料で最高等級のA5を獲得。肉牛の共進会にも積極的に出品し、好成績を収めています。黒毛和種では、種雄牛に選抜されたことがあります。その他の生産動物においても繁殖から出荷して肉になるまでの一連の流れを体験でき、看護を含めた動物医療の学びの場として活用されています。

詳しくは
動画も
チェック



Data

【土地】
採草・牧草地 58.6ha

【主な施設】
肉牛牛舎 1,672.0㎡(90頭)
豚舎 904.2㎡(170頭)
鶏舎 498.8㎡(ケージ:400羽・平飼い:450羽)
羊舎 419.5㎡(20頭)

肉牛(黒毛和種、日本短角種)
豚(交雑種母豚(主にLW種)、純粋種母豚(ランドレース種)、種雄豚(デュロック種)、肥育豚(主にLWD種))
羊(サフォーク種、テクセル種)
鶏(さくら、もみじ、横斑プリマスロック)
※W:大ヨークシャー種、L:ランドレース種、D:デュロック種



肉牛教育研究施設(肉牛牛舎)



1 羊舎にて行われた羊の妊娠鑑定 2 卵を収集しながら、産んでいない鶏をチェックし、個々の様子を観察します 3 高能力牛からの受精卵を回収 4 給与飼料は、市販濃厚飼料を中心に給与し、食品製造残渣等を最大限に活用し、飼料費低減と産肉性の向上に努めています 5 ここで産まれた子豚たち。分娩から飼養管理まで学生が行います 6 中小家畜教育研究施設(豚舎、鶏舎、羊舎)

03 酪農学園フィールド教育研究センター 作物生産ステーション

主な使用学類 循環農学類

品種改良から生理生態、病害虫管理を学ぶ

4棟のガラス温室は、温度や日射量などを計測し、自動で栽培環境を制御できます。冬場でも水稻などの作物の栽培が可能なので、1年を通して栽培や育種に関する研究、作物の病害虫防除の研究ができます。ビニールハウスでは、トマトやアスパラガスなどの野菜やカーネーションなどの花きの栽培研究が行われています。露地圃場では、ダイズやムギ類など畑作物の栽培が行われ、さまざまな教育・研究に活用されています。

詳しくは
動画も
チェック



Data

【土地】
露地栽培露地圃場 12,911.5㎡
園芸作物露地圃場 591.0㎡
展示圃場 814.7㎡
畑作物露地圃場 4,182.0㎡
サンプル採集圃場(作物病理学用) 116.6㎡
水田圃場 1,400.0㎡

【主な施設】
実習棟 1,275.0㎡
ビニールハウス 2,824.7㎡
花きガラス温室 331.0㎡
野菜ガラス温室 331.0㎡
作物ガラス温室 331.0㎡
作物保護ガラス温室 331.0㎡



1 収穫後2週間、乾燥庫に干したライムギを脱穀 2 花きの栽培や研究を学びます 3 トマトの脇芽取り等から管理作業を学びます 4 根に共生する根粒を観察します。作物は微生物の力を利用して大気や土から栄養を獲得しています 5 収穫に向けコムギ生産ステージの判断法を学びます 6 水田圃場で水稻栽培を実施しています

04 食品加工実習室

主な使用学類 食と健康学類

詳しくは動画もチェック
■食品加工実習室
■乳製品製造実験実習室



「食」を科学する本格的な実験実習設備

ソーセージやハム、ベーコンなどの製造工程や品質管理について体系的に学べる実習設備を完備。研究や試験開発に用いる試作品もここで作成しています。



1 X線検査機を使用し、HACCPに対応した異物混入の検査をします 2 燻製器を使用した品質特性に関する試験。燻煙する木材ことや、いくつかの木材をブレンドして試作品を作ります

05 乳製品製造実験実習室

主な使用学類 食と健康学類

ブランドを生み出す 乳製品製造施設

キャンパス内の乳牛から搾った新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品の製造工程を学べます。オリジナルの牛乳・乳製品の製造には学生が積極的に参加しています。

Check!

実習室でつくられたソーセージや乳製品は、「酪農学園大学ブランド」として販売。2020年には酪農学園大学の牛乳・乳製品が、江利市のふるさと納税のお礼品に指定されるなど、学内のみならず学外からも人気です。



酪農学園大学ブランドの商品
(左)牛乳・乳製品
(右)ポロニアソーセージ



1 製品規格に適合しているか、作られた牛乳を直ちに検査。翌朝には店頭に並びます 2 道産チーズを集めた試食会を開催。チーズがおいしく感じるよう、ディスプレイの方法も学びます

06 B4号館

主な使用学類 環境共生学類

環境試料や分析機器を活用した環境分野の研究拠点

学類が所有するさまざまな分析装置や環境調査道具、自然史標本のほとんどがこの建物内で管理されており、多くの研究室の調査研究に利用されています。また、各実験室では学類の実習科目が開講されるなど、大学が掲げる実学教育の場としても活用されています。



1 地層を観察する基礎を学ぶ授業の様子 2 採集した昆虫を顕微鏡で観察し、グループ分けするソーティングを実施 3 環境水中の化学物質を測定する実習の様子 4 各実験室にはさまざまな分析機器が設置され、多くの研究に利用されています(ガスクロマトグラフィー) 5・6 動物の骨格標本を用いて、生物の体のつくりを観察する実習の様子 7 同館は大学オープンキャンパスの会場としても利用され、学類企画では各研究室が所蔵する標本展示を見ることが調査体験などができます

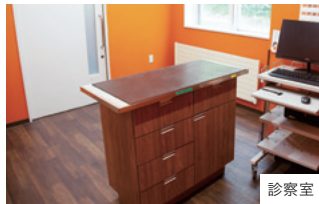
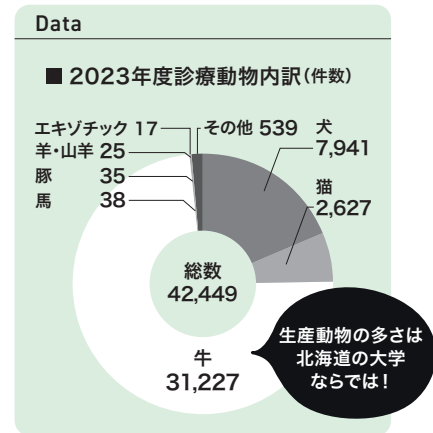
07 附属動物医療センター

主な使用学類 獣医学類 獣医保健看護学類

年間約42,500件の診療件数

獣医療の拠点で最新の診療技術を学ぶ

キャンパス内に設置されている附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、年間の診療件数は犬や猫などの伴侶動物で約10,600件、牛などの生産動物が約31,900件。本学獣医学類および獣医保健看護学類全ての学生に先進的な獣医療を含む実践的な獣医臨床教育を行っています。全国の獣医師養成大学で最大の施設規模となっており、伴侶動物医療部門には、内科・外科・循環器科・神経科・腫瘍科・リハビリテーション科、馬診療科、生産動物医療部門には、内科・外科・繁殖科・群管理科、診療支援部門には、画像診断科・麻酔科・集中治療科などの診療科を設置。臨床実習では専門性の高い診療と日本で最高レベルの動物のためのチーム医療を学ぶことができます。生産動物医療部門では、専用の入院棟と臨床実習棟で、現場に近い臨床実習を展開しています。



08 スキルスラボ棟

主な使用学類 獣医学類 獣医保健看護学類

日本で唯一の建物丸ごとスキルスラボ棟

スキルスラボとは生体を使わず、シミュレーターで獣医療の臨床手技を習得する施設のことであり、動物に負担をかけず何回もトレーニングすることができます。スキルスラボは獣医系大学で導入されつつありますが、建物の全てがスキルスラボのスキルスラボ棟があるのは日本では唯一です(2024年時点)。施設内には臨床手技ごとに臨床検査実習室、生産動物実習室、大動物実習室、外科実習室、麻酔実習室、臨床繁殖実習室、画像診断実習室、そして完全に動物病院を再現した模擬動物病院があり、約70個のシミュレーターや

実習機器が用意されています。獣医学類の学生は3年生からこの施設を利用した実習で、獣医師が初日に具備すべき105個の臨床技術(Day One Competences)を習得します。例としては、採血、気管挿管、牛・馬の直腸検査、人工授精、内視鏡検査などをシミュレーターで習得することができます。また実習時間以外も学生はこの施設を利用して、自由にトレーニングを積み重ねることができます。さらに獣医学類の学生のみならず獣医保健看護学類の学生もこの施設を利用することができます。



1 臨床検査室／クリーンベンチ、全血球計算装置、電解質計測装置、血液生化学検査装置、遠心分離機、サーマルサイクラー、オートクレーブなどさまざまな機器を用意しています 2 麻酔実習室／犬や猫への注射法や採血に加え、全身麻酔に必要な気管挿管を学びます。また、エキゾチックアニマルのハンドリングの練習も行います 3 生産動物臨床実習室A／牛の分娩シミュレーターや産科機器を使用した牛胎子の失位整復や牽引摘出などの難産助産の練習、ポータブル超音波画像診断装置による牛の胸部・腹部検査の練習を行います 4 外科実習室／犬や猫へのバンデージやキャスト、各種包帯法の練習を行います 5 大動物臨床実習室／馬の全身モデル、頭頸部モデルのシミュレーターを使用し、頭絡、馬着装着などの馬の取り扱いの基本技術、各種注射法、X線検査などの練習を行います 6 模擬動物病院／待合室や受付、薬剤調剤室、処置室があり、実際の動物病院を想定した実習を行うことができます



農食環境学群 食と健康学類

畜産物利用学実験実習

■ 食肉科学研究室 前田 尚之 教授

食肉製品の製造を体験しながら理解し、 多様な食課題に対応できるスキルを養う

本実習では、さまざまな肉製品を実際に製造し、製品開発の一端を経験することで、食肉の取り扱いとそれぞれの加工技術を実践的に学びます。中でもオリジナルソーセージの製造は魅力的な取り組みです。各班に分かれ、香辛料をどう調合するか、ディスカッションを重ねながら自分たちで考えるところから始めます。調合した香辛料は、肉を成形して塩漬けする「塩せき」を行った肉に混ぜ合わせた後、工房レベルの製造機器を用いて、ケーシングに充填、燻煙、ボイルしてソーセージを製造。全員で試食して順位付けし、最終的に選ばれたソーセージは商品化され、試験販売されます。実習を通して、食肉製品の製造方法とその原理の理解を深めながら、食品を扱ううえで衛生管理がいかに大事かも学んでいきます。安全面、衛生面における見識をはじめ、食に関わるさまざまな課題に対して積極的に対応できる知識および技能を身につけます。このスキルは製造業だけでなく、開発やコンサルタントなどにおいても生かすことができます。

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 計量しながら香辛料をブレンドして記録します 2 香辛料の特性を生かすため、香りや味を確かめて調合します 3 塩せきした肉をひき肉にします 4 調合した香辛料とひき肉を混ぜ合わせます 5 ケーシングに充填して結紮(結ぶこと)する作業をします 6 充填されたソーセージはその後燻煙、ボイルします



1 ウシ受精卵の性別判別技術のひとつであるPCR法を行うため、プラスチックチューブにDNAを入れています 2 PCR法にはマイクロピペットでの細かい操作が必要になります 3 PCR法を行うサーマルサイクラーにチューブを乗せます

酪農学園大学の実学教育

北海道の地で生きるを学ぶ

酪農学園大学の学びのフィールドはキャンパス内にとどまりません。
広大な北海道の各地で実習を行い、生きた学びを体感します。



農食環境学群 循環農学類

家畜育種・繁殖学実験

■ 家畜遺伝学研究室 天野 朋子 教授

動物の遺伝と生殖のしくみを深く学び、 高い専門性を養う

この実験科目では実技を通し、ウシを中心に動物の品種改良や生殖に関する実践的な知識・技術を身につけます。育種学分野では、動物の性質がどう決まるのか、それをどう制御するのかを学ぶため、近交係数、育種価の計算や、DNA解析(PCR法・PCR-RFLP法など)による遺伝子検査の実技を行います。繁殖学分野では、動物の生産現場で役立つ技術を身につけるため、雌牛の生殖器の解剖や触診とともに、精液の性質の確認、受精卵の形態評価、精液や受精卵の凍結保存などを行います。この実験科目は、畜産農家で動物を生産する「家畜人工授精師」、「家畜受精卵移植師」の資格取得に必要です。現場で求められるスキルの習得を目指すとともに、動物の遺伝と生殖のしくみの深い学びから、高い専門性を養います。



4 ストローカッターで融解したウシ精液ストローを切ります 5 ストローから精液を精液性状検査盤に載せます 6 受精能獲得精子の動きを顕微鏡で観察します 7 遠心分離後に上清を除去します。指さしているところに分離した精子が溜まっています 8 PCR反応を行った液をアガロースゲルに注入し、電気泳動を行います



1 実習生が考案したヘルシーメニュー 2 保健所の職員の方々に好評です

3 食堂に来た方へ詳しくメニューの説明をします 4 ヘルシーメニューを食べた方からアンケートを回収します 5 実習生がメニューの提供も実施します 6 ヘルシーメニューを食べている方に率直な感想を伺います



農食環境学群 食と健康学類 管理栄養士コース

公衆栄養学実習Ⅱ

■ 公衆栄養学研究室 木村 宣哉 准教授



地域の健康増進に実際に携わり 管理栄養士としての責任を自覚する

4年次に道立保健所や市町村保健センターへ行き、保健所・保健センターの役割と行政栄養士の業務について学び、管理栄養士としての実践経験を積む実習です。実習の課題として、住民を対象にして健康講話や啓発資料の作成を行うことも多くあります。実際に地域で公衆栄養学マネジメントの実態を学び、実習先によって健康教育の実施やヘルシーメニューの考案から提供を行う経験を通じて、管理栄養士としての実践力を身につけます。学内授業ではどうしても学生同士や机上の課題でしか実践を試すことができませんが、実際に地域住民を対象に健康教育を行うのは臨地実習ならではの。地域の健康増進に実際に携わるといふやりがいがあると同時に、その内容には大きな責任を伴います。住民の方々には正しい知識を伝えて、クオリティの高い健康教育を行わなくてはなりません。実習先の実習指導者からの指導を通じ、現場で提供されている健康教育のレベル・クオリティを理解することで、管理栄養士としての自覚が芽生えていきます。



1 ヒグマの食物ミズナラのどんぐりを数える豊凶調査 2 踏査中に用いる地形図とコンパス 3 ヘアトラップに体毛がないか確認 4 踏査中に地形図とコンパスを使って現在地点を確認 5 ヘアトラップに残されたヒグマの体毛を採取

農食環境学群 環境共生学類

野生動物保全技術実習

■ 野生動物生態学研究室 佐藤 喜和 教授



ヒグマの生態を調査し、 痕跡を発見・記録する技術を身につける

北海道東部、十勝平野と釧路湿原の間に位置する白糠丘陵とその周辺地域にて、ヒグマの生態調査法、北海道東部の自然植生、人の土地利用と野生動物の関係、地域にとっての野生動物の管理のあり方、地域の自然保護のための外来種管理などについて学ぶ実習です。ヒグマの生息する森林内で地形図とコンパスを用いた森林内踏査法と野生動物の痕跡調査法を学び、森の中を自由に歩き、痕跡を発見・記録する技術を身につけます。ヘアトラップ(体毛回収トラップ)やカメラトラップを用いたモニタリング機器の設置やメンテナンス作業を行い、調査技術も習得します。実習の魅力は、森に入り自らの足で歩くと感じることができる、森林の音や匂い、そこに暮らす野生動物の痕跡や気配です。地元で暮らす方々との交流を通じて、地域にとっての自然環境保全や野生動物管理の意味を実感することもできます。仲間との共同作業を通じてチームワークが形成され、特性を生かした役割分担も自然とできるようになっていきます。

※本実習は、複数の実習から1つを選択して参加します。



ヒグマを撮影するためのカメラトラップを設置



馬の診療を始めるために、馬への近づき方を学びます

獣医学群 獣医学類

参加型伴侶臨床実習 D (検査・馬診療)

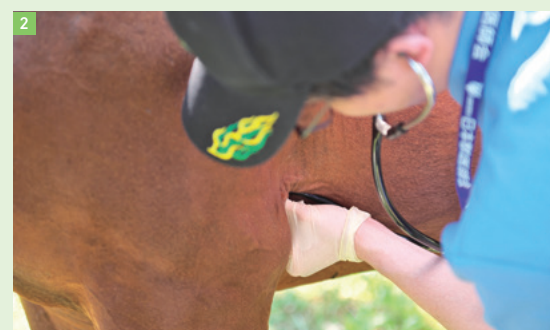
■ 獣医臨床病理学ユニット 鈴木 一由 教授

馬の健康管理と症例を扱う中で、 獣医師としての心構えを学んでいく

学生が馬医療チームの一員として馬に触れ、馬臨床ハンズオントレーニング(ワクチンの接種、採血や投薬などの技術、心電図検査、跛行診断など)、および実際の症例による診療に参加することで、馬の獣医師として必須となる知識と臨床技術を習得します。

実習では乗馬クラブやホーストラストなどで実際にオーナーのいる馬を扱いますが、診療するうえで馬の飼い主様からどのように動物の状態を聞き出せるかがとても重要となります。馬の生産者など多くの関係者と接する中で、獣医療に不可欠なコミュニケーション能力を養うことができ、獣医師としての心構えを学べることがこの臨床実習の醍醐味です。また、年間800頭以上の馬の症例を扱うため、馬に触れる機会が多いことも極めて魅力的です。大きな馬に初めて触れる学生は腰が引けてしまうこともあります。その恐怖心は馬も感じ取ってしまいます。馬との信頼関係を構築して、馬にも人にも安全に診療できるように訓練することも本実習の狙いです。

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 馬を怖がらせないように右手で触れながら腸運動の様子を聴診
2 心臓に異常がないか聴診 3 馬は中指(趾)だけで立っている動物なので足の怪我が多いです。そのため挙肢検査が欠かせません 4 馬はワクチン接種が法律で定められています 5 全ての学生が馬の健康診断とワクチン接種を行います

獣医学群 獣医保健看護学類

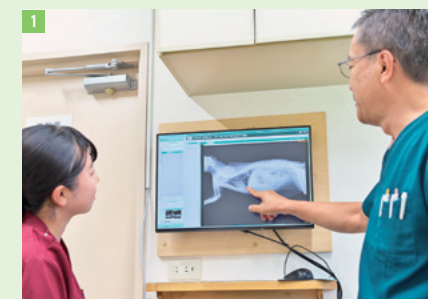
動物看護総合実習 I・II

■ 動物生命科学ユニット 林 英明 教授



動物看護師の業務内容と 社会的役割を理解する

動物看護の知識を臨床現場での実践に生かすため、学外の伴侶動物病院において実際の動物看護師業務を体験し、業務内容と社会的役割を理解する実習です。専門基礎科目から積み重ねてきた学習は、伴侶動物病院での動物看護総合実習Iにおいて、臨床系の知識や技術としての深い学びに変化していきます。動物看護総合実習IIでは生産動物を含めたさまざまな動物病院で学びます。ホームドクターから二次診療まで、希望に沿った動物病院を選んで学ぶことが可能です。実習では清掃や消毒から始まり、3年生までに学んだ各種検査に携わります。手術や診療の現場に立ち会うだけでなく、動物のたくましい生命力や飼い主様の想いを感じる機会など、貴重な経験を積むことができます。実習中は責任ある行動、守秘義務の遵守、インフォームドコンセントの重要性理解など、社会人としての基礎力が求められます。自身を客観視して状況を冷静に分析する必要も生じてきます。本実習で培った力は、その後の就職において大きく役立ちます。



1 レントゲンのレクチャー 2 手術器具の扱い方



3 治療の際の保定 4 電子カルテの入力指導 5 検査機器の扱い方についてのレクチャー

酪農学園大学で 教員を目指す

本学では学類によって、中学校教諭一種免許状（理科・社会科）、高等学校教諭一種免許状（理科・公民科・農業科）の教員免許が取得可能です。農食環境学群の各学類（管理栄養士コースを除く）に所属しながら「教職課程教育」に登録して免許を取得することができます。

■ 学群・学類ごとにみた取得可能な免許

教員免許取得可能領域		取得可能な免許
農食環境学群	循環農学類	動物科学領域 植物生産学領域
	健康学類 食と	食品科学領域
	環境共生学類	野生動物学領域 地球環境学領域
	農環境情報学類 (申請中)	アグリデザイン領域 地域データサイエンス領域
+ 教職課程教育		● 農業科(高校) ● 理科(中学/高校)
		● 農業科(高校) ● 理科(中学/高校) ● 社会科(中学) ● 公民科(高校)
		● 理科(中学/高校)
		● 農業科(高校) ● 社会科(中学) ● 公民科(高校)

※食と健康学類 管理栄養士コースでは教員免許を取得することはできません。

※ただし、農環境情報学類は文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期等が変更となる可能性があります。

現役合格者の声

教職課程の手厚いサポートと仲間たちとの努力で掴んだ合格への道

入学時から教員になりたいと考えていたため、教職課程を履修し、3年次からは農業科教育課程研究室に所属して農業科教員を目指しました。

教職の先生方には、教養試験や専門試験の過去問提供、2次試験の面接対策や教科等指導法試験対策など、合格に向けて手厚くサポートしていただき、とても心強かったです。教職課程の授業以外にも、専門教育で履修した畑作物栽培学や野菜園芸学の講義、園芸学実習などで身につけた専門知識や技術は、教員採用試験の1次試験（専門試験）対策で非常に生かされました。面接対策では、これまでに受験した先輩方が作成した過去の面接の出題内容をまとめたプリントがとても役に立ち、先輩方には感謝の気持ちでいっぱいです。

試験が近づいてきた時期には、仲間たちと研究室に夜遅くまで残り、試験で出題される傾向が高い問題を自分たちで作成して解き合いました。学生同士で面接練習も行い、回答した内容について質問して深掘りすることで、暗記した文章を話すのではなく、自分の言葉で回答できるように対策を立てました。

3年生の12月に教養試験を受験してから2次試験が終わる4年生の8月まで、研究室の活動や卒業論文と併行して試験対策をした時期はとても大変でしたが、教員を目指す仲間たちとともに合格に向けて切磋琢磨した日々は、良い思い出になっています。

将来は、生徒に寄り添い、農業の楽しさや命の尊さを伝えられる農業科教員になり、農業の担い手や農業関連産業に関わる人材を多く輩出していきたいです。



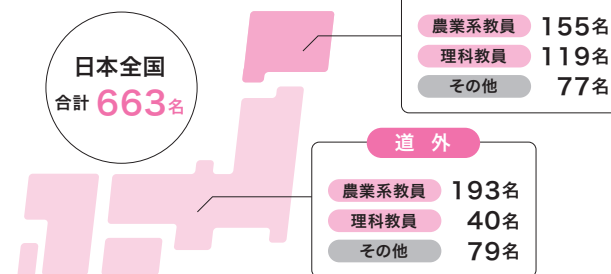
岩崎 兼大さん
農食環境学群 循環農学類4年(農学コース)
農業科教育課程研究室 所属
北海道/北海道名寄産業高等学校 出身
※コース名称は、2025年3月時点

POINT 01 教員として全国で活躍！ 酪農学園大学の教員養成

酪農学園大学から教員として日本全国で活躍している卒業生は600名以上、さらに道内高校の農業系科目教員にいたっては、全道の約70%が本学の卒業生です。本学の教員採用試験に向けたさまざまなプログラムに加え、全国で活躍する卒業生によるバックアップによって、多くの教員を輩出しています。

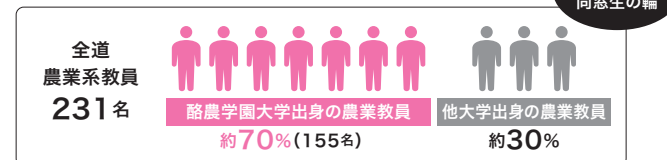
■ 酪農学園大学卒の教員 2024年度/ 本学調べ

※管理職、実習助手は含まず
※複数教科担当者は延べ数



■ 道内高校の農業系科目教員の割合

※管理職、実習助手は含まず



POINT 02 「教員になりたい」をサポート！ 酪農学園大学教職センター

教職を目指す学生をサポートするため、本学では教職センターを設置しています。教育学に関わる職員とサポートスタッフによる教職や教職採用に関する相談をはじめ、北海道・札幌市の教員採用試験過去問や教職に関する書籍をそろえた図書コーナーを完備するなど、「教員になりたい」皆さんの夢の実現をお手伝いします。



卒業生からのメッセージ

教員として学びを楽しみ、生徒とともに作る授業を大切にしたい

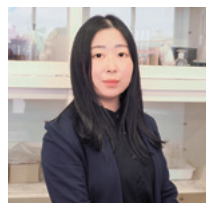
2020年度に環境共生学類を卒業し、現在は道内の高校にて理科の期限付き教諭として約3年半勤務しています。2025年度からは北海道の教員として正式に採用されることとなりました。

現在3校目、生物分野を担当するほか、特別支援教育コーディネーターとして学びの場を整えることにも力を注いでいます。

学びの楽しさを伝えたい、という思いから教員を目指したものの、出身である東京都の教採では面接を突破できず、苦しい時期が続きました。生徒から「理科、苦手だけど面白いかも」「先生が居たから、希望する進路を諦めずに頑張れました」といった言葉を貰い、教員への道を諦めたくない、北海道の教育に関わりたいという気持ちが強くなりました。

大学で共に学んだ仲間との教育現場での再会も励みになりました。受験地を変更しての再挑戦、卒業後も二次対策講習会に参加させていただいたことは大変心強かったです。私が酪農学園大学を選んだ理由は、教員を目指しながら、自分が最も学びたい環境学に触れることができたからです。学びを実践するフィールドがすぐ近くにあることも魅力の1つです。またマレーシア・ドイツなど海外実習で得た経験は、自身の視野を広げるだけでなく、生徒の興味関心を引き出す材料にもなっています。

実際に教育に携わるなかで、学校は人と関わり、多様な考え方に触れることができる場だと実感しています。学びを楽しみ、生徒とともに作る授業を大切にしたいです。



北海道釧路東高等学校 教諭(2024年度)
森田 茉莉映さん
農食環境学群 環境共生学類
2021年3月卒業
東京都/東京都立両国高等学校 出身

LIFE × WORK

社会で
活躍する卒業生

※勤務先は、2024年4月時点
※コース名称は在学時のもの

Interview

01

青森県

農林水産部畜産課 勤務

須藤 由貴さん

農食環境学群
循環農学類 酪農学コース
2019年3月卒業
青森県／青森県立弘前中央高等学校 出身

大学で学んだ知識と経験を生かして、
青森県らしい畜産業の実施を目指す



農家の方の声を聞き、 畜産の現場に還元していく

現在は青森県における畜産業の振興が仕事で、酪農・養豚・養鶏を担当しています。乳用牛の能力検定や乳質のデータを、酪農家が活用するための体制を構築したり、地鶏である「青森シャモロック」の品質を保つためのブランドの管理などの業務を行ったりしています。

在学中に所属していた家畜管理・行動学研究室では、全国の畜産農家の現地調査を実施。農家だけではなく飼料メーカーや農協などの畜産関係者の方からも学ぶ機会があり、地域の畜産業を支えている職業に魅力を感じていました。大学で学んだ知識と経験を地元である青森県で生



かしたいと思い、現在の職業を選択しました。酪農学園大学は学生の意欲に一生懸命応えてくださる先生ばかりで、たくさんの知識・技術を学びました。研究室の森田教授からは、「現場で学び、現場に還す」を教わっていたため、今でも地域の現状を知るために現場に足を運ぶことを常に心がけています。実際に農家の方と話すことで、統計などの数字だけでは見えない課題が抽出でき、施策の検討へ繋げることができています。大学2年生のとき、浜中町で行った酪農実習では、素人の私でも搾乳や子牛の世話を経験させていただき、丁寧な搾乳作業を身につけることができました。そこで学んだ現場の感覚は農家の方と共有できるため、聞き取りなどの業務で大いに役立っています。研究室の活動で全国の畜産農家を訪問したことも、他県の畜産環境を知ることができるありがたい経験でした。

今後は、農畜産がさかんな青森県の強みを生かした畜産業を目標としていきたいです。例えば必要な稲わらやもみからは、県内の米作りで出た物を無駄なく流通させることを考えています。「行政は農家のために何かしてあげるという目線ではなく、一緒に作っていくという目線が大

事。」という先輩からの言葉は今でも意識しています。何年経っても農家の方の声を聞き、現場を見ることを継続していくつもりです。



MY CAMPUS LIFE

OB・OG会の繋がりは

何ものにも代えがたい財産

全国から学生が集まり、卒業後もいろいろな場所で活躍する仲間や先輩がたくさんいるので、地元に戻った今でもその繋がりに助けられています。「酪進会」という研究室のOB・OG会があり、青森県で働く会のメンバーも大勢います。話をする際の最初のきっかけになったり、情報交換をしたり、お話を伺いたい農家の方を紹介してくださったり。先輩の牛舎にお邪魔させていただくこともあります。会の繋がりは業務上で非常に大きな助けになっていますし、私にとって何ものにも代えがたい財産です。

食品の課題解決への取り組みに 大学での食に関わる学びが 生かされている

所属していた研究室の活動の中で、地域企業との共同研究から商品開発に携わる機会がありました。この経験を自分の仕事にしたいと思うようになり、オホーツク圏の自治体や企業など力を合わせて商品開発に取り組めるオホーツク財団を就職先を選びました。

私はオホーツクの農畜水産物の付加価値化の研究をはじめ、加工食品の開発・製造技術の改良に関する独自の研究や企業との共同研究、お客様の委託に基づく受託研究を行っています。特に、オホーツク管内で作付けが広がっているもち麦の調査・分析に力を入れています。具体的には、オホーツク管内産のもち麦の機能性成分であるβ-グルカンを、管内の生産者毎に比較し、機能性表示食品として届出可能かを調査しました。また、もち麦の加工特性を明らかにし、オホーツク管内の加工事業者への情報提供も行っています。その他にも研究だけでなく、オホーツクブランド認証制度の運営も行ってお

り、オホーツク産の加工食品の魅力を消費者に知らせ、農畜水産資源を活用した加工食品の販路拡大を図る事業にも携わっています。オホーツク圏地域は、農業、酪農、水産と一次産業は盛んですが、原料としての出荷が多く、食品加工による付加価値がまだまだ乏しいと感じています。新しく加工に取り組もうとしている人も多くいるので、そういった方々の力になりたいと思っています。

私は普段の仕事で、食品の加工から開発、衛生技術と幅広く各事業者さんの課題と向き合っていますが、酪農学園大学での食に関わる学びの全てが生かされていると感じています。特に、研究室の活動で企業との共同研究に携わり、企



業の抱える課題を大学生のうちから知ることができた経験は、とても貴重な機会だったと感じています。



MY CAMPUS LIFE

夢中になって取り組んだ研究が

今に繋がっている

研究室での活動が今の自分に大きく影響しています。特に、高速液体クロマトグラフィーの立ち上げに関わったことは印象的な経験でした。今の仕事でも使用することが多い機器ですが、当時は使い方や分析方法が全く分からないところから始めたこともあり何度も失敗しました。繰り返していくうちに徐々にできるようになっていき、そのおかげで、今の職場では難なく分析することができています。夢中になって研究に取り組んだ学生時代の経験が、将来も研究を続けたいと考えるきっかけに繋がりました。

オホーツクの 農畜水産物の付加価値を高め、 地域の食品産業をさらに発展させたい

Interview

02

公益財団法人

オホーツク財団 勤務

太田 悠介さん

農食環境学群
食と健康学類 食資源開発学コース
2021年3月卒業
北海道／北海道北見北斗高等学校 出身



地域住民の健康意識を高める 行政栄養士という存在

私は中学・高校と所属していたバスケ部での活動を通して、スポーツと栄養は密接な関係で、食べ物によってパフォーマンスにも影響することを身をもって知りました。このことをもっと多くの人に知ってもらいたい、もっと栄養について知りたいという想いから、管理栄養士を目指すようになりました。

現在、私は道庁で行政栄養士として働いています。仕事内容は、地域社会の健康増進に関わるもの全般です。地域の健康増進に向けたイベントやキャンペーンの企画・運営をはじめ、食品表示（栄養成分表示）に関しての助言や啓発活動、管理栄養士養成校の臨地実習の受け入れ調整、調理師養成施設の実地指導など多岐にわたります。

食事を通じて健康で笑顔になれる喜びを発信する取り組みには、大学生活での「酪農アスリートめしプロジェクト(RAMプロ)」の取り組みや、料理レシピコンクールで審査員特別賞を受賞した「筋肉焼売」を冬季アジア札幌大会の選手宿舎で提供した経験も生かされていると感じます。

私が仕事を選ぶ際の軸としていたのは、いつでも健康でいられるような環境や知識の提供

ができる業務内容か、という部分でした。大学4年時の保健所での臨地実習が、行政栄養士という仕事の役割と責任の大きさを知る機会となりました。市町村の栄養士さんや、地元へ根ざした食に関するボランティアの方々と一緒に、住民の健康を支えるために取り組んでいた姿が印象的で、保健所での仕事に魅力を感じました。

健康や栄養に関する情報を提供することで、地域住民の健康意識を高める役割を果たせることに、この仕事のやりがいを感じています。これから分かりやすく、興味を引くコンテンツを提供できるように工夫を凝らして、行政としての取り組みを推進していきます。今後、北海道庁の出先機関である保健所に異動となった時には、地域の実情を肌で感じ、課題や特徴を捉え



MY CAMPUS LIFE
7

自分とチームのために力を注いだ ラクロス部での日々

大学で所属していたラクロス部では、マネージャーやゼミに在籍していた大学院生の方などに力を借りながら、体組成分析を行って自分の体について勉強し、筋トレメニューや、練習中・試合前後の栄養補給の方法・タイミングなどを実践していました。

4年生からはアタックリーダーとして、チームのモチベーションアップのための目標設定や練習計画の策定、メンバー間のコミュニケーションの円滑化、試合の分析なども行いました。チームワークの重要性、全体を俯瞰して見ることなど、部活動を通して学んだ価値観や創造性は現在でも大切にしています。

食を通じて
健康で笑顔になれる
楽しみを知ってもらい、
地域住民の健康増進に貢献

Interview 03

北海道保健福祉部 健康安全局 地域保健課 勤務

宮武 希衣さん
農食環境学群
食と健康学類 管理栄養士コース
2018年3月卒業
北海道／北海道旭川高等学校 出身



Interview 04

北海道日高振興局 保健環境部 環境生活課 勤務

久郷 真治さん
農食環境学群
環境共生学類 野生動物学コース
2020年3月卒業
北海道／市立札幌清田高等学校 出身

今後はさらに北海道のためになる 業務をしていきたい

入学当初は、野生鳥獣の保護・管理について、現地調査に興味を持って講義や研究に臨んでいました。しかし実際に経験するうちに、道や市町村を軸に成り立っていることを知り、行政職に興味を持ちました。自然をコントロールすることはできませんが、人であれば折衝することが可能です。野生鳥獣の保護・管理において、方針や施策を決め、現場との調整役となる行政職は非常に重要なポジションであると考え、道職員への就職を決めました。

現在の業務は農林被害防止としてのエゾシカ対策が中心で、数を管理する捕獲事業や肉処理施設認証関係のほか、現地調査や関係機関との調整事務などを行っています。酪農学園大学では生物多様性保全研究室に所属し、研究テーマは人と動物との軋轢、特にシカに関して、今の業務に直結する内容でした。在学中に得た専門的な知識と、身をもって学んだ現場の実情は、行政的な考えに偏りすぎない施策や方法に生かされています。また本学の先生方だけでなく、当

時の研究に関わった研究者やコンサルタントの方々が、道の野生鳥獣関係の会議に出席されています。本学で築いた人間関係が、業務をスムーズに進めるために大いに役立ってくれています。

今後はさらに北海道のためになる業務をしていきたいと思います。国または道の指針および現場の実情をよく理解したうえで、最大限の効果を発揮できるような、それぞれが譲歩できる妥協点を見つけ出し、事業等を実施していきます。本学でお世話になった先生方と仕事に関わり、恩返しもできれば最高ですね。

本学では、普段経験できない特殊な機会に巡り会えるチャンスが多く、知見を広げ専門性を高めたい方にはとてもおすすめです。専門性は



その分野ではもちろん役立ちますが、多様な役割・職域の方が働く行政職の中ではより強力な武器になります。ぜひ機会があれば、将来の選択肢として道職員も考えてみてください。



MY CAMPUS LIFE
7

多方面から知見を広げ、 成長できた

酪農学園大学では研究を通じて、多くのフィールドに行くことができました。エゾシカの生態や捕獲に関する知識はもちろんのこと、赴いた場所の土地柄や出会った人の人柄などについても、本当に多くの気づきがありました。所属していたクライミングサークルでのボルダリングや岩登りの経験は、現在のフィールドワークで役立っています。在学中に築いた人間関係は、今でも私の人生を豊かにしてくれています。多方面から知見を広げ、成長することができた大学生活だったと思います。

Interview

05

奈良動物

医療センター 勤務

井出 雅春 さん

獣医学群
獣医学類 獣医解剖学ユニット
2019年3月卒業
徳島県／徳島県立城東高等学校 出身

動物と飼い主様、
両方を救うことができた
という喜びが私の原動力

人や動物と触れ合いながら
基礎系科目を学ぶことができた

私が勤務する奈良動物医療センターは地域動物医療の中核病院として、高度医療を提供しています。CT、MRI、Cアーム、血液浄化装置、人工呼吸器など多数の高度医療機器をそろえています。患者様を必ず救うという意識・技術の高さ、設備の充実が学生の自分にとって非常に魅力的で、就職を決めました。

総合診療科として勤務する中、特に外科に重きを置いていて、開腹・開胸手術に加え骨折・靱帯断裂や椎間板ヘルニアなどの神経・整形の手術にも取り組んでいます。重症な患者様と向き合うことも多く、飼い主様とはどうしてもシビア



な話をきちんとしないといけません。心を痛め涙される方も多くいます。そのなかで、治療した患者様が見違えるように元気になり退院を迎えるときは、大きな感動とやりがいを感じます。動物と飼い主様、両方を救うことができた、という喜びが私の原動力になっています。

酪農学園大学在学中は基礎系といわれる科目が好きで、生理学、生化学、解剖学、組織学などの教科に興味を持って取り組んでいました。臨床という医療的目線で見ると縁遠い分野に感じるかもしれませんが、実はむしろその逆です。病気というものは生理学的、生化学的、解剖学的、組織学的な異常が複雑に絡み合って起きるものだからです。広大な大地・自然の中で、人や動物と触れ合いながらこれらの学問を学ぶことが本学の最大の魅力であり、今の私にとって大きな財産になっています。ぜひ皆さんも本学で、雄大な自然やかわいい動物たちと共に獣医学を学んでほしいと思います。

これからも外科の知識・技術を高めていきたいですが、認定医や専門医などの資格にも挑戦していこうと考えていますし、海外留学にも興味があります。まだまだ人生選択肢だらけで迷うことも多々ありますが、本学での貴重な経験を

生かして立派な獣医師になる、という目的のために頑張っていきます。



MY CAMPUS LIFE

大学生活で出会った友人は
一生の財産

酪農学園大学ではさまざまなことに興味を持って活動していました。特に英語系の部活動であるESSに所属し、在学中にアメリカとタイの獣医学部へ留学できたことは貴重な経験でした。留学先では多くの現地獣医学生と交流し、日本とは異なる文化・言語・獣医学を学びました。部活動、サークル、ゼミ、留学先など、幅広い分野に興味を持ちいろいろな活動に参加したことで、たくさんの友人たちと出会うことができました。友人とのつながりは今でも大きな財産で、仕事も生活も豊かにしてくれています。

野生動物の調査や研究が
飼育員を目指す動機に

私は現在、円山動物園の動物専門員として、主にアジアゾウの飼育業務を担当しています。給餌や掃除はもちろん、ゾウの健康を管理するために必要な削蹄や採血、来園者への解説、解説板の作成、事務仕事など、飼育員の仕事は多岐にわたります。

大学入学までは盲導犬の訓練士か動物看護師になりたいと考えていましたが、所属した研究室で野生動物の調査や動物園での研究に関わる中で、動物の生態や動物が生息する環境について子どもたちに伝える仕事してみたいと思うようになりました。卒業後2年間は野生動物に関わる別の仕事をしていましたが、動物園の採用試験に挑み、2度目の挑戦で突破することができ、円山動物園への就職を決めました。酪農学園大学で学んだことは主に伴侶動物の動物看護の知識でしたが、動物園での飼育においても役立っていると感じることも多くあります。

飼育員として特に嬉しかった出来事は、円山動物園で初めてアジアゾウが出産したことです。北海道でも初のゾウの出産ということで話題に

もなりました。ゾウたちがミャンマーから札幌へやってきた時から担当していますが、ゾウの出産の瞬間に立ち会えたことは、とても貴重な体験でした。

動物専門員として働く中で、お客様へ動物について解説をした際に「知らなかった!」「そうなんだ!」と新たな発見に繋げられた時に、仕事のやりがいや喜びを感じます。来園者のみなさんが動物を見て、「かわいい! かっこいい!」と思うだけではなく、解説や展示を通じて、野生動物の現状や生息環境について考えるきっかけになればと思いながら取り組んでいます。

また、海外では動物園でも動物看護師が専門職として活躍していますが、日本では動物園で働く動物看護師はまだ少ないのが現状です。



いつか日本の動物園でも動物看護師が活躍できる時代が来ることを期待しながら、これからも励んでいきます。



MY CAMPUS LIFE

研究室での経験と
同期と過ごした日々

研究室ではセラピー犬のストレスについて研究していました。実際にセラピー犬が活動している現場に行き、犬の様子の観察と、ストレスによって数値が変化する犬の唾液中に含まれるホルモンを分析して、ストレスの感じ方に個体差があるかを調べました。その研究成果を学会で発表できたことはとても貴重な経験だったと思います。また研究室の同期の研究や野生動物の調査を手伝うことも多く、切磋琢磨しながら毎日楽しく過ごしていました。同期たちとは卒業後離れ離れになってしまいましたが、今でも定期的に集まるほどとても仲が良いです。

Interview

06

札幌市円山動物園 勤務

鎌田 祐奈 さん

獣医学群
獣医保健看護学類
2016年3月卒業
北海道／北海道札幌厚別高等学校 出身

来園する子どもたちが
動物のことをもっと知りたくなる
きっかけをつくっていく



建学の精神

酪農学園大学は、 一人の青年の 熱い想いから始まった

酪農学園大学は創立時から変わらない想いを受け継いでいます。それは一人の青年が生涯をかけた使命感から生まれたもの。酪農を通じて人の真の豊かさを追い求めた西蔵の想いは、本学で今も息づいています。三愛主義を建学の精神とした人格の完成を目指し、健土健民の思想の下、高邁な学識と技能を有する知行合一の有能な農業人並びに社会の人材を養成することを本学の目的としています。



創立者
黒澤 西蔵
(くろさわ とりそう)

1885(明治18)年茨城県久慈郡世矢村(現常陸太田市)に生まれる。20歳で北海道に渡り、牧夫になる。以後、96歳までの生涯をかけて酪農の振興に尽力し、農民のための会社を立ち上げ、農民のための学校をつくった。その業績から、日本酪農の父と呼ばれる。

黒澤西蔵のあゆみ▶



＝ 酪農学園大学 4つのキーワード＝

Keyword 1 本学の人間教育の柱 三愛主義

本学の人間教育は、神を愛し、人を愛し、土を愛す、「三愛主義」に基づきます。この3つの愛が合わさって初めて、健やかな人と大地が生まれます。

Keyword 2 国土がいかに大切な 健土健民

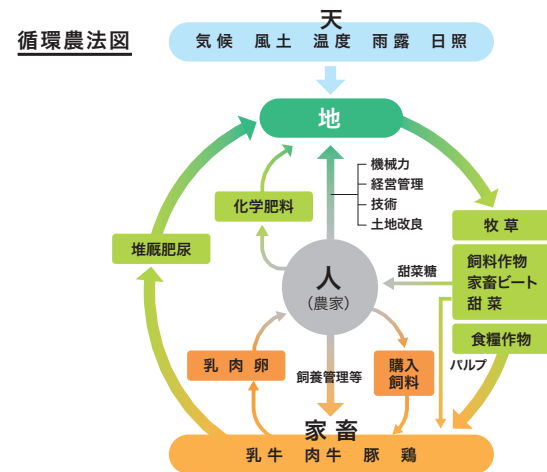
「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」という、本学の実学教育の核をなす理念。

Keyword 3 行動を伴う人材を養成 知行合一

知識と実践は一体であることを意味しています。「知行合一」の有能な農業人ならびに社会の人材を養成することを本学の目的としています。

Keyword 4 酪農を軸とした思想 循環農法

人と自然が共生し、物質やエネルギーが循環するシステムをつくる思想。永续性がありバランスの取れた「循環農法」は「健土健民」思想の実践といえます。



学長メッセージ

人生を学び続ける意味を、 実践的な学びの中にて 掴み取って欲しい

コロナ禍が収束し、社会は新しいあり方に向けて大きく変動し続けていく様相を示しています。また、世界は、異常気象ともいえる気候変動や人口増加、ウクライナ紛争など人類共通の問題を抱える一方で、日本においては、円安、少子化など簡単には解決できない課題に直面しています。そのような状況において、皆さんは、「今後の人生をどう生きていこうと思いますか？」

私たち酪農学園大学は、冷害や社会情勢に翻弄され困窮する農民を救済し、国を発展させるため、本学創立者の黒澤西蔵とその同志たちの熱き想いによって、農民への教育を行う教育機関として創立されました。黒澤西蔵は、「日本の酪農の父」や「北海道開発の父」と呼ばれ、現在のSDGsに通じる考え方「健土健民」「循環農法」を教育の基本精神とし酪農教育に心血を注ぎました。本学ではその黒澤西蔵の精神を引き継ぎ、教職員、学生、共に汗をかきながら社会で活躍していくための多くの学びを得て、共に成長して行く教育環境を整え、皆さんをお待ちしております。

さて、冒頭に問いました「今後の人生をどう生きていこうと思いますか？」について、私も明快な答えはありません。それは、人生を通してずっと探し続けるものかもしれません。ただ一つ言えるのは、「いかなる時も学び続けて行くこと」だと思います。人生は多くの困難に突き当たります。それは、ある意味では皆さんの成長のチャンスでもあり、困難な状況にこそ多くの学びと新たな成長があります。本学には、全国から多くの学生が親元を離れ、集います。その多くの仲間と、皆さん各人がこれからどう生きて行くのか、知識だけではなく、人生を学び続ける意味を、実践的な学びの中にて掴み取って欲しいと願っています。私は1990年に鹿児島を離れ、この酪農学園大学に入学しました。私も多くのことを本学で学び、その体験が人生を豊かなものにしていて実感しています。ぜひ、北海道の豊かな自然、広大なキャンパスにて(東京ドーム28個分)、皆さん自身の今後の人生の新たな一歩を踏み出してみませんか？

酪農学園大学 学長
岩野 英知

沿革

1933(昭和 8)年 北海道酪農義塾開設
1942(昭和17)年 野幌機農学校開設
1948(昭和23)年 学制改革により野幌機農学校を野幌機農高等学校に校名変更
野幌高等酪農学校(通信教育)開設(1991(平成 3)年3月に廃止)
1949(昭和24)年 酪農学園大学部(各種学校)を開設(1950(昭和25)年3月に廃止)
1950(昭和25)年 酪農学園短期大学酪農科を開設
1958(昭和33)年 酪農学園女子高等学校(全日制 普通科)を開設
1960(昭和35)年 酪農学園大学酪農学部酪農学科を開設
酪農学園女子高等学校を三愛女子高等学校に校名変更
1962(昭和37)年 酪農学園短期大学製造科を開設(1972(昭和47)年3月に廃止)
1963(昭和38)年 酪農学園大学酪農学部農業経済学科を開設

1964(昭和39)年 酪農学園大学酪農学部獣医学科を開設
酪農学園短期大学酪農科を1コース(全日制)、2コース(季節制)
(1984(昭和59)年3月に廃止)とする
野幌機農高等学校を酪農学園機農高等学校に校名変更
1975(昭和50)年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(修士課程)を開設
1978(昭和53)年 酪農学園大学酪農学部獣医学教育修士課程を含む6年制に移行
1981(昭和56)年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医学専攻(博士課程)を開設
酪農学園大学大学院酪農学研究科酪農学専攻(修士課程)を開設
1984(昭和59)年 三愛女子高等学校英語コースを開設
酪農学園機農高等学校を酪農学園大学附属高等学校に校名変更
1985(昭和60)年 酪農学園短期大学を北海道文理短期大学に校名変更
北海道文理短期大学教養学科を開設(1999(平成11)年12月に廃止)
1988(昭和63)年 酪農学園大学酪農学部食品科学科を開設
三愛女子高等学校をとわの森三愛高等学校(共学)に校名変更

1990(平成 2)年 北海道文理短期大学経営情報学科を開設
(1999(平成11)年12月に廃止)
1991(平成 3)年 酪農学園大学附属高等学校ととわの森三愛高等学校が統合し、(新生)とわの森三愛高等学校(酪農経営科・普通科・英語科)を開設
酪農学園大学大学院酪農学研究科食生産利用科学専攻(博士課程)を開設
1994(平成 6)年 酪農学園大学酪農学部食品流通学科を開設
1995(平成 7)年 酪農学園大学大学院酪農学研究科フードシステム専攻(修士課程)を開設
1996(平成 8)年 酪農学園大学獣医学部獣医学科を開設(酪農学部獣医学科を改組)
1998(平成10)年 酪農学園大学環境システム学部経営環境学科および地域環境学科を開設
北海道文理短期大学を酪農学園大学短期大学部に校名変更および酪農科を酪農学科に学科名変更
2001(平成13)年 酪農学園大学酪農学部食品科学科に食品科学専攻と健康栄養学専攻(管理栄養士)の2専攻を開設
2003(平成15)年 酪農学園大学大学院酪農学研究科食品栄養科学専攻(修士課程および博士課程)を開設

2011(平成23)年 酪農学園大学農食環境学群循環農学類・食と健康学類・環境共生学類および獣医学群獣医学科・獣医保健看護学類を開設(酪農学部・獣医学科および環境システム学部を改組)
酪農学園大学短期大学部募集停止(2012(平成24)年10月に廃止)
2015(平成27)年 酪農学園大学大学院獣医学研究科獣医保健看護学専攻(修士課程)を開設
2016(平成28)年 酪農学園大学酪農学部農業経済学科・食品科学科食品科学専攻・食品科学科健康栄養学専攻・食品流通学科、環境システム学部地域環境学科廃止
2017(平成29)年 酪農学園大学酪農学部酪農学科、環境システム学部環境マネジメント学科・生命環境学科廃止
2019(平成31)年 とわの森三愛高等学校を酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校に校名変更
2020(令和 2)年 酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校通信制課程に農食環境科学科設置認可
2021(令和 3)年 酪農学園大学 獣医学部獣医学科廃止

つながる、広がる、深まる 酪農学園大学の学び

酪農学園大学では、人や動物、植物、食、自然、命などを軸に2学群6学類が互いに深く関係しています。
そのつながりを生かし、ほかの分野の知識を取り入れ、あなたの学びをさらに深めることもできます。
ひとつの領域にとらわれない視野はこれから生きる力になるはずです。



■ 学群・学類インデックス

	専門教育				
	共通教育				
	教職課程教育 ≫ p.33				
	1年次 初年次教育	2年次	3年次	4年次	
循環農学類 安全な食料を供給する農業について、酪農学・畜産学・農学など多角的に追究する。		動物科学領域			p. 47
		植物生産学領域			
食と健康学類 食の生産、加工・製造、流通ならびに健康など、食に関わる知識や技術を幅広く学ぶ。	酪農学園導入教育 人文社会科学教育 自然科学教育 保健体育教育 情報教育 外国語教育 キャリア教育※ 全学共通教育 学群専門導入教育	食品科学領域			p. 55
		管理栄養士コース			
環境共生学類 野生動物やそれを取りまく地球環境を広く、深く学び、自然と調和・共生する社会の形成に貢献できる力を育成する。		野生動物学領域			p. 63
		地球環境学領域			
農環境情報学類 社会調査手法やドローン等の情報技術を使い、農業や環境分野における課題を情報を活用して解決する人材を育成する。	▼ p. 45-46	アグリデザイン領域			p. 5
		地域データサイエンス領域			

	専門・専修教育				
	専門基礎教育				
	基礎教育				
	1年次 初年次教育	2・3年次		4年次⇒6年次まで	
獣医学類 獣医療をはじめ生命科学における先端的研究を推進する、高度な専門性を有した獣医師を育成する。	酪農学園導入教育 人文社会科学教育 自然科学教育 保健体育教育 情報教育 外国語教育			生体機能学 感染・病理学 予防獣医学 生産動物医療学 伴侶動物医療学	p. 71
獣医保健看護学類 獣医学と動物看護学を学び、幅広い獣医保健看護領域を担える人材を育成する。	▼ p. 45-46	2年次	3・4年次		p. 77
			基礎動物看護学 応用動物看護学 臨床動物看護学		

※管理栄養士コースは3年次開講

初年次教育で 農 食 環境 生命 のつながりを学ぶ

つながりの大切さを学び 生きる力を身につける



▲学びの構造

本学の初年次教育は、人のつながり、生命の循環、命の尊さを学ぶとともに、学生の自主性を促す教育プログラムを展開し、他者と協働して課題解決に取り組む力を身につけます。授業科目には、学群ごとの必修科目と学群共通の必修科目があります。初年次教育で培った力は、その後の専門基礎教育や専門教育はもちろん、さらにその先の人生に必要な「生きる力」＝「豊かな人間性と専門性を兼ね備え、主体性をもって前に進む力」につながります。

授業科目区分

酪農学園導入教育	人文社会科学教育	自然科学教育
保健体育教育	情報教育	外国語教育
キャリア教育※	学群共通教育※	学群専門導入教育※

※獣医学群を除く



教室での講義「建学の精神と農食環境学概論」または「建学原論」
建学の精神を理解し、これからの学生生活において重要な根幹を形成します。



(上)外国語教育 学群共通
国際的視点を養ううえで重要な語学も学びます。
(下)体育実技 学群共通
チームワークの大切さを知ること、人間力の形成につながります。

人間力 を高める

専門性を身につけるうえで必要な基礎力を固めるため、「建学の精神」をはじめ、さまざまな領域を学びます。さらに環境問題やSDGsについてグローバルな視点で捉えるための国際的なコミュニケーション能力も身につけます。また、グループ発表やスポーツを通じて、他人とのつながりの中で社会性や道徳性も養います。

知見 を広める

農作業や作物・植物の観察、牛舎での搾乳などを通じて、物質の循環および私たちの食料が動植物の生命に由来して生産されていることを体験的に理解していきます。また、生命に密接な環境問題についてもグローバルな視点で考えるための教養も取り入れています。



基礎ゼミ農園 農食環境学群

キャンパス内にある農場の畑で作物を育て、管理します。



(上)鶏舎の管理実習 学群共通

飼料給与や集卵作業などの管理作業を行います。

(中)作物の形態観察 農食環境学群

根に共生する根粒を観察。作物生産における一連の流れを体験します。

(下)搾乳 学群共通

牛舎で実際のミルクングパーラーを使用。

(上)牛追い 学群共通

放牧されている牛を実際にハンドリングします。

(下左)動物の救命処置体験 獣医学群

犬のモデルを用いて救命処置の流れと技法を体験。

(下右)羊の毛刈り 学群共通

羊のハンドリング方法、毛刈りを実践し、細部の身体的特徴を観察します。



子豚の聴診 獣医学群

肉牛や鶏も実際の飼育施設に行き聴診します。

命 を体感する

動物のハンドリングや聴診など実際の動物に触れる機会を多く取り入れるほか、獣医学・獣医保健看護学の基礎となる初歩的な技術の実践を体感することで、命の尊さを理解します。

農食環境学群

循環農学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Sustainable Agriculture

取得可能資格

- 中学校教諭一種(理科)
- 高等学校教諭一種(理科・農業)
- 准学校心理士
- 家畜(牛)人工授精師
- ※講習会受講・最終試験合格の場合
- 家畜体内(外)受精卵移植師
- ※講習会受講・最終試験合格の場合

任用資格

- 食品衛生監視員
- 食品衛生管理者
- 飼料製造管理者

受験資格

- ペット栄養管理士

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級
- 経済学検定(ERE)
- 食生活アドバイザー3級
- 北海道フードマイスター
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
- 食品衛生責任者
- 学芸員
- 牛削蹄師(2級)

目指す業界・職業

- 食品関連産業(乳業・食品、小売店など)
- 農業関連産業(肥料・飼料、動物医薬品など)
- 試験研究機関、動物飼育員
- 農業協同組合、家畜人工授精師
- 中学・高校教員、公務員(行政職など)
- 酪農・農業経営、農業法人 など

生命科学としての
農学を学ぶ



学びのポイント

1 「生命科学」としての 農学を学ぶ

私たちの生存に必要な食料の生産を、理論と技術の両面から支える、それが農学の役割です。循環農学類では、フィールドに関連する問題を発見し、生命科学のメスで切り込むことを通じて、本質を見極めて能動的に行動する力を養います。

2 多彩な分野、 多彩な仲間

循環農学類には約30の研究室があり、主に動物と植物の生産を柱にして、農産物利用、社会倫理、そして教職教育まで、広範な学問範囲を扱っています。全国47都道府県から集まってくる多様な仲間と切磋琢磨しながら、取り組めるテーマの広さは無限大です。

3 持続可能な社会の 担い手を目指す

本学の創立者・黒澤酉蔵が80年以上前に唱えた「循環農法」の精神は、循環農学類に受け継がれています。SDGsに注目が集まるなか、環境にやさしく持続可能な農業、未利用資源の活用、気候変動対策といった、現代社会の課題の解決に取り組んでいます。

4 北海道まるごと全部が 私たちのフィールド

フィールドとの距離が近いことも循環農学類の強みです。3つの生産ステーションはもちろん、日本の食料基地・北海道も私たちのフィールド。現場のリアルな問題に向き合うことが実践的な学びにつながり、新しい知識への好奇心をかきたてます。

2年次 専門教育 領域紹介

2年次から領域に分かれて、専門的な学びを深めます。

動物科学 領域

動物科学領域における専門教育では、キャンパス内の広大な草地、酪農生産ステーション、肉畜生産ステーションを用いて、さまざまな動物の生理・生態から実践的な生産体系（乳・肉・鶏卵を効率的に生産するための育種改良、繁殖・子畜生産、飼養管理、飼料生産など）、生産物の利用と流通までを一体的に学びます。また、持続的に発展する社会の構築に向け、動物の健康や快適な暮らしへの配慮の仕方、環境負荷の少ない循環型社会の実現に向けた取り組み、私たち人間の暮らしにおける動物との関わり方を科学的に探求します。さらに生産の現場である農家で行う学外農場実習も選択可能です。3・4年次には配属された研究室での活動を通して専門性を一層高めます。教員免許（高校の農業と理科、中学校の理科）、家畜（牛）人工授精師や家畜体内・体外受精卵移植師の資格取得も積極的に支援します。



領域のポイント

- ✓ 酪農の本場・北海道で本物の酪農学を学ぶ
- ✓ 充実した施設で多様な畜種（乳牛、肉牛、豚、鶏、羊など）の生産技術を実践的に習得
- ✓ 学内の酪農生産ステーションには約170頭の乳牛
- ✓ 広い業界ネットワーク
- ✓ いろいろな動物を対象にした、動物行動学やアニマルウェルフェアについて学べる
- ✓ 元野幌にある肉畜生産ステーションは総面積約100ha
- ✓ それぞれの動物種について2品種以上の家畜を飼養している
- ✓ 肉用牛約80頭、豚約100頭、羊約20頭、採卵鶏約200羽を飼養
- ✓ 採草用圃場が50ha以上
- ✓ エコフィードを積極的に利用した資源循環型の肉畜生産体系を学ぶことができる
- ✓ 講師陣は学内から臨床獣医師、家畜人工授精師、管理栄養士など。また、外部講師として体型審査員や削蹄師など充実
- ✓ 肉牛については受精卵の生産から肉の加工まで、牛肉生産に関する全ての工程を学ぶ

植物生産学 領域

植物生産学領域における専門教育では、キャンパス内に整備された水田や畑作圃場、ガラス温室、ビニールハウスなどで稲作や畑作、園芸生産を実践的に学びます。また、資源循環型農業を支える土（微生物）のはたらきの理解や、環境負荷軽減を目指した総合的病害虫・雑草管理（IPM）を実践できる能力を座学と実験・実習で養います。さらに、「植物生理学」や「植物遺伝育種学」では応用に欠かせない基礎的知識を修得します。農業生産の現場で学ぶ「学外農場実習」も選択可能です。3・4年次には配属された研究室での活動を通して専門性を一層高めます。教員免許（高校の農業と理科、中学校の理科）をはじめとする資格取得と進路選択を積極的に支援します。



領域のポイント

- ✓ 日本の食料を支える大規模畑作の本場・北海道で本物の農業を学ぶ
- ✓ 温暖化社会に対応した次世代農業の実践
- ✓ 最先端の栽培技術、スマート栽培技術を導入
- ✓ 土壌の科学的な理解に基づく持続的な土づくり、栽培体系を実践
- ✓ 環境制御可能な最新設備を有したガラス温室が通年利用可能
- ✓ 地域の有機資源を有効活用した循環農法を学ぶ
- ✓ 農産物を利用、流通までを一体的に捉えた生産体系の実践
- ✓ 水稻、畑作、野菜、花きなど、多様な現場ニーズに対応した実験実習
- ✓ 栽培技術分野の科目と教育的に連動して配置された、土壌、作物栄養、植物の生理・病理・遺伝・育種、作物害虫や雑草に関する専門分野の科目群が充実
- ✓ 実際の生産者との連携による実践教育・研究が充実

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2025年3月現在のものです今後変更もあります。

1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育 ■基礎演習 ■キリスト教Ⅰ ■キリスト教Ⅱ ■哲学 ■心理学 ■文学 ■社会学 ■日本史 ■世界史 ■地理学 ■法学 ■日本国憲法 ■経済学 ■数学Ⅰ ■数学Ⅱ ■生物学 ■生物学実験 ■化学 ■化学実験 ■物理学 ■地学 ■運動の科学 ■体育実技Ⅰ ■体育実技Ⅱ ■情報科学の基礎 ■情報処理基礎演習 ■英語Ⅰ ■英語Ⅱ ■日本語Ⅰ ☆1 ■日本語Ⅱ ☆1 ■キャリアベーシック ■キャリア実習 ■全学共通科目A ■全学共通科目B ■健土健民・農食環境学入門実習 ■建学の精神と農食環境学概論	共通教育 ■キリスト教と諸宗教 ■統計学Ⅰ ■統計学Ⅱ ■物理学実験 ■地学実験 ■情報処理演習 ■英語Ⅲ ■英語Ⅳ ■中国語Ⅰ ■中国語Ⅱ ■ハングルⅠ ■ハングルⅡ ■学外農場実習	共通教育 ■キリスト教と生命倫理 ■外国語演習Ⅰ ■外国語演習Ⅱ ■キャリアデザインⅠ ■キャリアデザインⅡ ■博物館実習	専門教育 ■マーケティング論 ■卒業研究Ⅰ ■卒業研究Ⅱ ■研究発表 ■受精卵移植論
専門教育 ■経営学入門 ■農業政策学Ⅰ ■簿記・会計学基礎 ■物質化学A ■物質化学B ■生化学Ⅰ ■生化学Ⅱ ■植物生態学 ■微生物学 ■乳肉科学 ■循環農学類演習Ⅰ ■循環農学類演習Ⅱ ■土壌学 ■草地・飼料作物学 ■農業機械・施設学 ■農業生産化学 ■動物科学入門実験・実習	専門教育 ■動物科学領域】 ■家畜育種・繁殖学実験 ■動物の衛生 ■家畜管理・衛生学実験 ■家畜繁殖技術論 ■家畜栄養・生産学実習 ■肉用家畜学 ■乳用家畜学 【植物生産学領域】 ■作物生産学Ⅱ ■園芸生産学Ⅱ ■作物園芸学実習Ⅰ ■作物園芸学実習Ⅱ ■植物遺伝育種学 ■植物病理学 ■植物育種・保護学実験Ⅰ ■植物育種・保護学実験Ⅱ	専門教育 ■農畜産物市場論 ■営農システム論 ■アグリビジネス論 ■農業協同組合論 ■食品化学 ■栄養生理学 ■動物生態学 ■気象学の基礎 ■野生鳥獣管理学 ■食品分析学 ■公衆衛生学 ■食品衛生学 ■畜産物利用学A ■畜産物利用学B ■専門ゼミナールⅠ ■専門ゼミナールⅡ ■農業経営学 ■酪農・畜産経営論	教職課程教育 ■理科教育法Ⅲ ■理科教育法Ⅳ ■教育実習(中・高1免) ■教育実習(高1免) ■教職実践演習(中・高1免)
教職課程教育 ■教職入門 ■教育原理 ■教育心理学	教職課程教育 ■特別支援教育論 ■教育方法・ICT活用論 ■生徒・進路指導論 ■教育課程論 ■教育相談論	教職課程教育 ■特別活動論 ■農業科教育法Ⅰ ■農業科教育法Ⅱ ■職業指導Ⅰ(農業) ■職業指導Ⅱ(農業) ■理科教育法Ⅰ ■理科教育法Ⅱ ■教育社会学 ■総合的な学習の時間の指導法 ■道徳教育指導論	

Pick up!

ピックアップカリキュラム1

専門ゼミナール



1 体測風景(体長を測定) 2 教室でのゼミナール活動風景 3 ブラッシング

肉用牛の飼養管理技術を通じて専門的な知識や技術を習得する

本研究室では肉牛農場でのゼミ活動を通じて、哺乳、育成、繁殖から肥育まで一貫して飼養管理技術を習得することが可能です。また、牛の能力評価値、ゲノミック評価値、人工授精、受精卵移植、体外受精技術等の有効活用方法について学ぶことができます。家畜人工授精師は人工授精や受精卵移植の技術のみではなく、牛個体に合った種雄牛の選定、市場価値の高い子牛生産など幅広い知識が必要です。近年、資材や飼料価格の高騰により畜産経営が圧迫されています。また、牛にも地球環境にもやさしい物質循環に配慮することが求められます。肉牛農場では食品加工副産物等の未利用資源利用によるエコフィードを活用した肉牛の飼養コスト低減技術の研究を2009年より行っています。このように、専門ゼミナールでは実際の飼養管理技術から繁殖管理技術まで幅広い知識や技術を習得することができるため、卒業後の就職先でも役立つものと思います。



西寒水 将 准教授
家畜生産改良学研究室

ピックアップカリキュラム2

作物園芸学実習Ⅱ



1 アスパラガスの圃場に設置したフィールドサーバーの観察(ビニールハウス) 2 トマトの生理障害の観察(ガラス温室) 3 タマネギの病害虫調査(露地圃場)

園芸作物の生理生態を深く理解し、栽培における知識と技術を習得する

本実習は「園芸学」、「野菜園芸学」および「花き園芸学」の講義と連動しており、園芸作物の生理生態を踏まえた実学としての栽培技術の習得ができることが魅力です。播種と育苗から、簡易土壌分析、栽培管理、生育調査、収穫調査および出荷調整など、栽培における工程を幅広く行います。播種育苗時には想像ができなかったタマネギやコールラビ、トマト、アスパラガスなどの生育が観察でき、それらを収穫し味わうことで、農業技術の深さや魅力を知ることができます。また、スマート農業技術についても取り組んでおり、ビニールハウス内のリアルタイムのモニタリングシステムだけでなく、外部講師によるドローンの飛行デモンストレーション等も組み入れて学生の興味喚起を促しています。生産に関わる基本的な作業だけでなく、専門的な技術も取り入れて「知識」が「知恵」となるよう工夫しています。



園田 高広 教授
農場生態学研究室

研究室紹介



研究室	教員	職名	テーマ
動物遺伝学	天野 朋子	教授	家畜など動物の形質の遺伝的背景を理解し、その産業への応用を目指す
動物生殖工学	今井 敬	教授	バイオで牛をつくり育てる—120 μ m [*] の卵子から900kgの肥育牛まで— ※ μm＝マイクロメートル
植物育種学	岡本 吉弘	准教授	植物組織培養技術や遺伝子情報に基づいた作物の遺伝育種学研究
理科教育	金本 吉泰	教授	理科教育における生徒の資質・能力の育成についての研究
畜産衛生学	菊 佳男	教授	家畜の健康を守り、生産者と消費者を守る考え方を学ぶ
作物栄養学	小八重 善裕	教授	作物の栄養と健康を見つめ、豊かな食料生産に貢献する
キリスト教応用倫理学	小林 昭博	教授	現代世界の多様なテーマを聖書やキリスト教思想を通して読み解く
植物病理学	薦田 優香	教授	植物の病気を遺伝子レベルで解明し、農業被害を防ぐ技術につなげる
草地・飼料生産学	三枝 俊哉	教授	草地・飼料作物の効率的な生産による持続的な土地利用技術の研究
土壌環境学	澤本 卓治	教授	土壌を中心とした物質動態とその環境との関わりを研究
農場生態学	園田 高広	教授	野菜と病害の生理生態を踏まえた栽培法や病害防除法の開発
家畜飼料学	土井 和也	講師	輸入飼料に依存しない家畜生産を目指して
家畜繁殖学	堂地 修	教授	牛の人工授精、胚移植、体外受精、繁殖管理、肉牛の飼養管理に関する研究
農業科教育	飛谷 淳一	准教授	実践的・体験的な学習活動を通じた農業教育に関する研究
家畜栄養学	中辻 浩喜	教授	草食家畜の栄養生理学を基本に土地利用型乳肉生産を実現する
農業昆虫学	中平 賢吾	准教授	天敵利用などの農業昆虫に関する研究
家畜生産改良学	西寒水 将	准教授	経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計
実践農学	猫本 健司	准教授	畜産環境や循環利用ならびに営農や就農に関する現況や課題の整理
栽培学研究室	林 怜史	准教授	栽培管理に対する作物の反応を知ることで、持続可能な栽培技術を作る
農業科環境教育	廣瀬 之彦	教授	SDGsの視点による探究活動を通し、農業教育の在り方を研究する
英語圏文化	藤田 佳也	教授	「言語」「文化」「表現」を読み解く方法について学ぶ
動物育種学	増田 豊	准教授	家畜をはじめとする動物の性質を、データに基づく選抜と交配で遺伝的に改善する
食物利用学	宮崎 早花	講師	おいしい食べ物とは何かさまざまな視点から考える
園芸学	森 志郎	教授	花きを中心とした新規園芸植物の作出と高品質栽培技術の確立
家畜管理・行動学	森田 茂	教授	「家畜に配慮」した人・牛に優しい管理システムを動物行動から構築する
人と動物の関係学	山田 弘司	教授	人と動物の相互理解とより良い関係を目指して
中小家畜飼養学	山田 未知	教授	豚および鶏の効率的な飼養管理技術を探求する
農村計画論	吉野 宣彦	教授	農村人口を減らさないために、農業のコスト低下や、付加価値生産、経営の多角化を考え、支える
作物学	義平 大樹	教授	人類生存に不可欠な穀物類の良質多収栽培法の研究
資源植物学	我妻 尚広	教授	植物群落の保全や緑化を目的とした植物の生態遺伝学的研究

詳しくCHECK!

Pick up 01

家畜生産改良学研究室
経済能力の高い乳牛および肉牛の牛群整備プログラムの設計



Pick up 02

動物遺伝学研究室
北海道和種馬のような珍しい在来家畜の遺伝的良さ(寒さに強い、放牧に向く、人によく馴れるなど)と関係する遺伝子の探索と活用

Pick up 03

作物栄養学研究室
土づくりに大切な微生物たちの知れざる姿を見る・知る・調べる

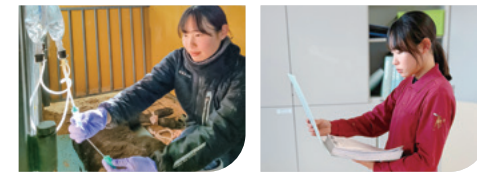
Pick up 04

理科教育研究室
学校現場などとの繋がりがから理科教育の課題に迫り、その解決策を共に模索する

OB・OG インタビュー

※勤務先は2024年4月時点
※コース名称は在学時のもの

就職実績 >> P.87



株式会社長崎ファーム

これからも牛の命に責任をもって働いていきたい

名倉 七海 さん
循環農学類 酪農学コース 2023年3月卒業
石川県/金沢高等学校 出身

長崎ファームでは、毎朝獣医さんが来て牛の治療、病気の予防、繁殖管理などを行っています。私は主に子牛の治療と母牛の繁殖を担当し、毎日体調が悪い牛がいはいか見回り、必要であれば投薬や点滴を行ったり、治療や人工授精を行ったりしてい

ます。農場 HACCP チーム員、SQF ブラックティショナーとして、農場の衛生管理と食品安全の確保にも携わっています。
私は普通科の高校に通っていたこともあり、牛についての知識はほとんどありませんでしたが、酪農学園大学では授業で基本から学ぶことができました。座学だけでなく実習で牛を見たり触れたりすることができたため、就職後現場で実際に牛と関わる際に生かされています。病気で苦しんでいる牛を助け、結果として会社の売上に貢献するために、これからも牛の命に責任をもって働いていきたいです。

株式会社マイナビ 地域活性CSV事業部 (農業活性営業部 総合企画営業1課)

就農を目指す人と農家さんをつなぐ架け橋に

台 正宏 さん
循環農学類 酪農学コース 2018年3月卒業
東京都/東京都立瑞穂農芸高等学校 出身

酪農学園大学の一番の魅力は、農業を身近に学べることです。知識や技術はもちろん、農家の友人から最近のトレンドや経営の考え方などを学ぶこともできます。
現在の農業課題として、人材不足や離農した事例などをよく耳にし、“人”の部分で

貢献したいという思いから、現在はマイナビの地域活性 CSV 事業部で働いています。
仕事内容は、人材採用の提案や求人サイトの運営、就農イベント、セミナーの開催など、農業界に興味を持つ方と現場をつなぐ役割全般を担っています。
自分が携わった農家さんで初めて採用が成功し、「今後も生産を落とさずに経営が続けられる」と感謝された時、採用のお手伝いをすることは、経営の一部を任せられていることだと実感しました。これからも本学での学びを生かし、農業の魅力を伝えていきます。



株式会社ペコラファーム 畜産部

日本中に最高の羊肉を提供しめん羊畜産業に貢献したい

江原 優香 さん
循環農学類 酪農学コース 2021年3月卒業
東京都/共栄学園高等学校 出身

酪農家になる夢を抱いて酪農学園大学に入学しましたが、3年次に見学した羊の出産から仔羊の可愛さに魅了され、「羊を飼育する仕事がしたい」と思うようになりました。卒業後、「羊のまち」として有名な北海道士別市の地域おこし協力隊に就任し、3年間

の任期を経て、ペコラファームに就職。現在はめん羊の飼育に従事し、羊肉や羊毛の生産を行っています。
特に大学で学んだ栄養学やルミノロジー、衛生学などの知識は、子羊の肥育や母羊の管理などにおいて生きていくと日々の業務を通して実感しています。冬には4カ月近く続く過酷な出産シーズンを迎えますが、仔羊たちが無事に大きく成長したときには、やりがいを感じます。今後も、より良い羊を生産し続け、日本中に最高に美味しい羊肉を提供していきたいです。



食と健康学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Food Science and Human Wellness

「食べる」は生きる
食を通じて人々を笑顔に

取得可能資格

- 中学校教諭一種(理科・社会)
- 高等学校教諭一種(理科・農業・公民)
※管理栄養士コースを除く。
- 准学校心理士
※管理栄養士コースを除く。
- 栄養士
※管理栄養士コースのみ。

任用資格

- 食品衛生監視員 ● 食品衛生管理者

受験資格

- 管理栄養士国家試験
※管理栄養士コースのみ。
- 専門フードスペシャリスト(食品開発)
※管理栄養士コースのみ。
- 専門フードスペシャリスト(食品流通・サービス)
※管理栄養士コースのみ。

学類でサポートする資格

- 簿記検定2級・3級 ● 食品衛生責任者
- 販売士2級・3級 ● 学芸員
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1・2・3)
※管理栄養士コースを除く。

目指す業界・職業

- 食品製造業
- 食品卸売・小売業
- 宿泊・飲食サービス業
- 農業協同組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 公務員 など

管理栄養士コース

- 医療・福祉施設
- 食品製造業
- 給食委託業
- 宿泊・飲食サービス業
- 公務員 など



学びのポイント

1

1年次には作物栽培や家畜に触れる農場実習で生産現場を体験

食品全般を理解するため、土から育てた作物が人の体の中で変化するまで、一連の流れを体験しながら学べます。1年次には畑に種をまいて育てた野菜の収穫を行い、また、牛や羊、鶏、豚など家畜に触れて食品のもととなる生産現場を体験します。

2

学内にある乳製品や肉製品の製造実習工場で体験を通じて食を学ぶ

ハムやベーコン、ソーセージなどをつくる食品加工実習室と、チーズやバター、アイスクリームをつくる乳製品製造実験実習室を完備。本格的な設備を使って、食品製造を学べます。

3

安全・安心な「食品」の製造・加工・流通から健康・医療分野までをカバー

食の分野は、安全性やアレルギーの問題、食料自給率の低下、高齢者向けの食品開発の必要性などさまざまな課題を持ち、食品にとどまらず健康・医療まで密接な関わりがあります。これらを体系的に学び、それぞれの専門性を深めていきます。

4

管理栄養士国家試験合格を目指す専門コースを設置

国家資格である管理栄養士はあらゆるライフステージで食事や栄養についてアドバイスを行うなど、食と栄養の専門職として社会的に需要が高く、取得すると活躍の場が広がります。管理栄養士コースでは、国家試験合格を目指し高度で効率的な学習を行っています。

2年次 専門教育 領域・コース紹介

※管理栄養士コースは1年次よりコースに所属

食品科学 領域

本学の基本理念である実学教育を通して、食資源である農畜水産物、微生物等の特性や機能、加工・製造・分析技術を学びます。食品科学に関する幅広い知識と技術を習得するとともに、食品の分析業務、製造・品質管理現場に役立つ人材を養成します。また食品流通ならびにマーケット調査技術をもとにした食品開発にも触れ、新規食品事業開拓をもとに食品開発とその市場価値創生に貢献できる人材を養成します。得られた食品科学・食品流通の知識・技術を生かし「食と健康」のプロフェッショナルとして、人々の食生活に貢献したいという意欲を持つ皆さんをお待ちしています。



領域のポイント

- ✓ 食糧基地・北海道の食資源を活用した食品研究で地域貢献
- ✓ 食品ロス対策に有効な食品保存・加工技術の開発
- ✓ 電子顕微鏡や放射光などによる充実した食品微細構造の研究ができる
- ✓ 食品の安全・安心を維持する高度な食品衛生、生産管理の知識と技術が身につく（HACCPシステム実務者養成科目もある）
- ✓ 学内の生産物（乳製品・肉製品、野菜、ワイン用ぶどうなど）が研究や実習に自由に利用できる
- ✓ 食品メーカーや機器メーカーとさまざまな食材や加工装置を用いた新商品や新技術を開発中
- ✓ 企業との共同研究やフィールドワークが充実！就職活動にも生きる！！

管理栄養士 コース

多様化する栄養・食品業界のリーダーとして活躍できる管理栄養士に

管理栄養士の活躍の場は、病院や保健所、給食現場にとどまらず、食品企業やドラッグストア、薬局などにも広がっています。本学では「健やかな土地から生み出される健やかな食物によって健やかな生命が育まれる」という健土健民の思想を基盤に、人々の健康を支える管理栄養士を育成します。1年次には農産物の生産プロセスを農園で実践的に学び、2年次からは臨床栄養学、給食経営管理論など管理栄養士になるための専門教育、3年次からは希望する研究室でさらに専門的な学びを深めます。地域企業や江別市と連携した多様なプロジェクトにも参加し、メニュー開発や地域貢献活動に取り組み、実践力を養成。少人数クラスの手厚い指導により、道内トップクラスの国家試験合格者を誇っています。



コースのポイント

- ✓ 道内トップクラスの国家試験合格率：月に2～4回の模試や授業外の対策講座が充実し、高い合格率を実現
- ✓ 少人数制の手厚いサポート：40人の少人数制で、きめ細やかな教育と指導が受けられる
- ✓ 本格的な食品技術の学び：チーズやソーセージ、チョコレートなど多様な食品加工を学ぶことができる
- ✓ ゼミ活動で専門性を追求：3年生から研究室（ゼミ）に所属し、興味のある分野の学びを深めることができる
- ✓ 企業と連携した研究・開発：多くの企業とつながりがあり、学生のアイデアが企画や商品等に採用される
- ✓ キャリアにつながる研究活動：抗酸化機能やスポーツ栄養など、新分野の研究に挑戦できる
- ✓ 北海道での地域貢献活動：江別市をはじめとする各地域の資源を活用し、地域活性化に取り組むことができる

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ ☆2：管理栄養士コースは除く
☆3：管理栄養士コースは3年次開講
※この内容は2025年3月現在のもので今後変更もあります。

1 年次

共通教育

- 基礎演習
- キリスト教Ⅰ
- キリスト教Ⅱ
- 哲学
- 心理学
- 文学
- 社会学
- 日本史
- 世界史
- 地理学
- 法学
- 日本国憲法
- 経済学
- 数学Ⅰ
- 数学Ⅱ
- 生物学
- 生物学実験
- 化学
- 化学実験
- 物理学
- 地学
- 運動の科学
- 体育実技Ⅰ
- 体育実技Ⅱ
- 情報科学の基礎
- 情報処理基礎演習
- 英語Ⅰ
- 英語Ⅱ
- 日本語Ⅰ ☆1
- 日本語Ⅱ ☆1
- キャリアベーシック ☆2
- キャリア実習 ☆3
- 全学共通科目A
- 全学共通科目B
- 健土健民・農食環境学入門実習
- 建学の精神と農食環境学概論

専門教育

- 畜産学総論
- 植物生産学入門

- 【食品科学領域】
- 食品科学概論
- 微生物学

【管理栄養士コース】

- 医学概論
- 解剖生理学Ⅰ
- 解剖生理学Ⅱ
- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 生化学実験・実習Ⅰ
- 生化学実験・実習Ⅱ
- 食品学
- 食品学実験・実習Ⅰ
- 調理学
- 調理学実験・実習Ⅰ
- 基礎栄養学

教職課程教育 ☆2

- 教職入門
- 教育原理
- 教育心理学

2 年次

共通教育

- キリスト教と諸宗教
- 統計学Ⅰ
- 統計学Ⅱ
- 物理学実験
- 地学実験
- 情報処理演習 ☆2
- 英語Ⅲ
- 英語Ⅳ
- 中国語Ⅰ
- 中国語Ⅱ
- ハングレルⅠ
- ハングレルⅡ
- 学外農場実習

専門教育

- 経済学基礎理論
- 経営学入門
- 農業協同組合論
- 簿記・会計学基礎
- 物質化学A
- 物質化学B
- 動物の機能と形態
- 動物遺伝学
- 土壌学
- 植物生理学

【食品科学領域】

- 生化学Ⅰ
- 生化学Ⅱ
- 食品科学実験Ⅰ
- 食品科学実験Ⅱ
- 食品化学
- 食品微生物学
- 乳肉科学
- 栄養生理学
- 食品ミクロサイエンス
- 食品産業論
- マーケティング論
- 食品開発論

【管理栄養士コース】

- 公衆衛生学
- 社会福祉概論
- 解剖生理学実験・実習Ⅰ
- 解剖生理学実験・実習Ⅱ
- 病理学
- 運動生理学
- 食品学実験・実習Ⅱ
- 微生物学
- 食品加工学
- 調理学実験・実習Ⅱ
- 基礎栄養学実験・実習
- 応用栄養学Ⅰ
- 応用栄養学Ⅱ
- 栄養教育論Ⅰ
- 臨床栄養学Ⅰ
- 臨床栄養学実習Ⅰ
- 公衆栄養学Ⅰ
- 給食経営管理論Ⅰ

教職課程教育 ☆2

- 特別支援教育論
- 教育方法・ICT活用論
- 生徒・進路指導論
- 教育課程論
- 教育相談論
- 地誌

3 年次

共通教育

- キリスト教と生命倫理
- 外国語演習Ⅰ
- 外国語演習Ⅱ
- キャリアデザインⅠ
- キャリアデザインⅡ ☆2
- 博物館実習

【管理栄養士コース】

- キャリア実習

専門教育

- 農畜産物市場論
- 農業政策学Ⅰ
- アグリビジネス論
- 農業経営学
- 国際法
- 国際経済論
- 草地・飼料作物学
- 作物生産学Ⅰ
- 園芸生産学Ⅰ
- 専門ゼミナールⅠ
- 専門ゼミナールⅡ

【食品科学領域】

- 食品科学実験Ⅲ
- 食品分析学
- フードテクノロジー
- 食品栄養学
- 運動と栄養
- 食感の物理学
- 食品衛生学
- 公衆衛生学
- 農産資源利用学
- 畜産物利用学A
- 畜産物利用学B
- 畜産物利用学実験実習
- 食品品質管理論
- 食品流通論
- 食品開発プロセス実践実習
- 食品マーケティング戦略論

【管理栄養士コース】

- 公衆衛生学
- 社会福祉概論
- 解剖生理学実験・実習Ⅰ
- 解剖生理学実験・実習Ⅱ
- 病理学
- 運動生理学
- 食品学実験・実習Ⅱ
- 微生物学
- 食品加工学
- 調理学実験・実習Ⅱ
- 基礎栄養学実験・実習
- 応用栄養学Ⅰ
- 応用栄養学Ⅱ
- 栄養教育論Ⅰ
- 臨床栄養学Ⅰ
- 臨床栄養学実習Ⅰ
- 公衆栄養学Ⅰ
- 給食経営管理論Ⅰ

教職課程教育 ☆2

- 特別活動論
- 農業科教育法Ⅰ
- 農業科教育法Ⅱ
- 職業指導Ⅰ（農業）
- 職業指導Ⅱ（農業）
- 理科教育法Ⅰ
- 理科教育法Ⅱ
- 社会科・公民科教育法Ⅰ
- 社会科・公民科教育法Ⅱ
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅰ
- 社会科・地理歴史科教育法Ⅱ
- 教育社会学
- 総合的な学習の時間の指導法
- 道徳教育指導論

4 年次

専門教育

- 卒業研究Ⅰ
- 卒業研究Ⅱ
- 研究発表

【管理栄養士コース】

- 専門ゼミナールⅡ
- 専門ゼミナールⅢ
- 研究発表
- 給食管理実習Ⅱ
- 臨床栄養学実習Ⅲ
- 臨床栄養学実習Ⅳ
- 公衆栄養学実習Ⅱ
- 管理栄養士演習Ⅰ
- 管理栄養士演習Ⅱ

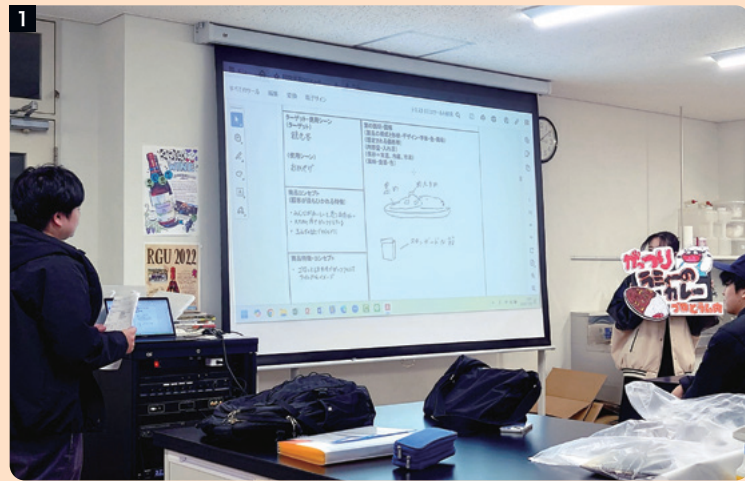
教職課程教育 ☆2

- 理科教育法Ⅲ
- 理科教育法Ⅳ
- 教育実習（中・高1免）
- 教育実習（高1免）
- 教職実践演習（中・高1免）

Pick up!

ピックアップカリキュラム1

〔食品科学領域〕食品開発プロセス実践実習



1 考案したカレーのコンセプトの説明 2 レシピに基づいてカレーの試作 3 できあがったカレー 4 試食して評価

社会における企画立案から試作開発、マーケティングの流れを学ぶ

普段何気なく買って食べている食品がどのようなプロセスで商品化していくかについて、実際にオリジナルレトルトカレーを企画立案し、試作して製品を完成させる珍しい実習です。包装された食品を高温高圧の蒸気で加熱殺菌する小型レトルト処理装置を用います。食品企業が新製品開発を行うためには自社の技術的な強みに加えて消費者ニーズをとらえた新規性のあるアイデアが必要です。ディスカッションを重ねながら、テーマの策定およびそのアイデアを具体化してパッケージデザインや包装形態を検討します。コンセプトに基づいた試作を繰り返して製品を完成させ、試食アンケートで消費者ニーズを把握し、これらをまとめてプレゼンテーションを行います。食品会社における企画立案から試作開発、マーケティング、プレゼンテーションまでの流れを会得することができる実習です。



阿部 茂 教授
農産資源科学研究室

ピックアップカリキュラム2

〔管理栄養士コース〕給食管理実習Ⅰ



1 野菜を切る順番など、学生が全て考えて作業を行う 2 加熱された食品は、中心部温度計で衛生基準の温度に達しているかチェックする 3 洗米専用の機材で大量のお米を洗浄する

生産・衛生管理を体系的に学び、どの給食施設でも即戦力に

実際の給食提供を通して、給食施設での管理栄養士業務を学ぶ実習です。実習室には、厚生労働省の衛生管理基準をクリアするための機材がそろっています。給食経営管理論Ⅰ・Ⅱで学んだ献立作成をもとに材料費計算から給食の生産、喫食までの過程をグループ学習します。毎回の実習で栄養士班・調理班・下処理班など役割を変え、それぞれの班同士でも議論しつつ、約100食の献立計画から提供までを切れ目なく行います。給食は、他学年の学生や教員に喫食してもらいます。給食経営管理の一連の流れを経験し、実際の現場で即戦力になれるような知識と実践力を身につけます。基本的な給食の生産管理や衛生管理などの方法を体系的に学ぶことで、病院や高齢者施設、学校など、どの給食施設でも業務への対応が可能になります。学生相互で主体的に学ぶグループ学習で身につけられるコミュニケーション能力は、どの職場においても役に立ちます。



小林 道 教授
給食栄養管理研究室

研究室紹介



研究室	教員	職名	テーマ
農産資源科学	阿部 茂	教授	食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う
	小泉 次郎	講師	
食肉科学	岩崎 智仁	教授	筋肉から食肉までの生化学、衛生学および組織細胞学：マウスからジビエまで
	前田 尚之	教授	
	長谷川 靖洋	准教授	
流通マーケティング	増田 祥世	准教授	農と食を軸により良い社会を作るマーケティングのあり方を考える
食品化学	小野寺 秀一	教授	食資源を有効活用し、新しい機能性食品素材を開発する
	上野 敬司	教授	
食品物理学	金田 勇	教授	分子ガストロノミーを志向した食品の物理学
	川端 庸平	准教授	
乳科学	栃原 孝志	准教授	発酵乳製品の微生物叢および乳酸菌の機能解析と利用に関する研究
	平山 洋佑	講師	
発酵科学	船津 保浩	教授	発酵技術を用いた低利用資源の有効活用と安全・安心な食品素材の開発
	村松 圭	准教授	
食・健康スポーツ科学	柴田 啓介	講師	健康増進およびスポーツパフォーマンス向上を目的としたより良いトレーニング方法の探究
数学	上野 岳史	教授	自然演繹における部分構造論理の正規化可能条件についての研究
教育発達心理学	須賀 朋子	教授	学校現場で必要な教育心理学、特別支援教育を追求する

■管理栄養士コース

研究室	教員	職名	テーマ
臨床栄養学	大谷 克城	教授	抗酸化機能に着目した食素材研究と新たな機能性食品の開発
臨床栄養管理学	小川 美弥子	講師	問題構造化の手法を用いた栄養士業務に関する研究 心身の健康問題と食事の質に関する研究
公衆栄養学	木村 宣哉	准教授	地域・集団・個人における健康についての研究
給食栄養管理	小林 道	教授	栄養および食習慣が人々の健康に与える影響を科学的に明らかにする
栄養教育学	杉村 留美子	准教授	行動科学理論に基づく栄養教育、食行動変容の促しに関する研究
食品学	船津 保浩	教授	食品ロスのリサイクル技術と道産食材を活用した低GI食品の開発
食品衛生学	村松 圭	准教授	食材の機能性や共生菌に注目した食の安全と健康を科学する研究
食・健康スポーツ科学	山口 太一	教授	パフォーマンス向上を目的としたスポーツ栄養学およびトレーニング科学的探究
医学・生理学	山田 雅文	教授	さまざまな疾患と栄養との関わりについて、その病態とともに学ぶ

動画で詳しく
CHECK!

Pick up 01 食品物理学研究室

分子ガストロノミーを志向した食品の物理学



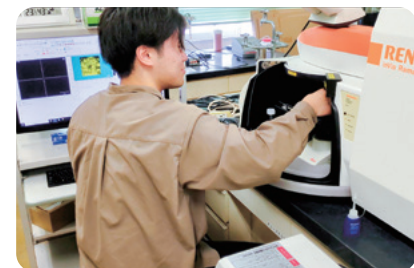
Pick up 02 農産資源科学研究室

食品企業や自治体が求める新たな食品加工技術や新商品の開発を行う



Pick up 03 食・健康スポーツ科学研究室

スポーツパフォーマンスを高めるためのより良いコンディショニング法の探究



OB・OG インタビュー

※勤務先は2024年4月時点

就職実績 > P.87



北海道日高乳業株式会社 (検査課)

研究室での学びや経験が 食品製造の仕事に生かされている

菅井 理央さん

食と健康学類 食品開発学コース(現・食資源開発学コース)
2022年3月卒業 北海道／北海道岩見沢農業高等学校 出身

高校生の時から好きだったヨーグルッペをはじめ、乳製品全般を製造している北海道日高乳業株式会社の、品質管理部門で検査を担当しています。具体的には、成分の測定や微生物検査、風味を確認する官能検査を行います。

酪農学園大学では、食品に関する知識・技術を学ぶなかで微生物への興味が湧き、応用微生物学研究室(現・発酵科学研究室)を選びました。さまざまな食品から乳酸菌を分離させて菌の特性を研究したことや、商品開発を行った経験は特に、今の仕事に生かされています。お店で自社製品を見かけたり、お客様の「おいしい!」という声を聞いたりすると、とても嬉しいです。今後は検査員として知識を深めていくことはもちろん、弊社の製品を全国の人に食べてもらいたいのので、宣伝にも携われたらと考えています。

市立札幌病院 (栄養科)

医療者の一員として命を救う 病院の管理栄養士に

小鹿 真由さん

食と健康学類 管理栄養士コース 2016年3月卒業
青森県／青森県立八戸南高等学校 出身

管理栄養士を目指し、国家試験の合格率が高い酪農学園大学に入学しました。そして大学の授業や実習での経験から、行政栄養士を目指すようになりました。現在は札幌市公務員として市立札幌病院に勤務しています。業務内容は、食事や栄養補助食品の調整、管から栄養を投与する経腸栄養の調整などの栄養管理および患者の病態や理解度に合わせた栄養指導などです。以前、全身に重度の火傷を負った患者さんに対し、最初は胃に直接チューブで流す栄養の内容調整をしましたが、最終的に食事を全量食べられるようになり、歩行できるまでに回復したことは印象深かったです。そんな命を救う現場で、医療者の一員として働ける病院の管理栄養士という仕事にとってもやりがいを感じています。



農食環境学群

環境共生学類

College of Agriculture, Food and Environment Sciences / Department of Environmental Sciences

取得可能資格

- 中学校教諭一種(理科)
- 高等学校教諭一種(理科)
- 准学校心理士
- 環境再生医(初級)

学類でサポートする資格

- 気象予報士
- 生物分類技能検定(2級・3級)
- 猟銃所持許可
- 狩猟免許(猟銃・わな・網)
- ピオトープ管理士
- 公害防止管理者

受験資格

- 鳥獣管理士 準1級(野生動物学コース卒業必須)・2級・3級
 - シカ捕獲認証(DCCレベル1)
- ※コース名称は、2025年3月時点

目指す業界・職業

- 環境・建設コンサルタント業
- 環境NPO・NGO法人
- 衛生サービス業
- 情報通信業
- 農業協同組合・森林組合
- 教育・学習支援業
- 教員
- 都道府県・市町村公務員
- 狩猟者・認定鳥獣捕獲事業者 など



世界の自然環境・
生態系をどう守る？
その答えを北海道から探す



学びのポイント

1

地球環境、生態系の仕組みや
つながりを科学的に解明し
問題解決の方法を探る

環境とは人や生物を取り巻く総体で、守るのも壊すのも人の考え次第です。野生の動植物に対して好き嫌いだけでなく、一つの生命として向き合い、全ての自然のつながりを理解する学びを行います。

2

自然と人が調和・共生する
社会の実現に貢献できる
人材を育成

本学類には環境に関する多種多様な分野を専門とする教員が在籍しています。広大なフィールドで、自然と共生する社会に貢献するための生きた力が養われます。

3

北海道から
世界のフィールドで
実学教育を実践

4年間を通してたくさんのフィールドワークの機会があり、複雑な生態系を肌で感じながら学ぶことができます。学生の4人に1人が実習・調査・留学で、アジアやオセアニア、欧米、アフリカなどの海外経験をしていることも本学類の特徴です。

4

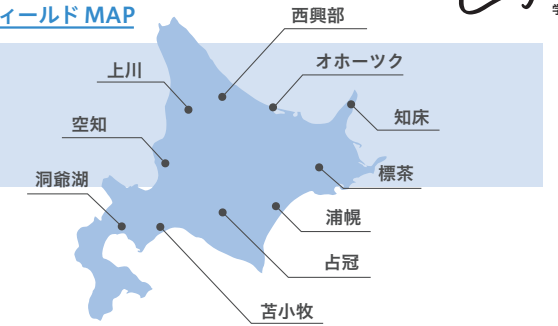
農環境情報学類と連携し、
GIS、RSを用いた
情報解析を実践的に学ぶ

地域の諸問題の解決に不可欠な、人工衛星やドローンから得られる空からの目「RS(リモートセンシング)」、その画像をほかの情報と合わせて解析する「GIS(地理情報システム)」の技術を、農環境情報学類と連携し、講義・実習等を通じて実践的に学びます。

2年次 専門教育 領域紹介

2年次から領域に分かれて、専門的な学びを深めます。

実習フィールド MAP



地球環境学 領域

北海道の森・川・湖・海といった優れた自然資源の保全と利用を題材に、地球環境について物質的・エネルギー的な理論と技術を身につけ、地域から地球規模まで幅広い環境問題に対応できる人材、**Nature Specialistの育成を目指します。**

野生動物学 領域

野生動物の生態や保護管理について、北海道を中心とした広大なフィールドにおいて、生態学的なベースに立脚した理論と技術を学び身につけ、野生動物に関わる地域の問題を解決できる人材、**Wildliferの育成を目指します。**



領域のポイント

- 大型哺乳類、中型哺乳類、鳥類、両生類、昆虫類など、多彩な動物種について幅広い専門知識と技術を学ぶことができる
- 野生動物の生態や行動、保全や管理、狩猟や有効活用、鳥獣行政、人や地域と野生動物などを専門とする多彩な研究室
- GPS装置やドローン、ICTを活用した高度な調査技術の習得
- 全国各地の野生動物の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置
- 地球規模の(Globalな)視点で環境問題を捉え、地域の(Localな)視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境や野生動物、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- マレーシアやカナダなどでの海外実習やフィールドワークも充実

領域のポイント

- 気候や気象、環境変動・変化、湖沼・河川流域環境、海洋環境、水環境、土壌や植生、植物などを専門とする多彩な研究室
- 地球温暖化や気候変動について学べる・研究できる
- 人工衛星やドローン、ICTを活用した高度な環境情報解析の習得
- 全国各地の環境の問題に、最前線で活躍する人材を輩出中
- 資格取得に繋がる専門科目を多数配置
- 地球規模の(Globalな)視点で環境問題を捉え、地域の(Localな)視点で問題解決のために行動できる人材を育成
- 自然環境、人々の暮らしを地域の資源として地域活性化にも貢献
- 北海道の大自然、森・里・川・海全てがフィールド。全道各地で豊富なフィールドワーク
- 地域の課題も地球環境の危機も、市民公園の池から南極まで、広範な教育研究テーマ
- マレーシアやカナダなどでの海外実習やフィールドワークも充実

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2025年3月現在のものです今後変更もあります。

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
共通教育 ■基礎演習 ■キリスト教Ⅰ ■キリスト教Ⅱ ■哲学 ■心理学 ■文学 ■社会学 ■日本史 ■世界史 ■地理学 ■法学 ■日本国憲法 ■経済学 ■数学Ⅰ ■数学Ⅱ ■生物学 ■生物学実験 ■化学 ■化学実験 ■物理学 ■地学 ■運動の科学 ■体育実技Ⅰ ■体育実技Ⅱ ■情報科学の基礎 ■情報処理基礎演習 ■英語Ⅰ ■英語Ⅱ ■日本語Ⅰ ☆1 ■日本語Ⅱ ☆1 ■キャリアベーシック ■キャリア実習 ■全学共通科目A ■全学共通科目B ■健土健民・農食環境学入門実習 ■建学の精神と農食環境学概論 専門教育 ■環境共生学概論 ■野生動物学の基礎 ■地球環境科学の基礎 ■GISリモートセンシング基礎 ■GIS基礎演習 教職課程教育 ■教職入門 ■教育原理 ■教育心理学	共通教育 ■キリスト教と諸宗教 ■統計学Ⅰ ■統計学Ⅱ ■物理学実験 ■地学実験 ■情報処理演習 ■英語Ⅲ ■英語Ⅳ ■中国語Ⅰ ■中国語Ⅱ ■ハングルⅠ ■ハングルⅡ ■学外農場実習 専門教育 ■物質化学A ■物質化学B ■生化学Ⅰ ■生化学Ⅱ ■土壌学 ■微生物学 ■資源リサイクルと環境保全 ■アジア環境学 ■自然環境実験実習Ⅰ ■自然環境実験実習Ⅱ ■保全生物学 ■生物分類学 ■生物地球化学 ■植物生態学 ■気象学の基礎 ■動物生態学 ■GIS応用演習 ■リモートセンシング基礎演習 ■海外自然環境実習 【野生動物学領域】 ■野生動物と社会 ■フィールド調査分析法 ■鳥獣行政論 ■野生動物観察同定実習 ■野生動物保全技術実習Ⅰ ■野生動物保全技術実習Ⅱ 【地球環境学領域】 ■水圏環境化学 ■気象・気候学 ■森林環境学 ■火山と資源 ■水圏・地圏総合実習 ■生命環境学実験実習Ⅰ ■生命環境学実験実習Ⅱ 【地球環境学領域】 ■地球惑星科学 ■自然環境保全と地球温暖化 教職課程教育 ■特別支援教育論 ■教育方法・ICT活用論 ■生徒・進路指導論 ■教育課程論 ■教育相談論	共通教育 ■キリスト教と生命倫理 ■外国語演習Ⅰ ■外国語演習Ⅱ ■キャリアデザインⅠ ■キャリアデザインⅡ ■博物館実習 専門教育 ■国際法 ■ボランティア活動NPO・NGO論 ■国際経済論 ■地域計画論 ■再生可能エネルギー入門 ■バイオマス技術入門 ■プログラミング入門 ■機械学習入門 ■専門ゼミナールⅠ ■専門ゼミナールⅡ ■環境共生学外実習 ■植生保全学 ■生態地保全管理論 ■環境共生演習Ⅰ ■環境共生演習Ⅱ ■統計データ分析演習 ■環境モニタリングとリモートセンシング 【野生動物学領域】 ■野生動物と社会 ■フィールド調査分析法 ■鳥獣行政論 ■野生動物観察同定実習 ■野生動物保全技術実習Ⅰ ■野生動物保全技術実習Ⅱ 【地球環境学領域】 ■水圏環境化学 ■気象・気候学 ■森林環境学 ■火山と資源 ■水圏・地圏総合実習 ■生命環境学実験実習Ⅰ ■生命環境学実験実習Ⅱ 教職課程教育 ■特別活動論 ■理科教育法Ⅰ ■理科教育法Ⅱ ■教育社会学 ■総合的な学習の時間の指導法 ■道徳教育指導論 専門教育 ■卒業研究Ⅰ ■卒業研究Ⅱ ■研究発表 ■動物園水族館学 教職課程教育 ■理科教育法Ⅲ ■理科教育法Ⅳ ■教育実習(中・高1免) ■教育実習(高1免) ■教職実践演習(中・高1免)	専門教育 ■卒業研究Ⅰ ■卒業研究Ⅱ ■研究発表 ■動物園水族館学 教職課程教育 ■理科教育法Ⅲ ■理科教育法Ⅳ ■教育実習(中・高1免) ■教育実習(高1免) ■教職実践演習(中・高1免)

Pick up!

ピックアップカリキュラム1

生命環境学実験実習Ⅰ

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 地層の剥ぎ取り標本の作成 2 篩分け法による津波堆積物の粒度分析 3 地層観察に基づく津波堆積物の特徴の抽出と共有

自然災害の痕跡から観察・分析し、地質学的調査の基本を体得する

「地層観察の基礎」の回では、北海道東部太平洋沿岸域において過去約400年間で形成された地層を対象とし、先行研究により認定されている過去の津波の痕跡(千島溝起源の17世紀地震に伴う津波堆積物)に触れ、地質学的特徴の調べ方を学びます。津波堆積物が明瞭な状態で地層中に保存されているのが北海道東部沿岸域の特徴であり、それを直接用いることができるのが本実習の強みです。本実習ではジオスライサーという器具で採取された地層を観察し、津波堆積物に含まれる粒子の分析などから、堆積物の運搬・形成過程や保存過程を理解していきます。さらに地層剥ぎ取り標本の作成法も学びます。自然災害の痕跡を理解することは、災害の発生間隔や規模の理解にも繋がるため、災害についてのリテラシーを高めるだけでなく、痕跡が保存され得る自然環境の保全意識形成にも役立つと考えています。



千葉 崇 講師
自然再生学研究室

ピックアップカリキュラム2

野生動物観察同定実習

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 捕獲した昆虫の顕微鏡下でのソーティング 2 グループ分けした昆虫はラベルを付けて保管 3 甲虫の一部は乾燥標本にする

野生動物を用いた研究調査の手法を学ぶ

本実習は、哺乳類から鳥類、無脊椎動物などさまざまなグループを専門とする教員から実際のフィールド活動を通して、それぞれのグループにおける一連の研究調査を学ぶものです。例示する昆虫実習では、大学の敷地内にある原生林をフィールドとしてトラップ採集と見つけ採りを行い、そのサンプルを顕微鏡下で観察しグループ分けするソーティングを実施します。昆虫は種数が多く環境ごとに特殊化したものが生息しているため、重要な環境指標となっていますが、この実習で学ぶ手法は実際に環境アセスメントの現場で行われているものに近く、環境調査において必須の技術です。また顕微鏡で多様な昆虫をつぶさに観察することで、グループごとの特徴や類似性、相違が徐々に分かるようになります。豊かな自然に囲まれたキャンパスだからこそできる実践的な実習であり、昆虫の多様性調査の基礎になります。



松林 圭 講師
昆虫生態学研究室

研究室紹介



研究室	教員	職名	テーマ
狩猟管理学	伊吾田 宏正	准教授	持続的な狩猟の発展および狩猟鳥獣の生態と管理
野生鳥獣管理学	伊藤 哲治	講師	野生動物を知り、人と共存する方法を探索する
野生動物生態学	佐藤 喜和	教授	フィールドワークを通じて野生動物の生態を探索
保全生物学	鈴木 透	准教授	野生動物と自然環境の相互関係を科学する
情報工学	高取 則彦	教授	生物進化のシミュレーションと進化的計算法
生物多様性保全	立木 靖之	准教授	持続可能な地域社会と生物多様性の保全についての研究
自然再生学	千葉 崇	講師	地質記録等から過去の環境変化を読み取り古地震等の現象を明らかにする
環境法	遠井 朗子	教授	地球環境条約の履行確保と国内実施方法の検討
水質化学	中谷 暢丈	教授	水や水生生物を介した物質の循環過程や人為的な環境汚染を研究
気象・気候学	馬場 賢治	教授	大気や海洋の見地から社会や動植物に与える影響を研究
動物行動学	原村 隆司	准教授	動物の行動・生態の解明および生物多様性保全に関する研究
環境リモートセンシング	星野 弘方	教授	「頂点捕食者が存在する生態系と存在しない生態系」はどう違うか？
生態系物質循環	保原 達	教授	陸上生態系の生物と環境のつながりを解明する研究
昆虫生態学	松林 圭	講師	昆虫の多様性がどのように生じるかを生態と遺伝子の両面から調査する
昆虫生理生態学	松本 圭司	講師	昆虫の環境適応に関する生理学的・生態学的研究
環境植物学	松山 周平	准教授	DNA分析や操作実験を用いて植物と環境の関係を研究する
環境動物学	森 さやか	准教授	主に鳥類を対象に野生動物の生態と保全に関わる研究に取り組む
環境地球化学	吉田 磨	教授	地域や地球の生命や環境を守るために、多様なフィールドで観測研究
国際理解学	吉中 厚裕	教授	持続可能な社会実現のための「地球」と「地域」両視点の尊重と統合

動画で詳しく
CHECK!

Pick up 01 野生鳥獣管理学研究室

野生動物を知り、人と共存する
方法を探索する



Pick up 02 動物行動学研究室

動物の行動・生態の解明
および生物多様性保全に
関する研究



Pick up 03 水質化学研究室

水や水生生物を介した物
質の循環過程や人為的な
環境汚染を研究



OB・OG インタビュー

※勤務先は2024年4月時点
※コース名称は在学時のもの

就職実績 > P.88



大阪府 環境農林水産部 動物愛護畜産課

野生動物の保護管理で 地元の方々の頼りになる存在に

義本 香保子 さん

環境共生学類 野生動物学コース 2021年3月卒業
大阪府／大阪学芸高等学校 出身

野生動物を管理するうえで、全体を俯瞰せず、ほかの地域に追いやるだけといったその場限りの対策では、根本的な解決にはなりません。酪農学園大学で勉強する中で、野生動物は広域的な管理が重要だということが分かり、その実践の場として、地元である大阪府の「林学職」に応募しました。

現在、主に府内のニホンジカやイノシシなど、野生鳥獣の保護管理に関する仕事をしています。全国的に見れば大阪府の森林面積は少ないですが、北部地域では近年シカの生息密度が高く、農林業被害も出ています。こうした状況で、新たなシカ捕獲強化事業の導入に向けた地元調整や、シカの侵入初期段階の地域における捕獲技術研修会を企画しています。わなを仕掛ける際には捕獲効率を上げるため、センサーカメラを設置するなど、本学で学んだフィールドワークの知識が生かされていると感じます。

浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館 浜頓別町役場

研究の活動をきっかけに 環境教育の仕事へ

千田 幹太 さん

環境共生学類 生命環境学コース 2015年3月卒業
岩手県／岩手県立黒沢尻北高等学校 出身

ラムサール条約登録湿地の拠点である浜頓別クッチャロ湖水鳥観察館に勤務し、来館者の案内や近隣学校での授業をはじめ、野鳥の標識調査・飛来数調査・発信器調査、外部機関の調査協力、湖水まつりの開催まで、幅広い業務に携わっています。浜頓別町には大学時代に環境地球化学研究室の活動で頻りに足を運び、その中のひとつに「環境キャンプ」がありました。環境教育のプログラムを考え、子どもたちと一緒に活動した経験から、社会人になっても子どもたちに関わりたと思うようになり、今の仕事につながっています。在学中、実習や卒業論文に取り組む際はさまざまな分析機器や調査道具を使いますが、酪農学園大学では高度な機器の使用方法も学ぶことができ、身につけた技術は就職後も役に立っていると感じています。



獣医学群

獣医学類

School of Veterinary Medicine / Department of Veterinary Medicine

動物にも人間にも
信頼される獣医師になる



取得可能資格

●食品衛生責任者

受験資格

●獣医師国家試験

任用資格

●食品衛生監視員
●食品衛生管理者
●飼料製造管理者
●環境衛生監視員

学類でサポートする資格

●食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
●学芸員
●牛削蹄師(2級)

●家畜人工授精師 ※獣医師免許取得者は資格を有する
●狂犬病予防員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
●と畜検査員 ※獣医師免許取得者は資格を有する
●薬事監視員

目指す職業

■伴侶動物病院獣医師
■農業共済組合家畜診療所獣医師
■公務員(農林水産省、厚生労働省、環境省、地方公務員)
■研究員(動物医薬品製造業、研究開発、安全性試験)
■動物園・水族館等の獣医師 など



学びのポイント

1

国際水準を満たした教育課程で
獣医師として将来活躍する分野を
見据えた高度な専門性を養う

「動物のお医者さん」だけではなく、獣医師の仕事は多岐にわたり、グローバルに活躍できます。本学類では実践的な学びを通して多様なニーズに応えます。

2

最新の施設・設備を備えた
附属動物医療センターで
実践的な教育を実施

附属動物医療センターは日本一の診療件数を誇り、実際の症例を学ぶ機会が格段に多くあります。スキルスラボでトレーニングを積んだのちに臨床実習に臨むという国際水準の実学教育を通して、卒業直後から臨床獣医師として活躍できる獣医学的技術の習得を実現する体制と設備を整えています。

3

5つの専修教育コースで
専門的に学ぶ

専修教育コースは、生体機能学、感染・病理学、予防獣医学、生産動物医学、伴侶動物医学の5つに区分。人の健康を支える公衆衛生、動物を使った新薬開発の研究、家畜の健康と食の安全を守ることなどさまざまな獣医師の役割を専門的に学びます。

4

学生3人に担当教員が1人。
しっかりと基礎から
実践力を磨く体制

学習の進み具合から専門への方向性までアドバイザー制とユニット制を連携させ、担当教員が学生一人ひとりに応じて国家試験に合格するまで指導していきます。

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2025年3月現在のものです。今後変更もあります。

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基盤教育 ■建学原論 ■キリスト教学 ■健土健民・獣医学入門実習 ■獣医療概論 ■心理学 ■社会学 ■生物学 ■化学 ■運動の科学 ■体育実技Ⅰ ■体育実技Ⅱ ■情報科学の基礎 ■情報処理基礎演習 ■英語Ⅰ ■英語Ⅱ ■日本語Ⅰ ☆1 ■日本語Ⅱ ☆1	基盤教育 ■統計学Ⅰ ■統計学Ⅱ ■Veterinary Topic English (Standard) ■Veterinary Topic English (Advanced) ■English for Veterinary Skills	専門基礎教育 ■動物行動学 ■臨床薬理学 ■臨床繁殖学A ■獣医麻酔疼痛管理学 ■公衆衛生学総論 ■博物館実習	専門基礎教育 ■野生動物学
専門基礎教育 ■獣医組織学A ■獣医生化学 ■獣医生理学総論 ■感染と免疫 ■動物倫理・動物福祉学 ■動物ハンドリング実習 ■全学共通科目A ■全学共通科目B	専門基礎教育 ■獣医薬理学A ■獣医寄生虫学 ■獣医病理学総論 ■実験動物学 ■動物感染症学A ■動物感染症学B ■微生物学実習 ■医療物理学	専門基礎教育 ■獣医薬理学A ■獣医寄生虫学 ■獣医病理学各論 ■獣医病理学実習 ■食品衛生学 ■産業動物臨床学A ■伴侶動物臨床学総論 ■臨床病理学 ■伴侶動物内科学各論A ■手術学総論 ■伴侶動物外科学各論A ■画像診断学 ■伴侶動物臨床学実習A	専門基礎教育 ■人獣共通感染症学 ■獣疫学 ■獣医衛生学 ■ハードヘルス学 ■総合衛生学実習Ⅰ(獣医衛生) ■総合衛生学実習Ⅱ(公衆衛生) ■総合衛生学実習Ⅲ(食品衛生) ■畜産物利用学実習 ■産業動物臨床学B ■産業動物臨床学C ■産業動物臨床学実習A
専門教育 ■獣医解剖学A ■獣医解剖学B ■獣医組織学B ■獣医生理学各論A	専門教育 ■獣医解剖学実習 ■獣医組織学実習 ■分子遺伝学 ■獣医生化学実習 ■獣医生理学各論B ■獣医生理学実習 ■獣医薬理学B	専門教育 ■毒性学 ■獣医薬理学実習 ■動物感染症学C ■獣医寄生虫病 ■獣医寄生虫病学実習 ■魚病学・原虫病学 ■獣医病理学各論 ■獣医病理学実習 ■食品衛生学 ■産業動物臨床学A ■伴侶動物臨床学総論 ■臨床病理学 ■伴侶動物内科学各論A ■手術学総論 ■伴侶動物外科学各論A ■画像診断学 ■伴侶動物臨床学実習A	専門教育 ■獣医畜産法規 ■研究発表 ■学外実習A(伴侶動物) ■学外実習B(生産動物) ■学外実習C(展示・野生動物) ■学外実習D(食品衛生) ■生体機能学演習Ⅰ ■生体機能学演習Ⅱ
	畜産関連科目 ■学外農場実習 ■畜産学総論		畜産関連科目 ■畜産物利用学

5 年次	6 年次
専門教育 ■食肉衛生検査学実習(学外) ■総合病理診断学実習 ■食鳥検査学実習 ■参加型伴侶動物臨床実習A(内科) ■参加型伴侶動物臨床実習B(外科) ■参加型伴侶動物臨床実習C(麻酔・画像診断) ■参加型伴侶動物臨床実習D(検査・馬診療) ■参加型伴侶動物臨床実習E(学外臨床実習・Shelter) ■参加型産業動物臨床実習(学内・学外)	専修教育 ■統合獣医学 ■中獣医学 ■動物理学療法 ■研究発表 ■学外実習A(伴侶動物) ■学外実習B(生産動物) ■学外実習C(展示・野生動物) ■学外実習D(食品衛生) ■生体機能学アドバンスドコース ■感染病理学アドバンスドコース ■予防獣医学アドバンスドコース ■生産動物医療学アドバンスドコース ■伴侶動物医療学アドバンスドコース
専修教育 ■研究発表 ■学外実習A(伴侶動物) ■学外実習B(生産動物) ■学外実習C(展示・野生動物) ■学外実習D(食品衛生) ■生体機能学演習Ⅲ ■生体機能学演習Ⅳ ■感染病理学演習Ⅲ ■感染病理学演習Ⅳ ■予防獣医学演習Ⅲ ■予防獣医学演習Ⅳ ■生産動物医療学演習Ⅲ ■生産動物医療学演習Ⅳ ■伴侶動物医療学演習Ⅲ ■伴侶動物医療学演習Ⅳ	

Pick up!

ピックアップカリキュラム

産業動物臨床学実習B

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 犬の胃の“モデル”を使用した内視鏡の操作 2 鉗子の操作 3 動物用内視鏡の外観

内視鏡

さまざまな動物の“モデル”を使用し、内視鏡検査の技術を学ぶ

酪農学園大学では、臨床獣医師として必要な技術を学べるスキルスラボ棟を2022年に完成させました。スキルスラボ棟では、犬・猫・牛・馬・豚など動物の“モデル”を使用して5つの実習を行います。これらの実習は3年生から4年生で開講され、5年生で行う臨床実習で必要な技術を事前に学ぶ場となります。さまざまな動物の“モデル”を使用していることから、何度でも繰り返し練習をすることが可能です。写真は内視鏡検査の様子で、内視鏡の構造を学び、適切な操作方法を習得します。また、精巧に作られた犬の胃の“モデル”を用いて内視鏡の操作を実践したり、胃の中の異物を摘出するための器具である鉗子の操作を体験します。内視鏡検査は伴侶動物や産業動物など多くの動物の検査に用いられるため、臨床獣医師にとって重要な技術の一つを学ぶ実習です。



大田 寛 教授
伴侶動物内科学ユニット



1 削蹄する場所の確認 2 蹄底(足裏)の確認 3 削蹄練習中の様子

削蹄

生産動物の健康に直結する獣医臨床技術を体験的に学ぶ

生産動物の獣医臨床で必要とされる牛の扱い方から保定法、検査方法、治療の準備、治療方法を理解し、実践形式で診療技術の基礎を身につけていきます。例えば、牛の蹄を整える「削蹄」は重要な獣医師の仕事の一つです。牛が健康に生きるためには、蹄の健全性を保つことが欠かせません。削蹄の実際の作業工程を、モデルを用いて体験しながら習得していきます。身体を動かして理解を深め、楽しく学べることが本実習の醍醐味です。人よりも体格が大きい生産動物の獣医臨床では、見慣れないさまざまな専門道具を使用するため、学生たちは興味を持って真剣に取り組んでいます。生産動物の臨床教育施設が充実している本学で実践的に学ぶことは、貴重な経験になると思います。臨床技術の基礎を習得することで、卒業後の就職先でも仕事をスムーズに始めることができます。



村上 高志 講師
生産動物外科学ユニット

ユニット紹介



CHECK!

分野	ユニット	教員	職名	テーマ
生体機能学分野	獣医解剖学	渡邊 敬文	教授	解剖学から解く生体・形態機能
		高橋 直紀	講師	
		小林 良祐	助教	
	獣医生理学	翁長 武紀	教授	生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明
		安井 由美子	准教授	
	獣医生化学	守屋 大樹	講師	遺伝子レベルで動物の病気を理解し、新しい診断法や治療法を開発する
感染・病理学分野	獣医薬理学	岩野 英知	教授	薬と有害物質の生体作用に関する研究
		藤本 純平	講師	
	疾患モデル学	寺岡 宏樹	教授	薬と有害物質の生体作用に関する研究
		中村 達朗	准教授	
	獣医ウイルス学	嶋田 圭祐	准教授	遺伝子改変マウスを用いた精子形成メカニズムの解明
		藤本 政毅	助教	
	獣医細菌学	秋原 克郎	教授	動物と人に感染するウイルス感染症学から予防・免疫、腫瘍ウイルス療法
		大道寺 智	准教授	
	医動物学	秋庭 正人	教授	細菌感染症の発病機構の解明と診断・防除技術の開発に関する研究
		福本 晋也	教授	
予防獣医学分野	食品衛生学	石崎 隆弘	講師	病原体を媒介しないベクター創出による犬フィラリア症の制御
		松田 一哉	教授	
	人獣共通感染症学	佐野 悠人	講師	動物の疾患に関する病理診断ならびに病理学的研究
		鈴木 一由	教授	
	獣医疫学	岡本 実	准教授	全ての動物種における病態評価をさまざまな手法に基づいて解明し治療に役立てる
		平田 晴之	准教授	
	獣医衛生学	神谷 可菜	講師	全ての動物種における病態評価をさまざまな手法に基づいて解明し治療に役立てる
		都築 直	准教授	
	ハードヘルス学	森山 友恵	講師	馬の疾患に対する診断・治療に関する研究
		白井 優	教授	
生産動物医療学分野	食品衛生学	福田 昭	講師	動物由来薬剤耐性菌の環境やヒトへの伝播機構の解明とその対策
		村松 康和	教授	
	人獣共通感染症学	内田 玲麻	准教授	細菌症人獣共通感染症および節足動物媒介性ウイルス感染症に関する研究
		藤田 浩平	教授	
	獣医疫学	浅倉 真吾	講師	重要家畜・人獣共通感染症の効果的かつ受容可能な制圧方法の研究
		樋口 豪紀	教授	
	獣医衛生学	権平 智	准教授	ウシの抵抗力(免疫力)を明らかにし、病気を予防する方法についての研究
		及川 伸	教授	
	ハードヘルス学	福森 理加	准教授	乳牛群の疾病発生予防とリスク要因の解析
		大谷 新太郎	教授	
伴侶動物医療学分野	動物生殖学	中田 健	教授	牛群あるいは牛個体ごとの生産効率および受胎成績を向上させる取り組み
		杉浦 智親	助教	
	生産動物内科学	田島 誉士	教授	生産獣医療の個体診療と群管理における生産性阻害因子に関する研究
		三浦 亮太郎	准教授	
	生産動物外科学	石川 高明	教授	牛の獣医臨床における治療から疾病解析・予防法の構築
		佐藤 綾乃	講師	
	生産動物病態学	村上 高志	講師	牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践
		福田 茂夫	講師	
	伴侶動物内科学	小千田 圭吾	助教	伴侶動物の内科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		大田 寛	教授	
伴侶動物医療学分野	伴侶動物内科学	山崎 裕毅	准教授	伴侶動物の内科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		酒谷 篤	講師	
	伴侶動物外科学	田村 昌大	講師	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		出口 辰弥	講師	
	伴侶動物外科学	藤田 麻由	助教	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		鳥巢 至道	教授	
	伴侶動物外科学	井坂 光宏	教授	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		小久保 大樹	講師	
	伴侶動物外科学	濱本 裕仁	講師	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		南 垠利	講師	
伴侶動物医療学分野	伴侶動物外科学	峯 弘	講師	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		若槻 あゆみ	講師	
	伴侶動物外科学	酒井 俊和	助教	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		山本 集士	助教	
	伴侶動物外科学	山下 和人	教授	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		伊丹 貴晴	准教授	
	伴侶動物外科学	華園 究	准教授	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		三好 健二郎	講師	
	伴侶動物外科学	五田 嘉倫	助教	伴侶動物の外科学疾患および腫瘍疾患の病態解明と新規診断法・治療法の開発
		三好 健二郎	講師	

NEW

2025年4月新設。酪農学園大学は「産業動物」や「大動物」の一部としてではなく、「馬」を対象として馬医療を扱う研究室をもつ日本唯一の大学。近年、日本では馬関連に従事する獣医師が不足していますが、立地の関係上、馬の教育は十分に行えない大学が多いのが現状です。そんな中、本学は日本最大の馬産地である日高地方に近く、馬の教育環境を備えている日本では数少ない大学です。広大な北海道という地で馬の医療について共に学んでみませんか？

動画で詳しくCHECK!

Pick up 01 獣医生理学ユニット

生態系由来の生理活性物質が動物の免疫や内分泌に及ぼす影響の解明



Pick up 02 生産動物病態学ユニット

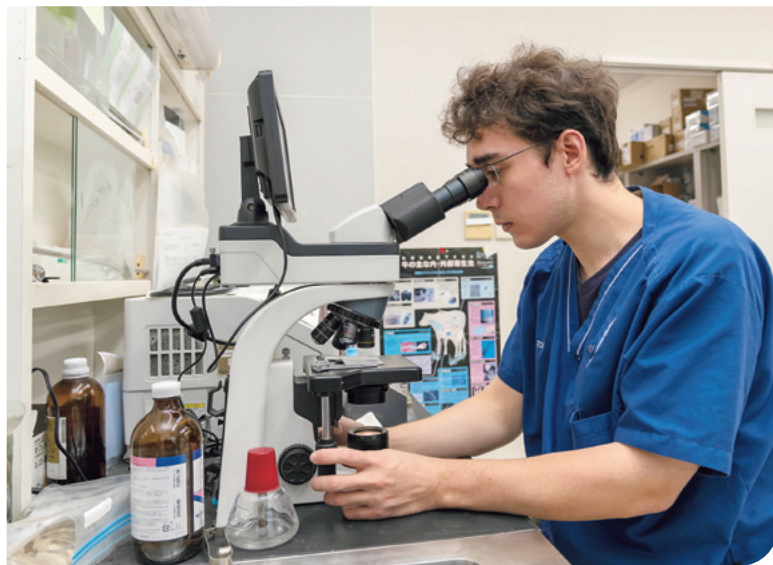
牛疾病の診断と予防方法に関する研究と臨床現場での実践



OB・OG インタビュー

※勤務先は2024年4月時点

就職実績 > P.88



オホーツク農業共済組合
湧別家畜診療所

獣医師としてのチャンスを
さまざまな角度から提供してくれる

マンビ モンゴメリさん

獣医学類 2020年3月卒業
北海道／北海道札幌南高等学校 出身

学生時代、十勝の酪農家さんのもとでの実習期間中、牛のお産に立ち会う機会がありました。とても緊迫した状況でしたが、無事に生まれてきた子牛、愛おしそうに舐める親牛、全身ぐちゃぐちゃになりながら酪農家さんと一緒にやりきったあの光景は忘れられません。私は現在、農業共済組合(NOSAI)で乳牛を主に、肉用牛までの一般診療や繁殖検診を行っています。自分の治療で瀕死の子牛が元気を取り戻したときや伝染病を拡散前に発見できたときに、やりがいを感じます。私は幼少期から獣医師になりたいと思っていましたが、獣医師の職域は多岐にわたり、酪農学園大学ではその多くに触れる機会があります。自分がどの分野で活躍していくかを最初から決めつけず、大学が提供するチャンスを広く体験してみると、自分の道が見えてくると思います。

オーシャン動物病院 獣医師部門

外科の臨床現場で治療の最先端を
実践的に学ぶことができた

水沼 和俊さん

獣医学類 2023年3月卒業
栃木県／栃木県立石橋高等学校 出身

小動物臨床獣医師として主に犬や猫の診療に携わり、ワクチンなどの予防関係だけでなく、体調が悪い動物の診察や検査、治療・手術などを行っています。難解な症例も多いですが、全力を尽くしてしっかり治療できた際の飼い主様の嬉しそうな顔を見ることが、私のやりがいになっています。

酪農学園大学では伴侶動物医療分野、特に外科の臨床現場で治療の最先端を実践的に学ぶことができました。現在も新しい知識や技術を学び続けていますが、大学時代に論文・資料の活用方法などいわゆる「勉強の仕方」を身につけたことが、今も大変役立っています。

今後はより多くの動物たちを助けるため日々診療活動に携わると同時に、時間や労力を惜しまず自己研鑽を行い、地域の皆様に信頼される獣医師であり続けたいです。



獣医学群

獣医保健看護学類

School of Veterinary Medicine / Department of Veterinary Science

動物たちの
幸せな生き方の答えを探す



取得可能資格

- 家畜(牛)人工授精師
※講習会受講・最終試験合格の場合

受験資格

- 愛玩動物看護師国家試験
- ペット栄養管理士

学類でサポートする資格

- 食品衛生責任者
- 食の6次産業化プロデューサー(レベル1)
- 学芸員
- 牛削蹄師(2級)

第2回
愛玩動物看護師
国家試験の合格率
88.8%
(全国平均68.6%)
※既卒者含む

家畜(牛)人工授精師・
牛削蹄師
の資格を取得可能

生産動物看護師
を毎年輩出

目指す職業

- 小動物病院勤務 愛玩動物看護師
- 産業動物(牛・馬) 動物看護師
- 動物医薬品関連企業
- ペットフード関連企業
- ペット保険企業
- 地方公務員/国家公務員
- 動物園・水族館



学びのポイント

1 高度化する獣医療を支える 愛玩動物看護師を目指す

愛玩動物看護師の仕事は、動物病院での問診、検査、処置、手術、術後管理、入院管理、予防と多岐にわたりますが、獣医師の指示を正確に理解し実行することで動物たちの命を守ります。

2 総勢50名を超える教員が指導！ 動物看護のスペシャリストを育成

本学類の教員を中心に獣医学類も含め総勢50名を超える教員が指導します。1・2年次は専門基礎教育を受け、2～4年次で動物看護に関する専門知識と技術を身につけます。獣医師、飼い主様、動物との信頼関係をしっかりと築き、チーム医療に貢献する動物看護スペシャリストの育成を目指しています。

3 生産動物の 獣医療現場でも活躍する 生産動物看護師も育成・輩出

生産動物看護師へのニーズは高く、希望者は学内やNOSAIの実習に参加することにより、実際の生産動物の医療について学ぶことができます。また、大学で取得することができる家畜(牛)人工授精師の資格を持つことで貢献できる分野が広がります。

4 本学類で飼育する犬とともに、 実践的な学びを行う

本学類では動物看護に関する全ての講義・実習に役立つよう、犬種・年齢が異なるさまざまな犬たちを飼っています。毎日の世話は学生が交代で行い、犬の生態の理解を深め、健康管理や病気の早期発見ができる知識が自然と身につきます。

学びの流れ／カリキュラム

☆1：外国人留学生のみ
※この内容は2025年3月現在のものです。今後変更もあります。

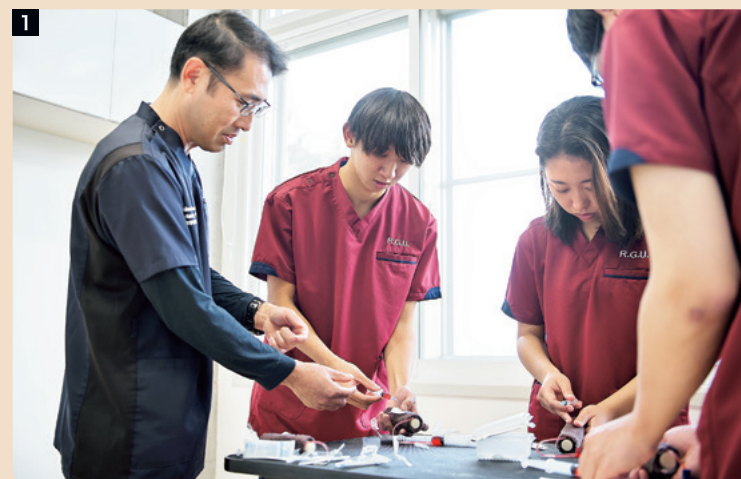
1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基盤教育 ■建学原論 ■キリスト教学 ■健土健民・獣医学入門実習 ■獣医療概論 ■社会学 ■心理学 ■生物学 ■化学 ■運動の科学 ■体育実技Ⅰ ■体育実技Ⅱ ■情報科学の基礎 ■情報処理基礎演習 ■英語Ⅰ ■英語Ⅱ ■日本語Ⅰ ☆1 ■日本語Ⅱ ☆1	基盤教育 ■統計学Ⅰ ■統計学Ⅱ ■Veterinary Topic English (Standard) ■Veterinary Topic English (Advanced) ■English for Veterinary Skills	専門基礎教育 ■動物行動学 ■臨床薬理学 ■野生動物学 ■獣医麻酔疼痛管理学 ■公衆衛生学総論 ■臨床繁殖学 A ■博物館実習	専門教育 ■動物人間関係学 ■動物看護総合実習Ⅱ ■学内動物病院実習
専門基礎教育 ■獣医組織学 A ■獣医生化学 ■獣医生理学総論 ■感染と免疫 ■動物倫理・動物福祉学 ■動物ハンドリング実習 ■全学共通科目 A ■全学共通科目 B	専門基礎教育 ■獣医薬理学 A ■獣医寄生虫学 ■獣医病理学総論 ■実験動物学 ■動物栄養管理学	専門基礎教育 ■動物臨床看護学各論 A ■動物臨床看護学各論 B ■動物臨床看護学各論 C ■伴侶動物内科看護学実習 ■Shelter Medicine ■伴侶動物外科看護学実習 ■伴侶動物麻酔看護学実習 ■動物臨床検査学実習Ⅰ ■動物臨床検査学実習Ⅱ ■動物看護総合実習Ⅰ（酪小獣）	専門教育 ■動物環境衛生学 ■獣医畜産法規 ■伴侶動物飼養管理学 ■生産動物飼養管理学 ■統合動物看護学 ■基礎動物看護学演習Ⅲ ■基礎動物看護学アドバンスプログラム ■応用動物看護学演習Ⅲ ■応用動物看護学アドバンスプログラム ■臨床動物看護学演習Ⅲ ■臨床動物看護学アドバンスプログラム
専門教育 ■動物看護学概論 ■伴侶動物学 A ■伴侶動物学 B	専門教育 ■グルーミング理論 ■グルーミング実習	専門教育 ■中獣医学 ■動物理学療法学 ■動物行動学実習 ■獣医保健看護学演習 ■基礎動物看護学演習Ⅰ ■基礎動物看護学演習Ⅱ ■応用動物看護学演習Ⅰ ■応用動物看護学演習Ⅱ ■応用動物看護学演習Ⅲ ■臨床動物看護学演習Ⅰ ■臨床動物看護学演習Ⅱ	畜産関連科目 ■家畜育種学 ■家畜管理・栄養学実験 ■家畜育種・繁殖学実験
	畜産関連科目 ■学外農場実習		

Pick up!

ピックアップカリキュラム1

動物看護基礎実習Ⅰ・Ⅱ

※本実習は複数教員により毎回異なる内容の実習を行います。



1 獣医教員の指導のもと、自主的に技術を習得
2 犬の前肢に近い採血モデルを使って練習
3 模型の動物病院受付カウンターでの実技

飼い主様とのコミュニケーションから検査技術までをスキルスラボで学ぶ

動物看護師に求められるスキルは多様です。受付から問診、処置、検査、最終的な会計まで行う場合もあります。そのような必要とされるスキルについて、スキルスラボで模擬実習を行います。動物看護基礎実習Ⅰでは、コミュニケーションに重点を置き、正しい接遇方法を用いて飼い主や患者とコミュニケーションをとり、クライアントが診てほしい症状や気になっている点について適切に引き出していきます。基礎実習Ⅱでは、各種検査、痛みの管理、採血やカテーテルの技術を学ぶとともに、看護計画を立て入院管理などを行います。ここで学んだスキルは、病院実習で実践的な技術の習得へと繋がっていきます。



郡山 尚紀 教授
動物と人の関係学ユニット

ピックアップカリキュラム2

クリニカルローテーション対応実習

※クリニカルローテーション対応実習は、伴侶動物内科看護学実習、Shelter Medicine、伴侶動物外科看護学実習、伴侶動物麻酔看護学実習を行う授業であり、本実習は伴侶動物麻酔看護学実習です。



1 気管挿管の補助 2 麻酔モニターの波形と数値 3 異常値のチェックと対応

最新の麻酔管理技術を学び、さまざまな臨床状況に対応できる能力を習得する

全身麻酔中の動物のバイタル（心拍数・呼吸数など）をモニタリングし、安全・安心な麻酔管理のトレーニングを積む実習です。動物の麻酔は手術室だけでなく附属動物医療センター内の至るところで行われますので、多くの動物と触れ合い、実際に麻酔管理を経験することができます。最新の麻酔管理技術を学び、安全かつ動物個々に合わせたアプローチでさまざまな臨床状況に対応できる能力を習得します。教員や獣医師との協力を通じて、円滑で効果的なチームワークを築くためのコミュニケーションスキルも身につけます。予測不可能な状況に冷静に対応し適切な判断を行う能力を磨き、手術後の症例の栄養管理や疼痛管理といった入院管理も学びます。社会において動物たちの健康と福祉に貢献するプロフェSSIONALとしての道を切り拓く実習です。



伊丹 貴晴 准教授
獣医麻酔学ユニット（獣医学類）

ユニット紹介



ユニット	教員	職名	専門分野
動物医療学	椿下 早絵	准教授	犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み
	八百坂 紀子	講師	中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究
	村上 義樹	助教	臨床現場で動物看護師に必要な考え方や知識・技術の習得を目指す
動物生命科学	林 英明	教授	動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用
	宮庄 拓	准教授	さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について
動物と人の関係学	川添 敏弘	教授	「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究
	郡山 尚紀	教授	人と動物とのより良い関係を目指す研究:身近な伴侶動物から野生動物まで
	高橋 優子	教授	獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う
	能田 淳	教授	地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康:ワンヘルスに向けた環境衛生学

動画で詳しくCHECK!

Pick up 01 動物と人の関係学ユニット

「殺処分ゼロ」など動物愛護に伴う分野を科学的な視点で研究/人と動物とのより良い関係を目指す研究:身近な伴侶動物から野生動物まで/獣医療に関わる法的・政治的・宗教的・哲学的問題を扱う/地球環境で考える、ヒト・動物・環境の健康:ワンヘルスに向けた環境衛生学



Pick up 02 動物医療学ユニット

犬猫の術後の早期回復や高齢動物の運動機能の維持への取り組み/中獣医学(東洋医学)やデンタルケアについての研究



Pick up 03 動物生命科学ユニット

動物福祉の向上を目指した動物の客観的評価と現場への応用/さまざまな状況に対する動物の生体反応(生体応答)について



NEWS

獣医保健看護学類が主体となって開催する大学のイベント 動物愛護フェスティバルinえべつ

毎年9月は、全国的に動物愛護週間に合わせて、さまざまなイベントが開かれます。酪農学園大学のキャンパスにおいても、獣医師会や行政と協力し北海道で最大の「動物愛護フェスティバルinえべつ」を開催します。動物愛護に関わるイベントやチャリティー販売などはもちろんのこと、譲渡会や犬の運動会、犬のフリスビーなど、人も犬も楽しめる催しになっています。

このフェスティバルは、獣医保健看護学類が、会場の設営からテントでの犬のおやつ販売、犬の健康診断やしつけ相談、さらにはステージイベントなど多くの部分を担っています。江別市や札幌市を中心に最大で5000人余りのたくさんの人と犬を中心とした多くの動物が集まる楽しいイベントです。また、酪農学園大学ならではの、牛との触れ合いや乗馬体験もあり、動物との素敵な関係を見て、触れて、学ぶことができます。このような行事を獣医保健看護学類の学生たちは経験することで、知識や技術を外へアピールするとともに、学びにつなげていきます。



OB・OG インタビュー

※勤務先は2024年4月時点

就職実績 > P.88



JRA栗東トレーニングセンター 橋口威舎(調教助手)

動物への対応力を鍛え 夢であった競走馬の世界へ

幣旗 勇太朗さん
獣医保健看護学類 2017年3月卒業
北海道/北海道静内高等学校 出身

私の実家が競走馬の牧場を営んでおり、また小学生から高校生まで馬術を習っていたこともあり、自然と将来は馬に関する仕事に携わりたいと考えていました。大学卒業後は千葉県の競走馬の牧場に就職。その後、調教助手の試験に合格し、現在はJRAの調教拠点である栗東トレーニングセンターで、調教助手として競走馬の馬体チェックなどに毎日励んでいます。特に競走馬は些細なケガや体調不良が大きなケガや病気に繋がるため、いち早く気付くことが重要です。馬の体調管理の基本は在学中に学びました。学類犬を世話する講義があり、実習はもちろん、日々の体調管理や体調のトラブルに対して試行錯誤しながら解決するなど、学類犬と共に成長した経験は、現在の馬の体調管理や問題解決に対する引き出しの多さに繋がっていると思います。

札幌夜間動物病院

質の高い動物看護の学びが 実際の獣医療現場に生きている

濱中 なぎささん
獣医保健看護学類 2017年3月卒業
山口県/山口県立岩国高等学校 出身

私は札幌夜間動物病院で動物看護師として勤務しています。主に診療中の保定や投薬準備、血液検査や糞尿検査といった業務を行っています。また、受付の入電で症状を聞き出し、重症度を判断することも重要な仕事です。速やかな処置のために、飼い主様の不安を取り除きながら、迅速かつ正確に情報を聞き出せるよう心掛けています。動物たちが治療後に元気になった姿を見たときや、飼い主様から感謝されたときには、この仕事を選んで良かったなと感じます。酪農学園大学では、伴侶動物だけではなく、牛や馬など幅広い獣医療が学べることが魅力です。また、獣医学類と同じ学群のため、動物看護や獣医学の基礎も高いレベルで履修できます。実習での麻酔や心肺蘇生の経験は、実際の獣医療現場でも生かされています。



国際交流

人と研究の国際交流を積極的に推進

国際交流課は海外の大学・研究機関との学術交流の窓口として学術交流協定の締結や、学生交流などを推進しています。また、学生の多様なニーズに応えるため海外研修・留学プログラムの充実にも努めており、語学研修、ファームステイ、アニマルハンドリングなどのプログラムを企画・紹介しています。

学術交流協定

本学は、海外の大学などとの学術交流協定を23カ国44機関と締結しており、学術資料の交換、教員や学生の派遣・受入、共同研究、セミナーなどの開催で交流を行っています。

学術交流協定機関

23カ国 44機関

カナダ アルバータ大学／オールズカレッジ／サスカチュワン大学
アメリカ オハイオ州立大学（獣医学部、食品・農業・環境科学部）／コーネル大学／フィンドレー大学／パデュー大学
ブラジル アスンシオンカトリック大学
ロシア 極東農業大学
中国 新疆農業大学／内蒙古農業大学／内蒙古民族大学／陝西省動物研究所
韓国 国立韓京大学校

台湾 国立嘉義大学／国立屏東科技大学／国立中興大学
フィリピン 東フィリピン大学
マレーシア サバ大学
ベトナム ハノイ公衆衛生大学／ベトナム国立農業大学／国立獣医学研究所
タイ マヒドン大学（熱帯医学部、獣医学部）／チュラーロンコーン大学／カセサート大学／保健省医科学局／コンケン大学／タマサート大学／プリンス・オブ・ソクラー大学
ミャンマー 獣医科学大学
インド サムヒギンボトム農業科学技術大学

モンゴル モンゴル生命科学大学／フスタイ国立公園／モンゴル国立大学
カザフスタン アルファラビカザフ国立大学／国立バイオテクノロジセンター
ポーランド ワルシャワ生命科学大学
ドイツ ハノーバー獣医科学大学
デンマーク 国立畜産研究所
イギリス グラスゴー大学生物多様性・家畜衛生・比較医学研究所
ケニア 国際家畜研究所
コートジボワール スイス科学研究所
ウガンダ マケレレ大学
イタリア バドヴァ大学

短期海外留学研修プログラム（2025年度予定）

研修内容	派遣国	派遣先	時期	期間	奨学金
集中英語	カナダ	アルバータ大学	夏季・春季休業中	4週間	20万円
海外農業研修サポート	カナダ	農場	随時	4週間	20万円
大学院生留学サポート	北米地域	協定機関	随時	4週間	30万円
ベーシック・アニマルハンドリング	アメリカ	フィンドレー大学	春季休業中	3週間	なし
単位互換プログラム（対象：獣医学類5年）	タイ	カセサート大学	9月～12月	3カ月間	条件付
獣医学部短期研修プログラム（対象：獣医学類4～6年）	タイ	カセサート大学	夏季休業中（予定）	2週間	なし

長期海外留学プログラム（2025年度予定）

研修内容	派遣国	派遣先	時期	期間
授業履修（授業料免除）	アメリカ	フィンドレー大学	8月開始	約9カ月間
英語研修	カナダ	アルバータ大学	1、3、5、7、9、11月開始	7週間～

ベーシック・アニマルハンドリングプログラム

3週間 アメリカ・フィンドレー大学

たった三週間とは思えないほど、濃縮された時間を過ごすことができた

鶴田 紫さん
獣医学類 3年
東京都／十文字高等学校 出身

将来の道を考えるきっかけにしたい、馬や中小家畜と触れ合う機会を増やしたいという思いから、2年生のときに参加。現地ではさまざまな場所で、動物と関わりながら働いている方々と交流しました。主に馬学科の学生らの活動に加わる形で学んだのが、本留学のメインである馬のハンドリングです。現地の学生と二人一組になり、体を動かしながら話をする体験は貴重なものでした。学内農場での実習や学外での活動も行い、たった三週間とは思えないほど、濃縮された時間を過ごしました。英語に自信がなくても、留学前は国際交流課の厚い支援が、留学中はメンバーが強い味方になります。アニマルハンドラーを目指す方におすすめのプログラムです。



酪農学園大学 大学院

農・食・環境・生命の最先端研究に取り組む

酪農学園大学は、農・食・環境・生命の領域において、それぞれが互いに連携しながら地球と生命を科学する大学です。その研究領域は、産業としての農だけではなく、生命を健やかに育むための食や健康、地球環境に至るまでの社会を構成するあらゆる分野におよびます。獣医学研究科（2専攻）と酪農学研究科（3専攻）で構成される本学大学院は、こうした強みを生かし、建学の精神である「健土健民」という理念の具体的実現をテーマに、高度な専門性を有し、それを職業で表現していく人材、技術革新など将来を切り拓く研究者の育成を目指しています。

農・食・環境に関わる研究を現場から学び、現場に返す

酪農学研究科

食生産利用科学専攻

博士課程 3年

- 植物資源生産学
- 動物資源生産学
- 食資源開発利用学
- 応用食品化学*
- 微生物利用学*
- 農業経営政策学
- 食料経済学

食品栄養科学専攻

博士課程 3年 修士課程 2年

- 加工特性**
 - 食品加工特性学
 - 食品物性学
- 健康栄養**
 - 健康栄養学
 - 臨床栄養学
- 栄養機能**
 - 食品栄養機能化学
 - 食品機能生化学
- 食環境管理**
 - 食品微生物管理学（修士課程）*
 - 食品環境汚染学*

酪農学専攻

修士課程 2年

- 作物生産科学**
 - 土壌植物栄養学
 - 病理・害虫学
 - 飼料作物学
 - 植物遺伝学
 - 酪農機械学
- 酪農情報学**
 - 酪農経営情報学
 - 農業経営学
 - 酪農政策学
 - 農業市場学*
- 環境共生学**
 - 野生動物学
 - 国際環境情報学
 - 地球環境保全学

- 家畜生産科学**
 - 家畜繁殖学
 - 遺伝・育種学
 - 家畜栄養学
 - 家畜管理学
 - 酪農生物化学*



臨床と基礎の両面から獣医学の発展を推進する

獣医学研究科

獣医学専攻

博士課程 4年

- 基礎獣医学〈生体機能学〉**
 - 獣医解剖学
 - 獣医生理学
 - 獣医生化学
 - 獣医薬理学
 - 疾患モデル学
- 臨床獣医学〈伴侶動物医療学〉**
 - 伴侶動物内科学
 - 伴侶動物外科学
 - 獣医臨床腫瘍学
 - 画像診断学
 - 獣医麻酔学
 - 獣医運動器・循環器病学
 - 獣医神経病学
 - 馬臨床学

基礎獣医学〈感染・病理学〉

- 獣医病理学
- 医動物学
- 獣医ウイルス学
- 獣医細菌学
- 獣医臨床病理学

臨床獣医学〈生産動物医療学〉

- 生産動物内科学
- 生産動物外科学
- 応用獣医学〈衛生環境学〉**
 - 獣医衛生学
 - 獣医疫学
 - 食品衛生学
 - 環境衛生学
 - 人と動物の関係学
 - 人獣共通感染症学
 - ハードヘルス学
 - 獣医倫理学

獣医保健看護学専攻

修士課程 2年

- 基礎・応用獣医保健看護学**
 - 獣医解剖学
 - 獣医生理学
 - 獣医生化学
 - 動物薬理学
 - 獣医病理学
 - 医動物学
 - 獣医微生物学
 - 公衆衛生学
 - 環境衛生学
- 臨床獣医保健看護学**
 - 獣医衛生学
 - 生産獣医療学
 - 動物疾病治療学
 - 獣医麻酔学
 - 画像診断学
 - 動物理学療法*
 - 動物行動学

※指導教員不在（食品微生物管理学は博士課程のみ不在）
（2025年4月1日現在）

地域・企業との連携

酪農学園大学では多くの自治体や企業と協定を締結し、教育・研究活動に役立てています。また、自治体や企業の依頼をうけ、本学の知的資源を活用した対応なども行います。



連携企業 47機関

協定先一覧

浜中町／栗山町／西興部村／公益財団法人 道央農業振興公社／江別市／市内3大学／江別商工会議所／道総研 食品加工研究センター／北海道大学／洞爺湖町／公益財団法人 北海道農業公社／北海道ホルスタイン農業協同組合／公益社団法人 北海道酪農検定検査協会／一般社団法人 ジェネティクス北海道／GIS関連団体3者との包括協定／公益財団法人 札幌市公園緑化協会／滝上町／北海道情報大学／標茶町／標茶町農業協同組合／北海道標茶高等学校／公益財団法人 知床財団／占冠村／旭川市(旭山動物園)／遠軽町／湧別町／佐呂間町／オホーツク農業共済組合／えんゆう農業協同組合／湧別町農業協同組合／佐呂間町農

業協同組合／株式会社北海道銀行／札幌グランドホテル／北海道*／中標津町／中標津町教育委員会／中標津町農業協同組合／計根別農業協同組合／北海道中標津農業高等学校／北海道科学大学／札幌市／地方独立行政法人 北海道立総合研究機構／一般財団法人 北海道農業協同組合学校／北海道ワイン株式会社／生活協同組合コープさっぽろ／北海道農業共済組合連合会および道内5農業共済組合／梨湖フーズ株式会社／学校法人高橋学園札幌どうぶつ専門学校／浜頓別町／北海道農業協同組合中央会／北海道コカ・コーラボトリング株式会社*／株式会社サングリン太陽園／島根県／北海道農政事務所／学校法人八紘学園 北海道農業専門学校／株式会社菊田食品／株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント／イオン北海道株式会社／長沼町／公益財団法人 草野畔林トラスト財団／環境省北海道地方環境事務所／独立行政法人 国際協力機構／石屋製菓株式会社

※学校法人酪農学園との協定

オホーツクでの参加型臨床実習

獣医学類ではオホーツク地域との協定に基づき、農業共済組合や診療所の獣医師の皆さんのご協力のもと、生産動物医療に関する実習を行っています。机上の勉強だけではなく、最前線の現場における実践をもとに身につけた技術は、卒業後皆さんの力となります。



手術切開部レクチャー

手術腹腔内触診

産学連携ドローン教習コース

本学では「株式会社サングリン太陽園(札幌市白石区)」との協定に基づき2022年から「産学連携ドローン教習コース」を創設し、教習を実施しています。

同コースでは、ドローンの基礎知識の座学から各種飛行訓練まで行っており、今後は実地での訓練やサポートを行い、即戦力となるドローン操縦者の育成を目指しております。本学学生をはじめとして、農林業など第一次産業関係者、自治体職員、環境保全団体、非営利組織の関係者を主な対象者としています。



SDGsに関わる取り組み

本学ではSDGs(持続可能な開発目標)への貢献に向け、積極的に取り組みを推進しています。2021年度からは包括連携協定を締結した北海道コカ・コーラボトリング株式会社(東証スタンダード市場)と連携し、BtoBリサイクル(PETボトルの完全リサイクル)、エコフィード(食品加工副産物を使った家畜飼料)の研究、災害時支援、株式会社パイロットコーポレーションが実施する使用済ペリリサイクルプログラムへの参加に積極的に取り組んでいます。今後さらにさまざまな取り組みを行っていきますので、私たちと一緒に持続可能な未来を作りましょう!



酪農学園大学の乳製品の販売

本学の乳製品製造実験実習室では、キャンパス内のフィールドで生産された新鮮な生乳を使って、牛乳やチーズ、バター、アイスクリームなどの本格的な乳製品づくりが学べます。製造した乳製品は、江別市のふるさと納税のお礼品に指定されており、学内の生協で販売しています。本学の魅力を少しでも多くの方に伝えるために、各種イベントを企画し、学生と一緒に乳製品の販売活動に取り組んでいます。



キャリアサポート



入学直後から細やかにサポート 希望の進路へ向けて、多角的な支援体制を構築

酪農学園大学では、学生一人ひとりが的確な進路や職業の選択を成し遂げられるよう、学生の希望に沿ったキャリア支援を行っています。インターンシップの紹介や就職活動のノウハウを学ぶ「就活講座」をはじめ、公務員試験受験対策、面接対策、ビジネスマナーなど各種講座を開催。農食環境学群では1~3年生を対象にキャリア授業も開講しています。また、常駐のキャリアアドバイザーが、個別の進路相談のほか、書類添削や面接練習まで多角的にサポートしています。



1・2年次	3年次(獣医学類5年次)	4年次(獣医学類6年次)
- 就職ガイダンス - 公務員試験受験対策講座 - なんでも就活相談会	- 就職ガイダンス - 公務員試験受験対策講座 - SPI対策講座 - 就活キックオフセミナー - 履歴書対策講座 - 学内合同業界セミナー - なんでも就活相談会	- 就職ガイダンス - 面接対応力向上セミナー - 集団面接・グループディスカッション対策講座 - 企業説明会 - なんでも就活相談会
キャリア授業(農食環境学群1年次) キャリアベーシック[必修]	キャリア授業(農食環境学群3年次) - キャリアデザインI[必修] - キャリアデザインII[選択]	

3年次(獣医学類 5年次) 開催スケジュール ※2024年度実施											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公務員ガイダンス	インターンシップガイダンス	アセスメントテストの受験とフォローアップ講座			就活キックオフセミナー(学類毎に実施)		就活講座	農林水産省主催技術職員業務説明会(獣医、畜産系)	学内合同業界セミナー	就活解禁前 直前講座	
集団面接・グループディスカッション練習会	単独企業説明会	インターンシップ向けグループワーク練習会						内定者との座談会	集団面接・グループディスカッション練習会		
								単独企業説明会			

主なプログラム



公務員試験受験対策講座

対象 1~3年生(獣医3~5年生)

基礎能力試験(教養試験)の対策講座としてオンデマンドで開講します。公務員を目指す方に限らず、民間企業の選考で実施されるSPI試験や一般常識試験の対策コースもあります。



学内合同業界セミナー

対象 3年生(獣医5年生)

学内またはWEBにて2月頃開催します。各業界の企業より採用ご担当者様にお越しいただき、業界のことはもちろん、事業内容や職種についてなどを知ることができます。



面接対策講座

対象 4年生(獣医6年生)

就職活動の本格的な準備の一つとして、集団面接やグループディスカッションなど、実践を意識した面接対策を行います。面接の流れ、面接官の評価ポイント、準備の進め方について学びます。

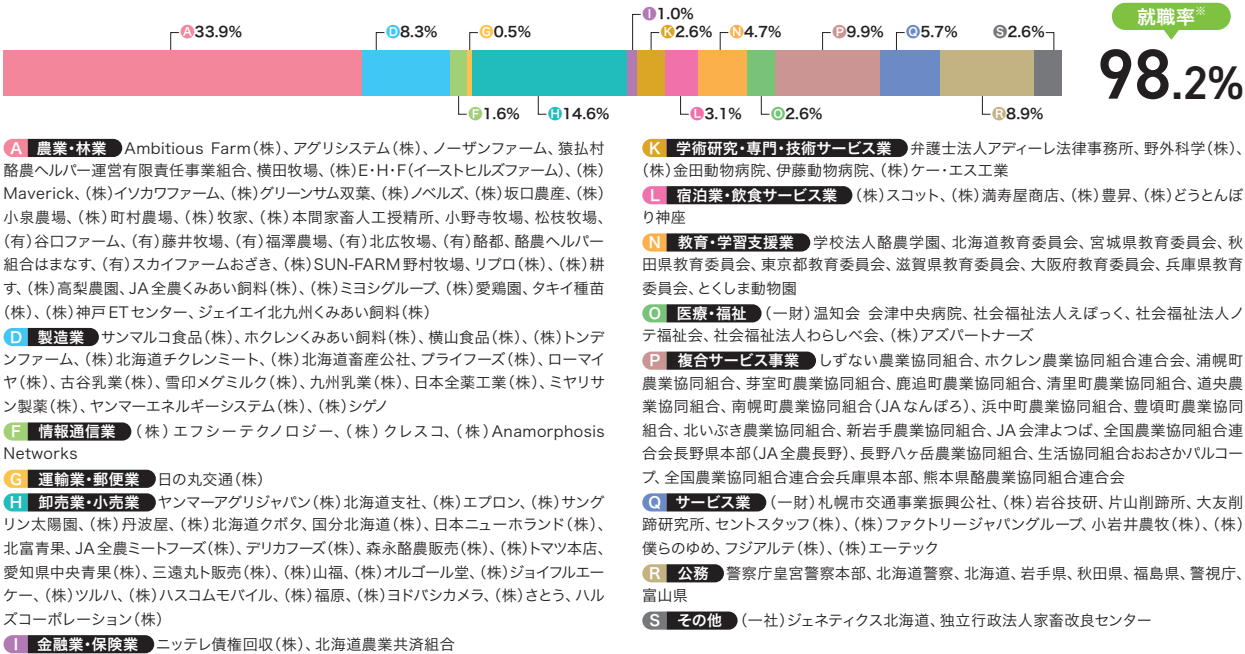
2023年度卒業生

業種別就職状況・主な就職先

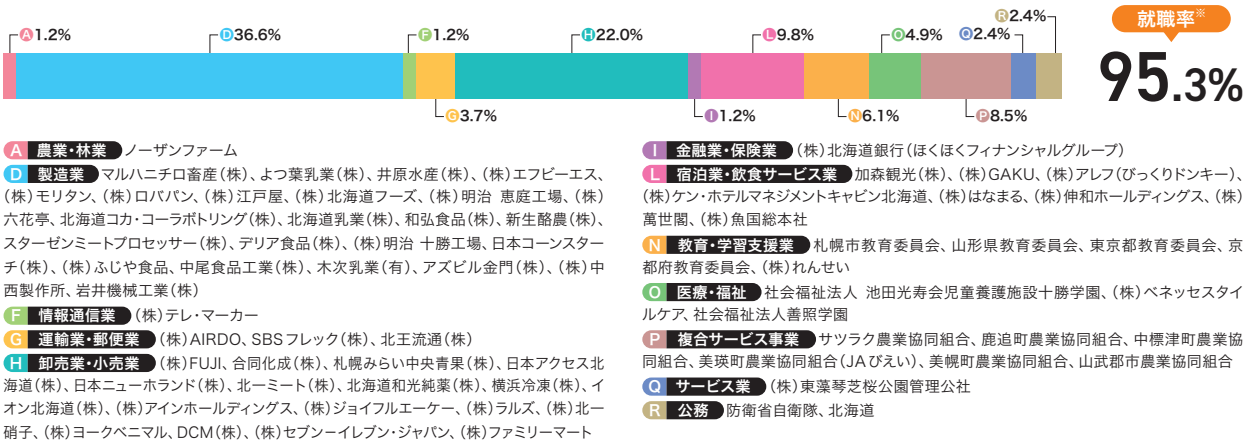
2024年5月現在

※1 自営者を含む ※2 就職先は自営者を除く

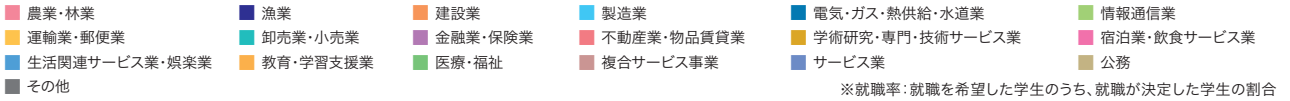
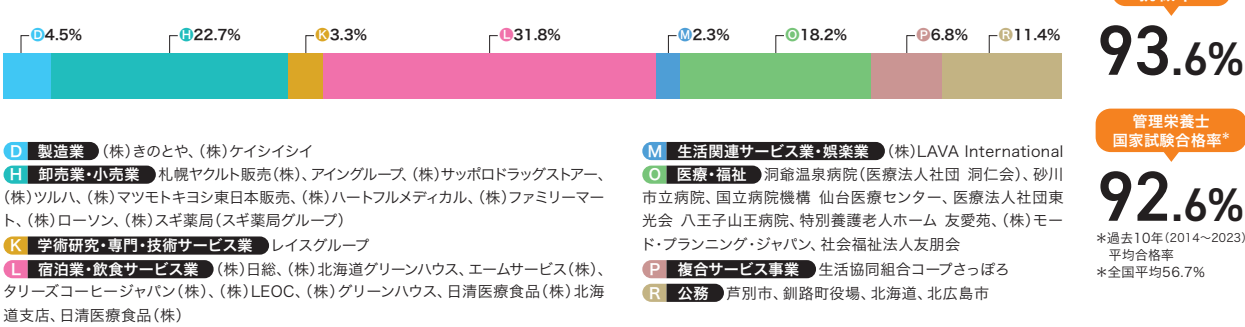
循環農学類



食と健康学類(管理栄養士コースを除く)

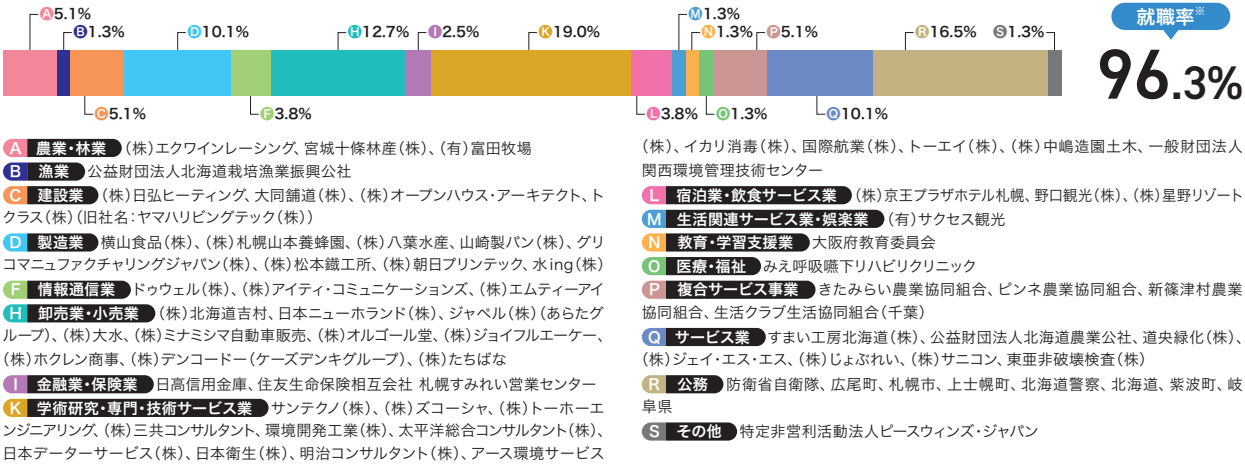


食と健康学類(管理栄養士コース)

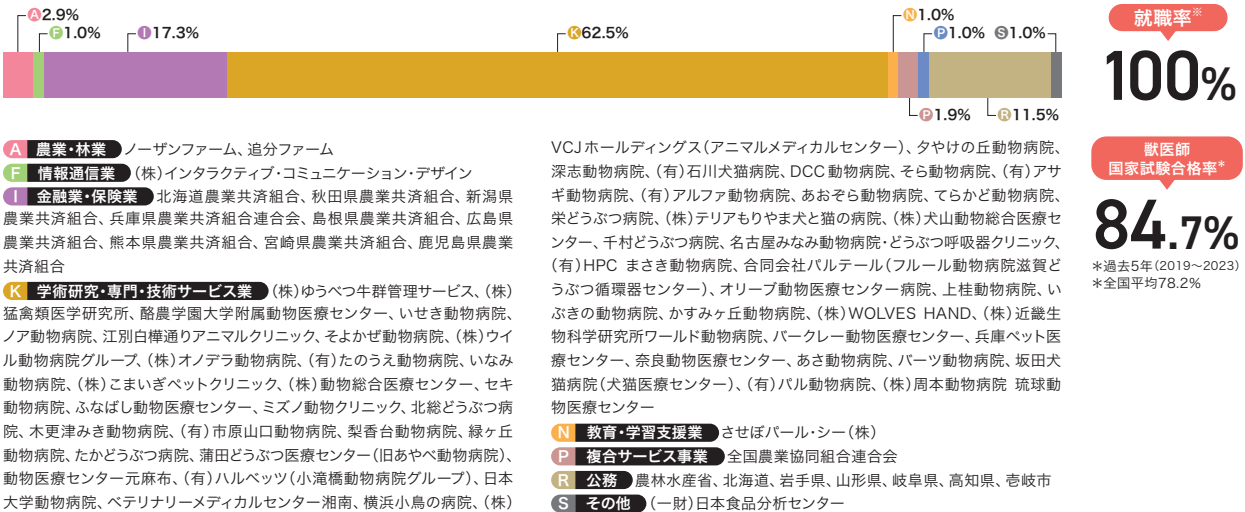


※就職率：就職を希望した学生のうち、就職が決定した学生の割合

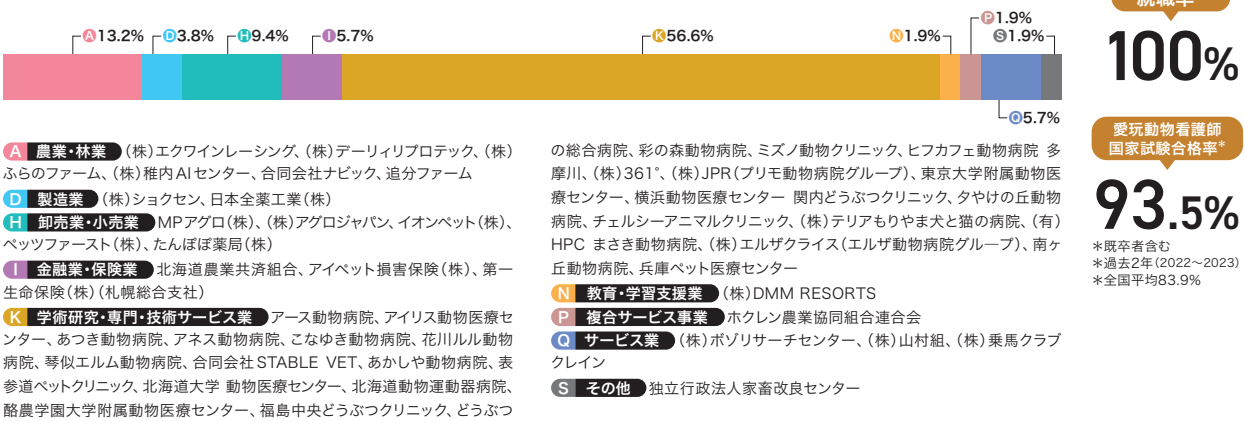
環境共生学類



獣医学類



獣医保健看護学類





Campus Life



四季折々の彩りに満ちたキャンパスで
どんな仲間たちと出会えるか。
ワクワクするキャンパスライフがあなたを待っています！



施設紹介

学び・食・健康など学生生活の全てを
支援する施設と職員がそろっています。



中央館

A B ロビー／お弁当を食べたり、友人とおしゃべりしたり、自習したりなど学生たちが自由に出入りできるフリースペースです。

C D 附属図書館／約31万冊の蔵書数で書籍だけではなく、雑誌や新聞、DVDや語学CDなどもそろっています。

■図書・雑誌フロア(3F～5F)：一般図書から論文まで充実。静かな環境で勉強がはかどります。

■マルチメディアフロア(6F)：DVDや語学CDなど視聴覚資料が満載。AVブースで視聴もできます。

■オープンPCフロア(7F)：学生が自由に使えるパソコンが設置されています。

E 生協中央店／おにぎりやお弁当、パンなど、軽くお昼をすませたい方はこちらへ。酪農学園大学ブランドの健土健民牛乳やバター、アイスも購入できます。



健民館

F G アリーナ／開放感のあるアリーナには、吹き抜け部分にクライミングウォールを設置。ギャラリースペースもあり、観覧が可能です。

H 宿舎部屋／宿舎エリアは浴室や厨房・食堂を完備しています。

I アクティブスペース／大きな多目的アクティブスペースのほか、課外活動部屋や宿舎スペースを完備。コモンスペースでミーティングも可能です。地下1Fには吹奏楽団専用部屋もあります。

J トレーニング室／各種マシンが完備され、在学生や教職員などが、体力向上や健康保持のために利用しています。



酪農学園ホール(学園生協)

K ホール／1Fのスペースは、食事でもでき、学生の憩いの場になっています。

L 生協サービス店・ルームガイド店／お部屋探しの相談、留学の相談、自動車学校のお申し込みなどができます。住み替えをする学生も多いので、入学時だけでなくいつでも相談ができるようになっています。

M N 書籍店・生協購買店／大学オリジナルブランド製品が買えるのはここだけ！参考書や文房具もここでそろえることができます。

O ATM／ゆうちょ銀行のATM。財布が空っぽになっても、慌てなくてすみます。 ※北洋銀行は中央館1Fに設置しています。

Check!

生協食堂／カフェテリア方式で、1日70品以上のメニューを用意。季節に応じているいろいろなフェアメニューが登場するなど、通い続けても飽きがきません。



Salmon!
Curry!
Noodles!



D1号館

獣医保健看護学類実習室／ドッグトレーニングや動物ハンドリング実習、獣医保健看護学類で飼っている学類犬の健康チェック、同学類のゼミ活動などで主に使用。また一般の方向けに行っている犬のしつけ教室や歯磨き教室にも使われています。



学生サービスセンター

P キャリアセンター、学生支援課、教務課、医務室などがあり、学生生活および就職の相談を受け、サポートします。

Q 学生相談室／カウンセラーが常駐して、学生一人ひとりがより良い学生生活を送れるようサポートします。勉強のこと、健康のこと、対人関係など、相談できます。



黒澤記念講堂

「健土健民」を提唱し、農民の育成を目指した酪農学園の創立者・黒澤西蔵の偉業を記念する講堂。1Fでは大学礼拝や講演会が行われ、2Fには黒澤西蔵資料室などがあります。



B4号館

学習支援室／勉強のことで悩んだり、困った際はここへ。英語、数学、国語、情報の専門学習支援アドバイザーが常駐し、学生の習熟度に合わせてサポートします。



部活動 クラブ・サークル

日々の学びとともに、生涯にわたる仲間ができる各種のクラブ・サークル活動も盛んです。大学間の交流や、社会人との交流も広がります。



HP
サークルページ



男子バスケットボール部



男子アイスホッケー部



弓道部



馬術部



熱気球愛好会



硬式野球部



ラクロス部



フライングディスクサークル



フットサルサークル「R-Foot」



肉牛研究会



乳牛研究会



ブルーグラス研究所



日本拳法部



フリークライミングサークル



女子バレーボール部



野生動物生態研究会



ESS



吹奏楽団



中小家畜研究会



酪農学園
YOSAKOIサークル「祭」



近代演劇



その他の クラブ・ サークル

体育系

- ソフトテニス部
- 剣道部
- ラグビー部
- 山岳部
- 男子バレーボール部
- 柔道部
- バドミントン部
- ワンダーフォーゲル部

- スキー部
- ウエイトリフティング部
- サッカー部
- 陸上競技部
- 少林寺拳法部
- 空手道部
- アーチェリー部
- 水泳部 酪泳会

- 合気道部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- 女子バスケットボール部
- フリースタイルスキークラブ
- North Paddler
- 卓球部
- ハンドボール部

- ビリヤードサークル Number9
- 準硬式野球部
- 自転車部
- 女子アイスホッケー部

Clubs & Circles

文化系

- 合唱団
- 軽音楽同好会
- 写真部
- 美術部
- 音楽研究会
- キリスト者学生会
- 旅行サークル「The travelers」
- 漫画倶楽部

- 創作文化研究会
- 酪農学園ボランティアクラブ
- 酪農茶道部
- 棋道部
- 野菜サークル(V.R)
- 植林研究会
- 室内楽団
- ア・カベラサークル『唄種』

- 野生動物との共存支援サークル えれふぁんと
- どうぶつボランティア 幸せなしっぽ
- 国際交流サークル SukaRela
- サマーアグリキャンプ
- ワインサークル「ROWP」
- 動物保全研究会 ルウェ
- 狩猟研究会 狩り部



仲間と楽しく

一人で気ままに

My Rakuno Life

実家を離れて過ごす大学生活ってどんな感じだろう？

仲間とわいわい楽しい学生寮、のびのびとした一人暮らし。それぞれの先輩のライフスタイルを見てみよう。



学生寮 (希望寮)



久保 晴暉さん

獣医学類 4年 鹿児島県／鹿児島県立鹿屋農業高等学校 出身
鹿児島県出身 通学時間 約5分

寮生活のメリットは、学年や学類関係なく 仲の良い友人や先輩をつくれること

北海道という初めての土地で、環境に早く慣れたいという思いがありました。高校時代から寮生活をしてきたため、集団生活への不安も少なく寮生活を決めました。キャンパス内に寮があり、徒歩5分で講義棟や研究棟に通えるので大変便利です。

寮生活のメリットは、学年や学類関係なく仲の良い友人や先輩をつくれること。毎日朝晩の食事があるため、バランスのとれた食生活を送れることも助かっています。メニューも豊富でおいしく、毎日楽しみにしています。あとはお風呂が広く、寒い時期に疲れて帰ってきた後に温かい湯船に浸かれるのありがたいです。共同生活なので、共用の場所は綺麗に掃除をして、寮内の人が気分良く過ごせるよう気をつけています。

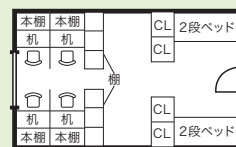


全自動洗濯機と乾燥機を完備。つなぎ専用の洗濯機もあります



入寮者専用のセキュリティカードで開閉するため、セキュリティ対策も万全です

間取り(4人部屋)



寮費(年間)

	希望寮(男子)	清温泉(女子)
入寮費	60,000円	
学寮費	1人部屋 486,000円 2人部屋 - 450,000円 4人部屋 426,000円	
食費(2食)	325,000円	

※水道光熱費、Wi-Fi使用料が含まれています

Check!

大学敷地内の学生寮で 安心・快適な暮らしをはじめよう

学内には2つの学生寮があります。大学の敷地内だから通学ラクラク♪ 1人部屋、2人部屋(清温泉のみ)、4人部屋があり、充実した設備が整っています。



希望寮(男子寮)



清温泉(女子寮)



1人部屋もあります

詳しくはコチラ



一人暮らし



千葉 妃乃さん

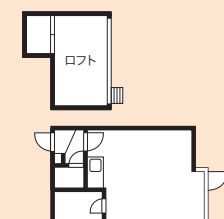
循環農学類 1年 宮城県／宮城県小牛田農林高等学校 出身
宮城県出身 通学時間 約20分

自分の好きなように生活できることが、 一人暮らしの魅力

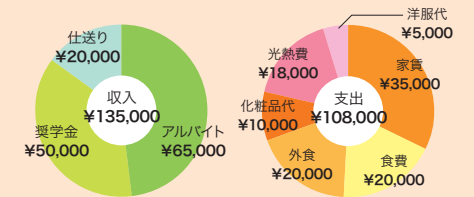
自分一人で生きるためのスキルを身につけたかったので、寮生活ではなく一人暮らしすることに決めました。大学まで徒歩で20分、自転車10分とアクセスが良く、ロフトがある点が気に入って今の物件を選択。私は寝起きが悪いのですが、ロフトの下にスマホを置いてアラームを鳴らすことで、朝は強制的に起きるようにしています。自分の好きなように生活できることが一人暮らしの魅力ですね。気付いたら食べ物が無い、というリスクを避けるため、野菜を冷凍したり、缶詰やご飯のバックを備蓄したりするなど、工夫して食料を確保するようにしています。忙しい大学生活と並行しながら家事を行う今の生活を楽しんでいます。



間取り



1カ月の収支



Check!

酪農学園生協ルームガイドで 安心して一人暮らしをはじめよう

酪農学園生協で一年を通じてお部屋探しのお手伝いをしていくルームガイド。本人の希望や生活に合う部屋を的確に紹介します。仲介手数料は全物件無料です。



詳しくはコチラ



INFORMATION

※日程・内容は予定であり、変更の可能性があります。

見て・聞いて・味わおう！ 酪農学園大学まるごと体感！

OPEN CAMPUS 2025

本学
開催

6/28[±]

7/26[±]・27^日

9/27[±]

2026年
3/28[±]



酪農学園大学の魅力を
全力でお伝えします!!



学食体験では
自慢のアイス
をプレゼント!



オープンキャンパススタッフが
あなたの進路を応援します!!



主なプログラム

●学類イベント

- ・学類の魅力紹介
- ・模擬講義
- ・体験授業 など

●RGUツアー

- ・酪農生産ステーション
- ・作物生産ステーション
- ・肉畜生産ステーション
- ・附属動物医療センター

●キャンパスツアー

- 学食体験
- 個別相談
(就職、奨学金、一人暮らし、学生寮)



オープンキャンパス
スタッフ
Instagram



オープンキャンパス
スタッフ X



出張オープンキャンパス

in 大阪 東京

教員、学生、入試広報センター教職員が現地の会場で直接、酪農学園大学の魅力をお伝えします!!

大阪
8/23[±]

東京
8/25^月



ミニ出張オープンキャンパス

in 大阪 東京

教員、学生が北海道からWEB出演! 入試広報センター教職員が、現地の会場で個別相談を行います!

大阪
5/31[±]

東京
6/7[±]



北海道まで
来られなくても
キャンパスを体感!



学内見学

実際にキャンパスを見てみたい! 学内の雰囲気を経験したい!
という皆さんをお待ちしています。

詳細・申し込み
方法については
こちらから



学内
見学期間 5/1^木 ~ 10/31^金 まで
(土曜・日曜・祝日および8/9~17を除く)

時間 9:00~16:00



RGUをもっと身近に!

酪農学園大学を知るなら

SNSや動画もチェック!

酪農学園大学の大学紹介ムービーが
満載。学類紹介から大学の最新ニュー
スまで、北海道・大自然にあるキャン
パスを体験できます。



今すぐ
見たいこう



酪農学園大学
教員による

ミニ講義



本学教員のわくわくする学問を紹介します! 先生の講義を公開中!

幅広く知りたい方はこちらへ

公式サイト



入試情報やオープンキャンパス情報が
まとまっています

受験生サイト



SNSでタイムリーな
情報をキャッチ!

Facebook



Instagram



X



いつでも! 気軽な質問はLINEで!

LINEメニューから質問をタッ
プ! 自動応答ですぐに回答を
受け取れます。



※LINE相談で解消しない質問は、Zoom個別相談を活用
してください!

要予約! じっくり相談はZoomで!

Zoomを利用し、大学教職員が直接
相談・説明を行います。

開催日時 5月下旬~10/31^金
お申し込み 受験生サイトのZoom
個別相談会ページから

